

令和 2 年度

総合計画のための市民意識調査結果報告書

川口市

<目 次>

第1章 調査の概要

1. 回収結果	2
2. 報告書を読むにあたって	2
3. 標本誤差について	2
4. 調査回答者の属性	4
1) 性別	4
2) 年齢	4
3) 出生	5
4) 職業	5
5) 現在の勤務地及び学校所在地	6
6) 家族構成	6
7) 住居形態	7
8) 居住年数	7
9) 居住地域	8

第2章 調査結果

1. 川口市の居住意向	10
1) 居住意向	10
2) 居住意向（性別、性・年齢別）	11
3) 居住意向（出生別）	12
4) 居住意向（職業別）	12
5) 居住意向（勤務地別）	13
6) 居住意向（家族構成別）	13
7) 居住意向（住居形態別）	14
8) 居住意向（居住年数別）	14
9) 居住意向（地域別）	15
2. 川口市の良いところ	16
1) 良いところ、好きなところ	16
2) 良いところ、好きなところ（性・年齢別）	17
3) 良いところ、好きなところ（出生別）	19
4) 良いところ、好きなところ（勤務地別）	20
5) 良いところ、好きなところ（住居形態別）	21
6) 良いところ、好きなところ（居住意向別）	22
7) 良いところ、好きなところ（地域別）	23

3. 川口市の良くないところ	24
1) 良くないところ、嫌いなところ	24
2) 良くないところ、嫌いなところ（性・年齢別）	25
3) 良くないところ、嫌いなところ（出生別）	27
4) 良くないところ、嫌いなところ（勤務地別）	28
5) 良くないところ、嫌いなところ（住居形態別）	29
6) 良くないところ、嫌いなところ（居住意向別）	30
7) 良くないところ、嫌いなところ（地域別）	31
4. 川口市の好きな場所、もの、行事	32
1) 好きな場所、もの、行事	32
2) 好きな場所、もの、行事（性・年齢別）	33
3) 好きな場所、もの、行事（勤務地別）	35
4) 好きな場所、もの、行事（居住意向別）	36
5) 好きな場所、もの、行事（地域別）	37
5. 川口市自治基本条例の周知状況	38
1) 川口市自治基本条例の周知状況	38
2) 川口市自治基本条例の周知状況（性別、性・年齢別）	39
6. 川口市の状況や取り組みについての実感	40
1) 状況や取り組みについての実感	40
2) 状況や取り組みについての実感（性・年齢別）	44
3) 状況や取り組みについての実感（地域別）	48
7. 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの	51
1) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの	51
2) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性別）	53
3) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性・年齢別）	54
4) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（地域別）	57
8. 川口市の都市整備に対する満足度	59
1) 都市整備に対する満足度	59
2) 都市整備に対する満足度（性・年齢別）	60
3) 都市整備に対する満足度（地域別）	61
9. 児童虐待への関心	62
1) 児童虐待への関心	62
2) 児童虐待への関心（性別、性・年齢別）	63
3) 児童虐待への関心（地域別）	64
10. 児童虐待の行動	65
1) 児童虐待の行動	65
2) 児童虐待の行動（性・年齢別）	66
3) 児童虐待の行動（地域別）	68

11. 児童虐待について知っていること	69
1) 児童虐待について知っていること	69
2) 児童虐待について知っていること（性・年齢別）	70
3) 児童虐待について知っていること（地域別）	71
12. 合併による変化	72
1) 合併による変化	72
2) 合併による変化（性別、性・年齢別）	73
3) 合併による変化（地域別）	74
13. 災害時の備え	75
1) 災害時の備え	75
2) 災害時の備え（性・年齢別）	76
3) 災害時の備え（地域別）	77
14. 食料や飲料水の備蓄日数	78
1) 食料や飲料水の備蓄日数	78
2) 食料や飲料水の備蓄日数（性別、性・年齢別）	79
3) 食料や飲料水の備蓄日数（地域別）	80
15. 非常用トイレの備蓄回数	81
1) 非常用トイレの備蓄回数	81
2) 非常用トイレの備蓄回数（性別、性・年齢別）	82
3) 非常用トイレの備蓄回数（地域別）	83
16. 防災訓練への参加	84
1) 防災訓練への参加	84
2) 防災訓練への参加（性別、性・年齢別）	85
3) 防災訓練への参加（地域別）	86
17. 在宅避難の認知度	87
1) 在宅避難の認知度	87
2) 在宅避難の認知度（性別、性・年齢別）	88
3) 在宅避難の認知度（地域別）	89
18. 市から発信する防災・災害情報の入手手段	90
1) 市から発信する防災・災害情報の入手手段	90
2) 市から発信する防災・災害情報の入手手段（性・年齢別）	91
3) 市から発信する防災・災害情報の入手手段（地域別）	92
19. 食中毒の経験	93
1) 食中毒の経験	93
2) 食中毒の経験（性別、性・年齢別）	94
3) 食中毒の経験（地域別）	95

20. 食中毒予防で気を付けていること	96
1) 食中毒予防で気を付けていること	96
2) 食中毒予防で気を付けていること（性・年齢別）	97
3) 食中毒予防で気を付けていること（地域別）	98
21. 食中毒の予防3原則の認知度	99
1) 食中毒の予防3原則の認知度	99
2) 食中毒の予防3原則の認知度（性別、性・年齢別）	100
3) 食中毒の予防3原則の認知度（地域別）	101
22. 食品衛生の推進に重要なこと	102
1) 食品衛生の推進に重要なこと	102
2) 食品衛生の推進に重要なこと（性・年齢別）	103
3) 食品衛生の推進に重要なこと（地域別）	104
23. 川口市の公共施設の利用頻度	105
1) 川口市の公共施設の利用頻度	105
2) 川口市の公共施設の利用頻度（性・年齢別）	106
3) 川口市の公共施設の利用頻度（地域別）	107
24. 川口市の公共施設を利用していない理由	108
1) 川口市の公共施設を利用していない理由	108
2) 川口市の公共施設を利用していない理由（地域別）	109
25. 公共施設の整備等の取り組み	114
1) 公共施設の整備等の取り組み	114
2) 公共施設の整備等の取り組み（性・年齢別）	115
3) 公共施設の整備等の取り組み（地域別）	117
26. 喫煙の有無	118
1) 喫煙の有無	118
2) 喫煙の有無（性別、性・年齢別）	119
3) 喫煙の有無（地域別）	120
27. 受動喫煙の認知度	121
1) 受動喫煙の認知度	121
2) 受動喫煙の認知度（性別、性・年齢別）	122
3) 受動喫煙の認知度（地域別）	123
28. 国の受動喫煙対策の認知度	124
1) 国の受動喫煙対策の認知度	124
2) 国の受動喫煙対策の認知度（性別、性・年齢別）	125
3) 国の受動喫煙対策の認知度（地域別）	126

29. 1 年間に受動喫煙にあった施設	127
1) 1 年間に受動喫煙にあった施設	127
2) 1 年間に受動喫煙にあった施設（性・年齢別）	128
3) 1 年間に受動喫煙にあった施設（地域別）	129

第3章 調査結果の分析

1) 川口市の特徴	132
2) 川口市の課題	134

参考資料（調査票・単純集計結果）

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 回収結果

- ・本意識調査は、川口市内在住の18歳以上の男女5,000人を対象に、令和2年6月1日から6月22日にかけて郵送にて実施した。調査対象者は、住民基本台帳をもとに無作為抽出した。
- ・有効回答者数は1,959人、有効回答率は39.2%であった。

2. 報告書を読むにあたって

- ・調査結果の%表記については、小数第2位を四捨五入した値であるため、単数回答でも合計が必ずしも100%になるとは限らない。
- ・複数回答の質問は、回答数を100%として各選択肢の割合を算出しているため、合計は100%を超えている。
- ・図表中のnは回答数を示している。
- ・回答数が小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- ・表中の記号の意味は、以下のとおりである。

全体値より	☆：15.1ポイント以上高い	★：15.1ポイント以上低い
	○：10.1～15ポイント高い	●：10.1～15ポイント低い
	△：5.1～10ポイント高い	▲：5.1～10ポイント低い

3. 標本誤差について

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数を調査した場合に得られる数値）から隔たっている可能性がある。（これを標本誤差という。）

この標本誤差の大きさは、95%の信頼度で、

$$\pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \quad \approx \quad \pm 2 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

を超えないことが確認されている。（N：母集団、n：標本数、P：出現率）

今回の調査では、n=1,959 であるから、例えば、ある回答（調査結果）が 20% (P=0.2) の場合、標本誤差は

$$\pm 2\sqrt{\frac{0.2 \times 0.8}{1,959}} \approx \pm 0.0181$$

となり、真の値は 95%の信頼度で 20%±1.81 の範囲内（18.19%～21.81%）にあることとなる。同様に計算したものが次表である。

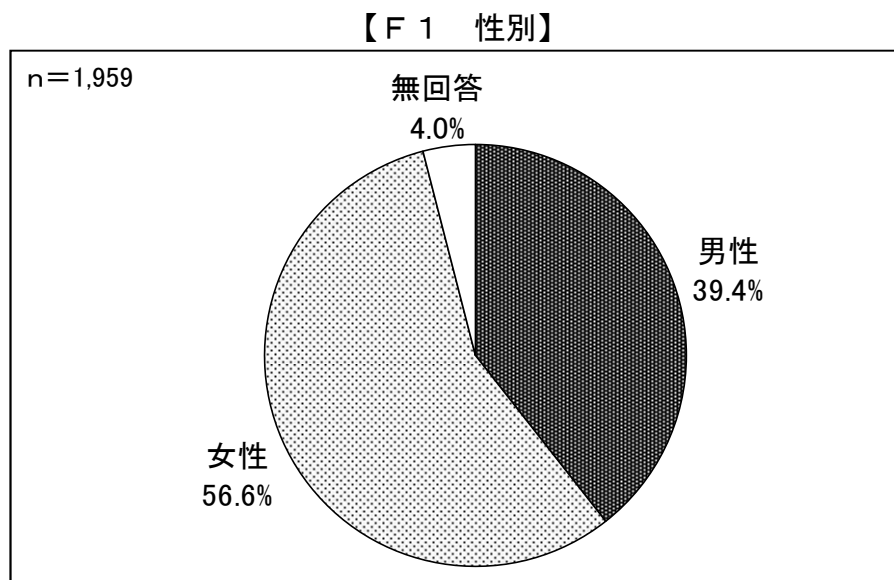
[標本誤差早見表（主なもの）]

基数 (n)	回 答 率 (P)				
	90%または 10%	80%または 20%	70%または 30%	60%または 40%	50%
1,959	± 1.36	± 1.81	± 2.07	± 2.21	± 2.26
1,000	± 1.90	± 2.53	± 2.90	± 3.10	± 3.16
500	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
300	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
100	± 6.00	± 8.00	± 9.17	± 9.80	± 10.00

4. 調査回答者の属性

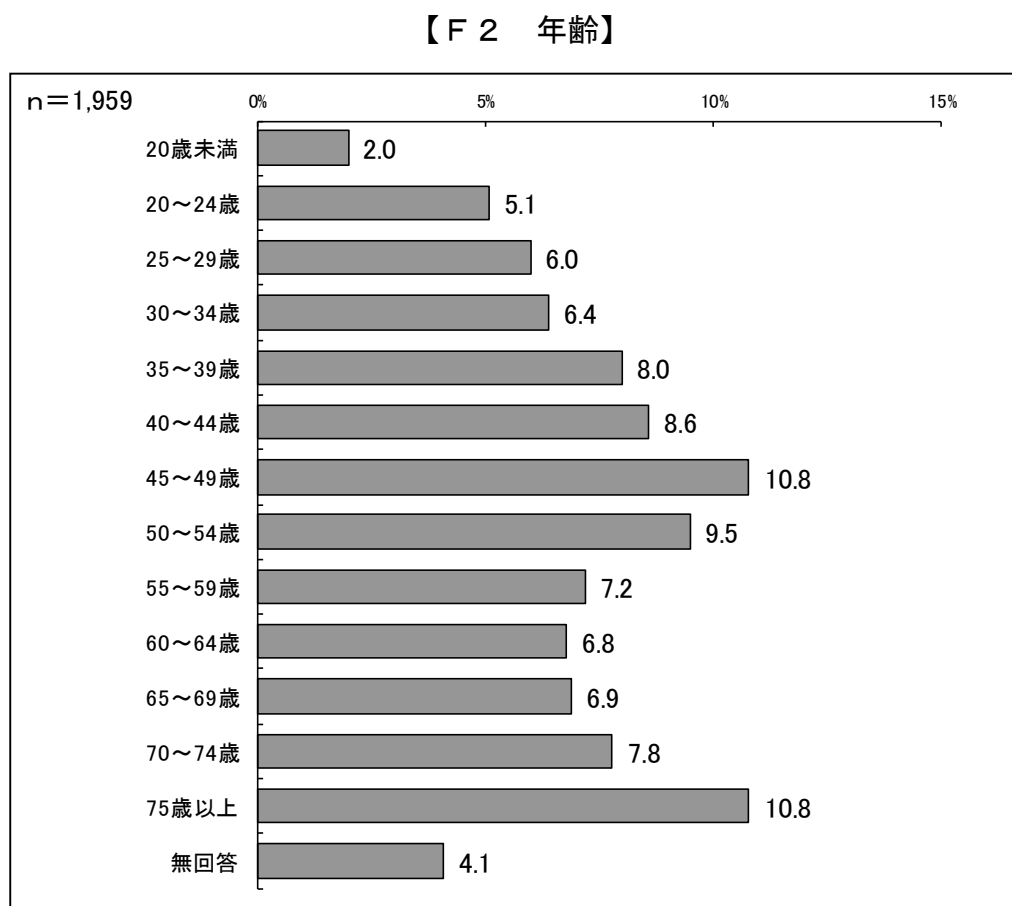
1) 性別

- 回答者の性別は、「男性」39.4%、「女性」56.6%と「女性」が高くなっている。



2) 年齢

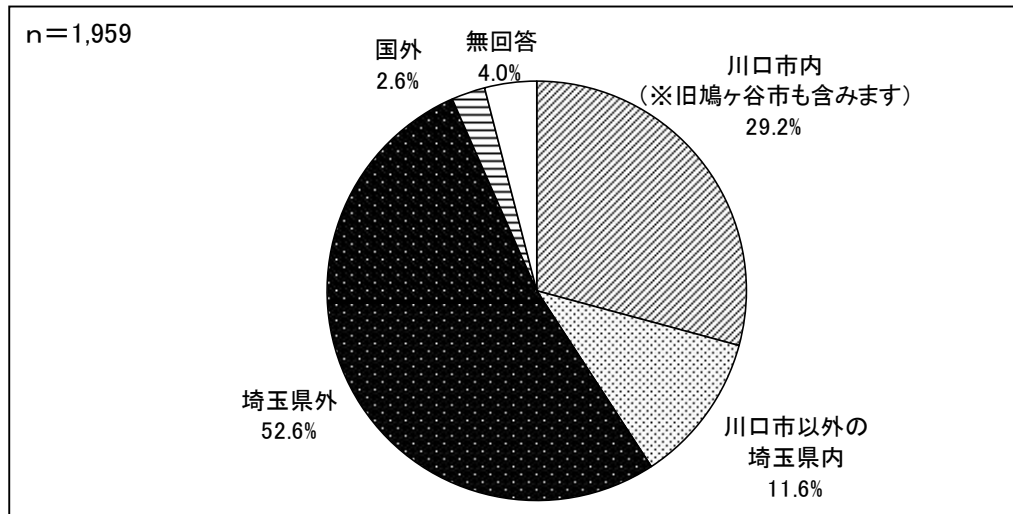
- 回答者の年齢は、「45～49 歳」、「75 歳以上」がともに 10.8%と高くなっている。



3) 出生

- 回答者の出生は、「埼玉県外」が52.6%と高くなっている。

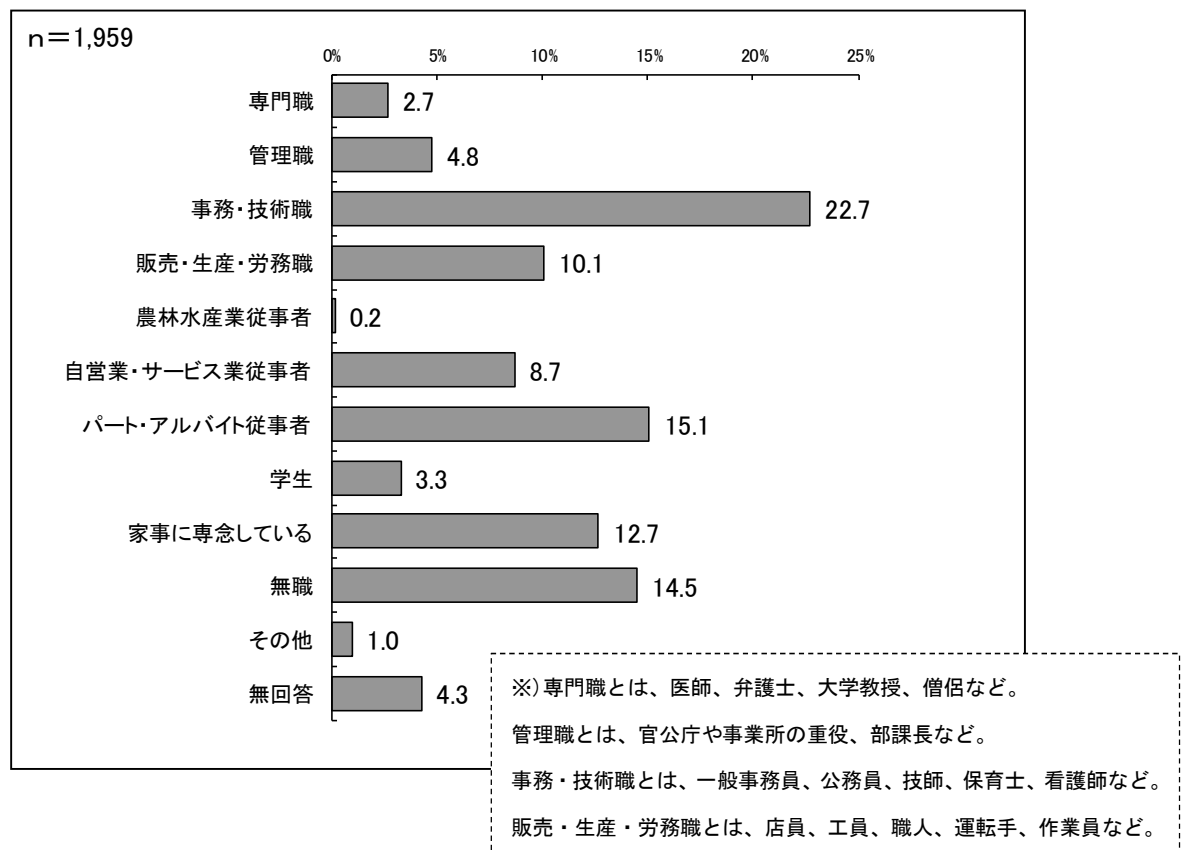
【F 3 出生】



4) 職業

- 回答者の職業は、「事務・技術職」が22.7%と最も高く、次いで、「パート・アルバイト従事者」、「無職」、「家事に専念している」、「販売・生産・労務職」、「自営業・サービス業従事者」となっている。

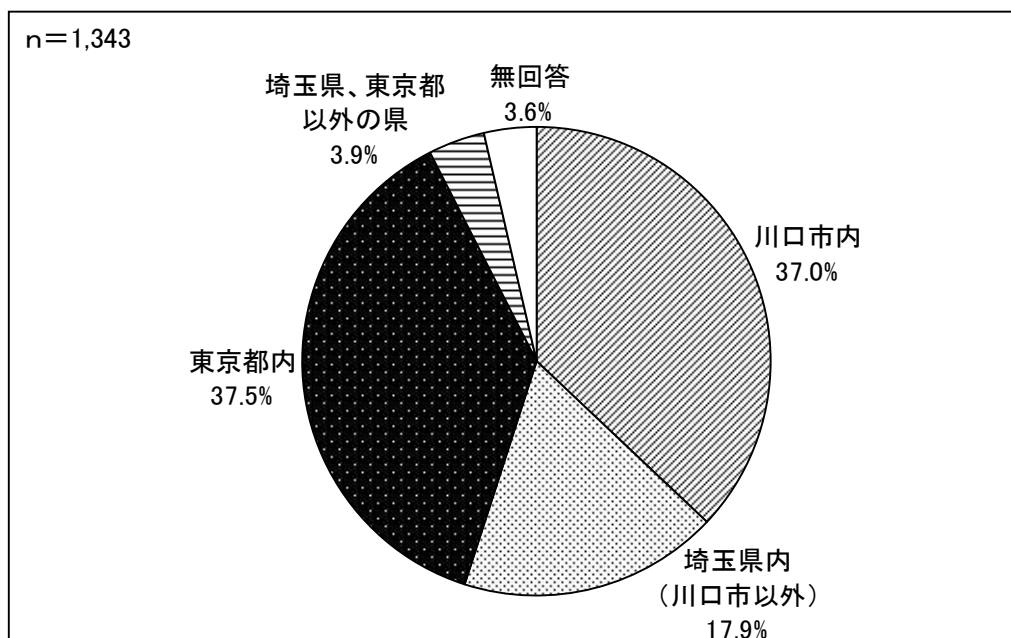
【F 4 職業】



5) 現在の勤務地及び学校所在地

- 回答者の中で就業者及び学生（家事に専念している、無職を除く）の勤務地等は、「東京都内」が37.5%と最も高く、「川口市内」が37.0%となっている。

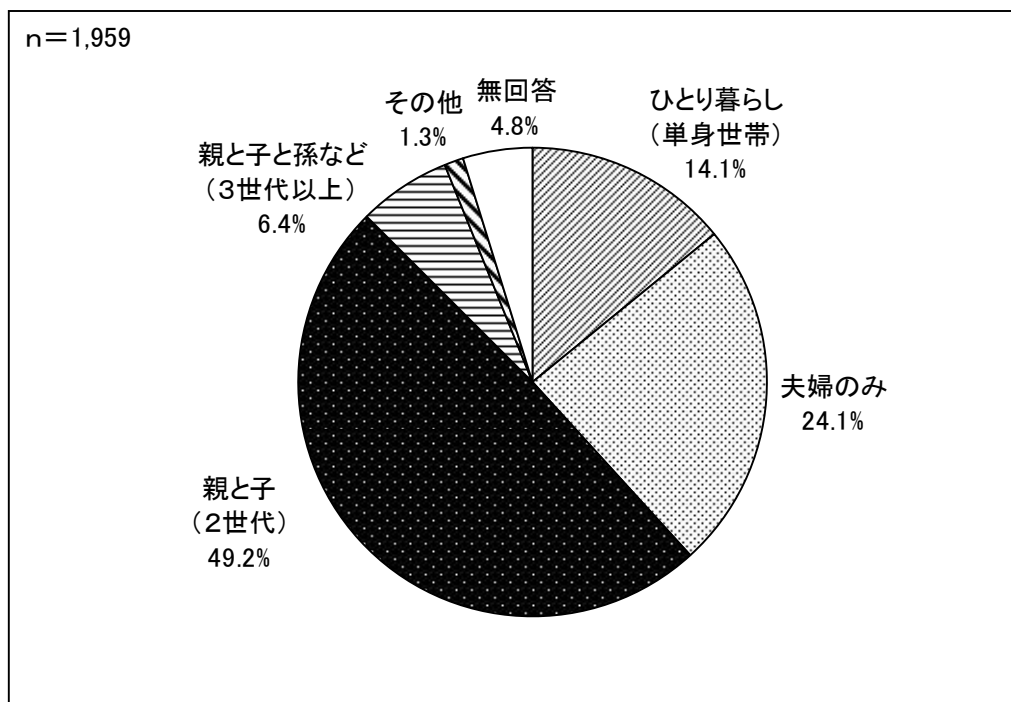
【F 5 勤務地】



6) 家族構成

- 回答者の家族構成は、「親と子（2世代）」が49.2%と全体の約半数を占めている。

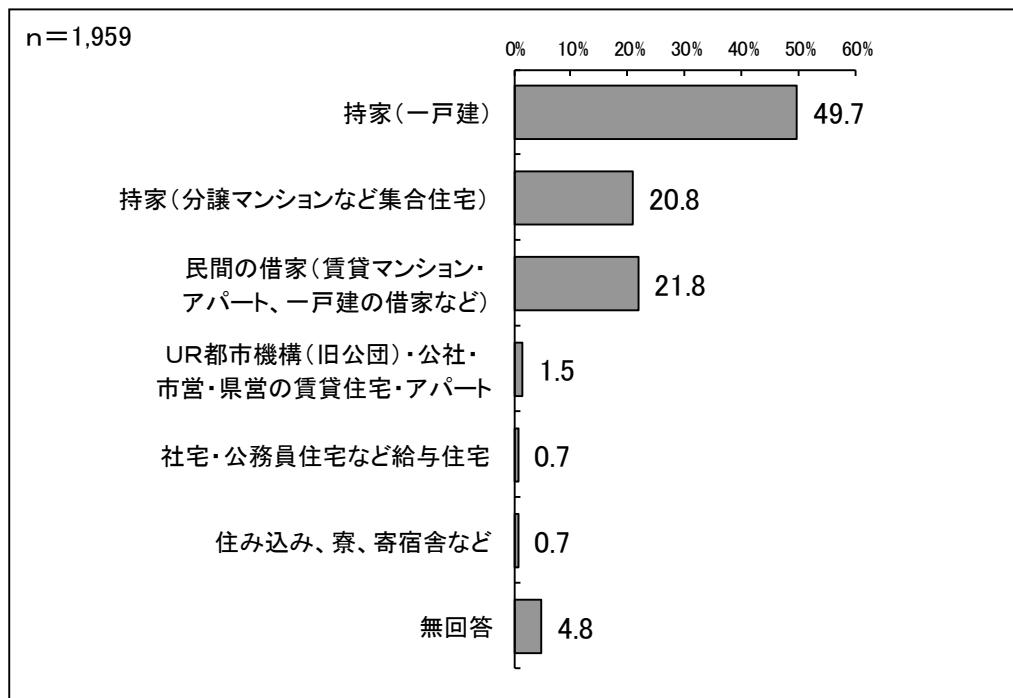
【F 6 家族構成】



7) 住居形態

- 回答者の住居形態は「持家（一戸建）」が49.7%と全体の約半数を占めている。

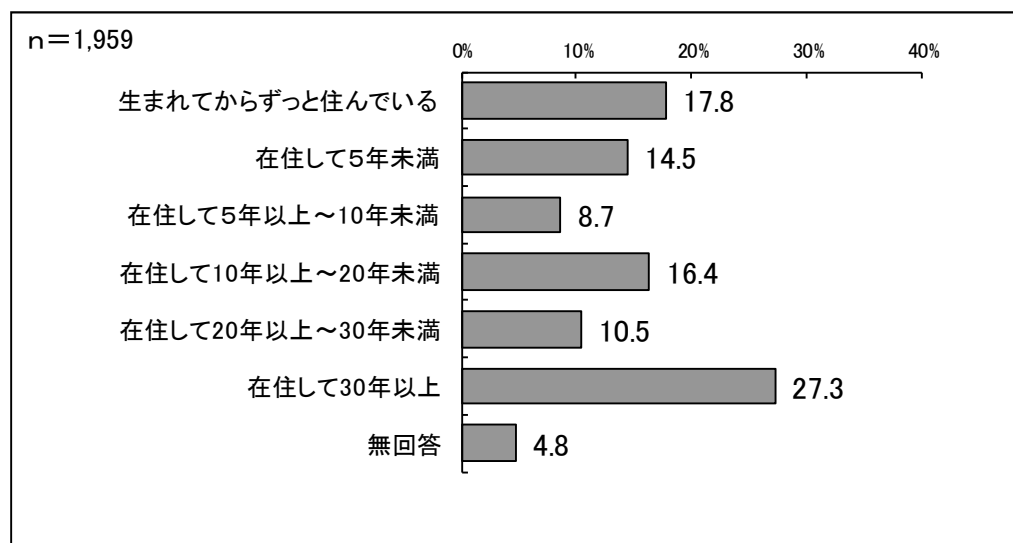
【F 7 住居形態】



8) 居住年数

- 回答者の居住年数は、「在住して30年以上」が27.3%と最も高く、次いで、「生まれてからずっと住んでいる」が17.8%、「在住して10年以上～20年未満」が16.4%となっている。

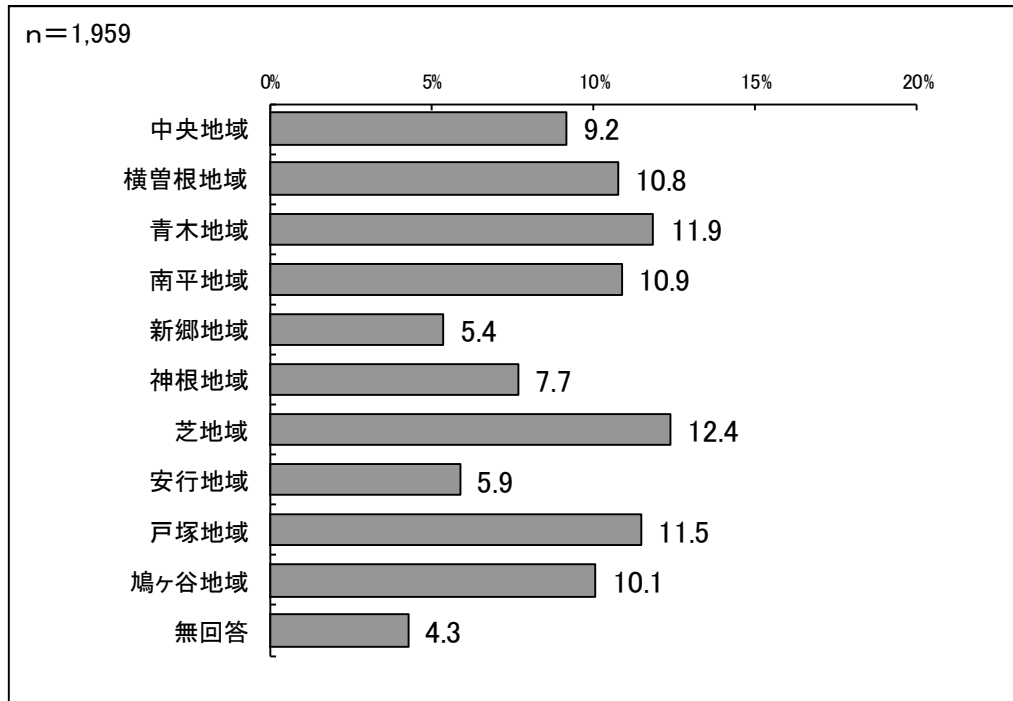
【F 8 居住年数】



9) 居住地域

- 回答者の居住地域は、「芝地域」が12.4%と最も高く、「青木地域」が11.9%、「戸塚地域」が11.5%となっている。

【F 9 居住地域】



第 2 章 調査結果

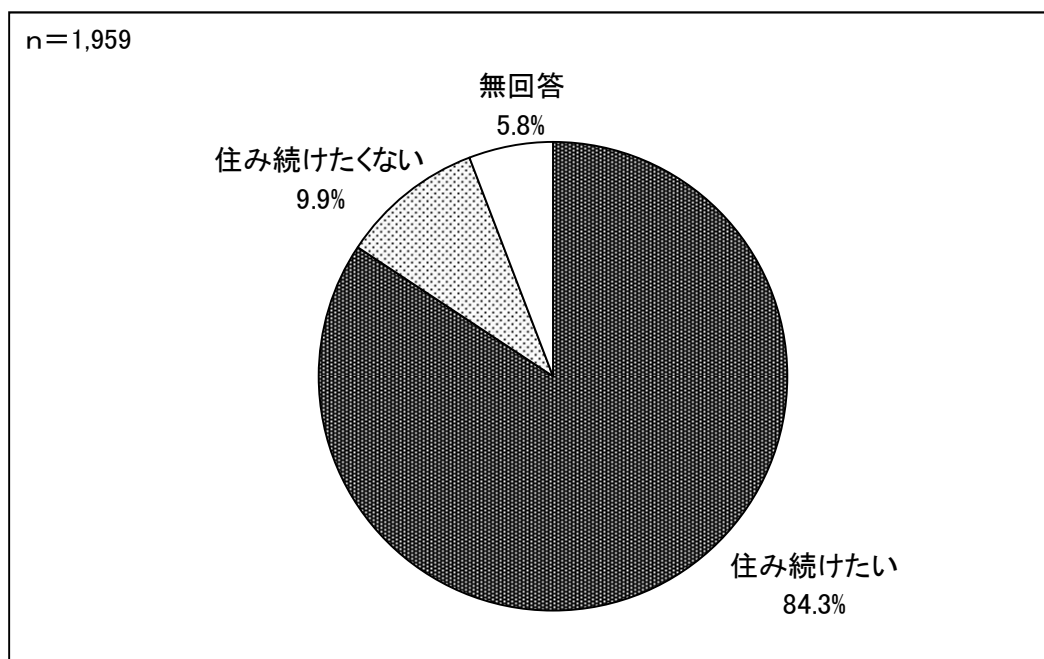
第2章 調査結果

1. 川口市の居住意向

1) 居住意向

- 川口市の居住意向では、84.3%が今後も川口市に「住み続けたい」と回答しており、非常に高い割合を示している。
- 「住み続けたくない」と回答した人は9.9%にとどまっている。

【居住意向（全体）】



【居住意向の推移】

(人)		(%)		
年度	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
平成 18 年度	1,763	76.8	21.9	1.3
平成 19 年度	1,882	84.1	14.6	1.3
平成 20 年度	1,792	82.6	11.4	6.0
平成 21 年度	1,607	83.2	10.3	6.5
平成 22 年度	1,900	84.1	10.4	5.5
平成 23 年度	1,662	84.9	10.3	4.8
平成 24 年度	1,610	82.7	11.1	6.2
平成 25 年度	1,558	82.1	11.9	6.0
平成 26 年度	1,513	83.2	15.1	1.7
平成 27 年度	1,621	82.2	12.2	5.6
平成 28 年度	1,785	83.3	10.5	6.2
平成 29 年度	1,822	83.8	10.5	5.7
平成 30 年度	1,719	82.0	12.3	5.8
令和元年度	1,642	83.0	9.5	7.5
令和2年度	1,959	84.3	9.9	5.8

※平成 18 年度は、「現在住んでいる地域に住み続けたいか」という質問に対する居住意向を示しています。

2) 居留意向（性別、性・年齢別）

- 性・年齢別にみると、「住み続けたい」は、男性 65～74 歳が 90.5%、女性 75 歳以上が 89.1%と高くなっている。一方、「住み続けたくない」は、男性 30～39 歳が 17.4%、女性 18～29 歳が 12.6%と高くなっている。

【居留意向（性別、性・年齢別）】

		(人)				(%)
		合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答	
全体		1,959	84.3	9.9	5.8	
男性		771	84.4	10.5	5.1	
女性		1,109	84.8	9.6	5.7	
男 性	18～29歳	104	85.6	11.5	2.9	
	30～39歳	86	▲ 79.1	△ 17.4	3.5	
	40～49歳	166	84.3	11.4	4.2	
	50～59歳	129	82.2	13.2	4.7	
	60～64歳	57	△ 89.5	7.0	3.5	
	65～74歳	126	△ 90.5	6.3	3.2	
	75歳以上	101	82.2	5.9	△	11.9
女 性	18～29歳	151	84.1	12.6	3.3	
	30～39歳	196	84.7	10.7	4.6	
	40～49歳	214	84.1	10.3	5.6	
	50～59歳	198	81.8	12.1	6.1	
	60～64歳	76	86.8	9.2	3.9	
	65～74歳	162	86.4	6.2	7.4	
	75歳以上	110	89.1	▲ 1.8	9.1	

3) 居住意向（出生別）

- ・ 出生別にみると、「住み続けたい」は、川口市内が86.9%と高くなっている。

【居住意向（出生別）】

	(人)		(%)	
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,959	84.3	9.9	5.8
川口市内	572	86.9	8.2	4.9
川口市以外の埼玉県内	227	85.0	7.9	7.0
埼玉県外	1,031	83.2	11.5	5.2
国外	50	84.0	8.0	8.0

4) 居住意向（職業別）

- ・ 職業別にみると、「住み続けたい」は、農林水産業従事者が100.0%、無職が87.3%と高くなっている。一方、「住み続けたくない」は、専門職（医師、弁護士、大学教授、僧侶など）が20.8%と高くなっている。

【居住意向（職業別）】

	(人)		(%)	
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,959	84.3	9.9	5.8
専門職	53	▲ 79.2	○ 20.8	▲ 0.0
管理職	95	86.3	9.5	4.2
事務・技術職	444	84.7	12.2	3.2
販売・生産・労務職	198	82.8	12.1	5.1
農林水産業従事者	3	☆ 100.0	▲ 0.0	▲ 0.0
自営業・サービス業従事者	171	84.2	9.4	6.4
パート・アルバイト従事者	295	82.4	9.5	8.1
学生	65	84.6	13.8	1.5
家事に専念している	248	86.7	8.1	5.2
無職	284	87.3	4.9	7.7
その他	19	● 73.7	10.5	△ 15.8

5) 居住意向（勤務地別）

- ・ 勤務地別にみると、「住みたい」は、川口市内が 85.9%と高くなっている。一方、「住みたくない」は、埼玉県、東京都以外の県が 17.0%と高くなっている。

【居住意向（勤務地別）】

	(人)			(%)
	合計	住みたい	住みたくない	無回答
全体	1,959	84.3	9.9	5.8
川口市内	497	85.9	9.7	4.4
埼玉県内（川口市以外）	241	82.2	11.6	6.2
東京都内	503	82.9	12.5	4.6
埼玉県、東京都以外の県	53	81.1	△ 17.0	1.9

6) 居住意向（家族構成別）

- ・ 家族構成別にみると、「住みたい」は、その他が 92.3%、親と子（2世代）が 85.5%と高くなっている。

【居住意向（家族構成別）】

	(人)			(%)
	合計	住みたい	住みたくない	無回答
全体	1,959	84.3	9.9	5.8
ひとり暮らし（単身世帯）	276	81.9	12.0	6.2
夫婦のみ	472	84.5	9.3	6.1
親と子（2世代）	964	85.5	9.5	5.0
親と子と孫など（3世代以上）	126	84.9	11.9	3.2
その他	26	△ 92.3	7.7	▲ 0.0

7) 居住意向（住居形態別）

- 住居形態別にみると、「住み続けたい」は、住み込み、寮、寄宿舍などが 92.3%と高くなっている。一方、「住み続けたくない」は、社宅・公務員住宅など給与住宅が 15.4%、民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）が 14.3%と高くなっている。

【居住意向（住居形態別）】

	(人)		(%)	
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,959	84.3	9.9	5.8
持家（一戸建）	973	86.5	8.4	5.0
持家（分譲マンションなど集合住宅）	408	85.3	9.1	5.6
民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）	427	80.3	14.3	5.4
UR都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート	30	86.7	6.7	6.7
社宅・公務員住宅など給与住宅	13	▲ 76.9	△ 15.4	7.7
住み込み、寮、寄宿舍など	13	△ 92.3	7.7	▲ 0.0

8) 居住意向（居住年数別）

- 居住年数別にみると、「住み続けたい」は、生まれてからずっと住んでいるが 89.4%、在住して 30 年以上が 87.6%と高くなっている。一方、「住み続けたくない」は、在住して 5 年以上～10 年未満が 14.6%、在住して 5 年未満が 14.1%と高くなっている。

【居住意向（居住年数別）】

	(人)		(%)	
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,959	84.3	9.9	5.8
在住して 5 年未満	284	80.3	14.1	5.6
在住して 5 年以上～10 年未満	171	81.9	14.6	3.5
在住して 10 年以上～20 年未満	321	81.3	13.4	5.3
在住して 20 年以上～30 年未満	206	84.0	11.2	4.9
在住して 30 年以上	534	87.6	5.2	7.1
生まれてからずっと住んでいる	349	△ 89.4	7.4	3.2

9) 居住意向（地域別）

- ・ 地域別にみると、「住み続けたい」は、神根地域が 88.7%、南平地域が 87.4%と高くなっている。一方、「住み続けたくない」は、中央地域が 12.8%、芝地域が 12.8%と高くなっている。

【居住意向（地域別）】

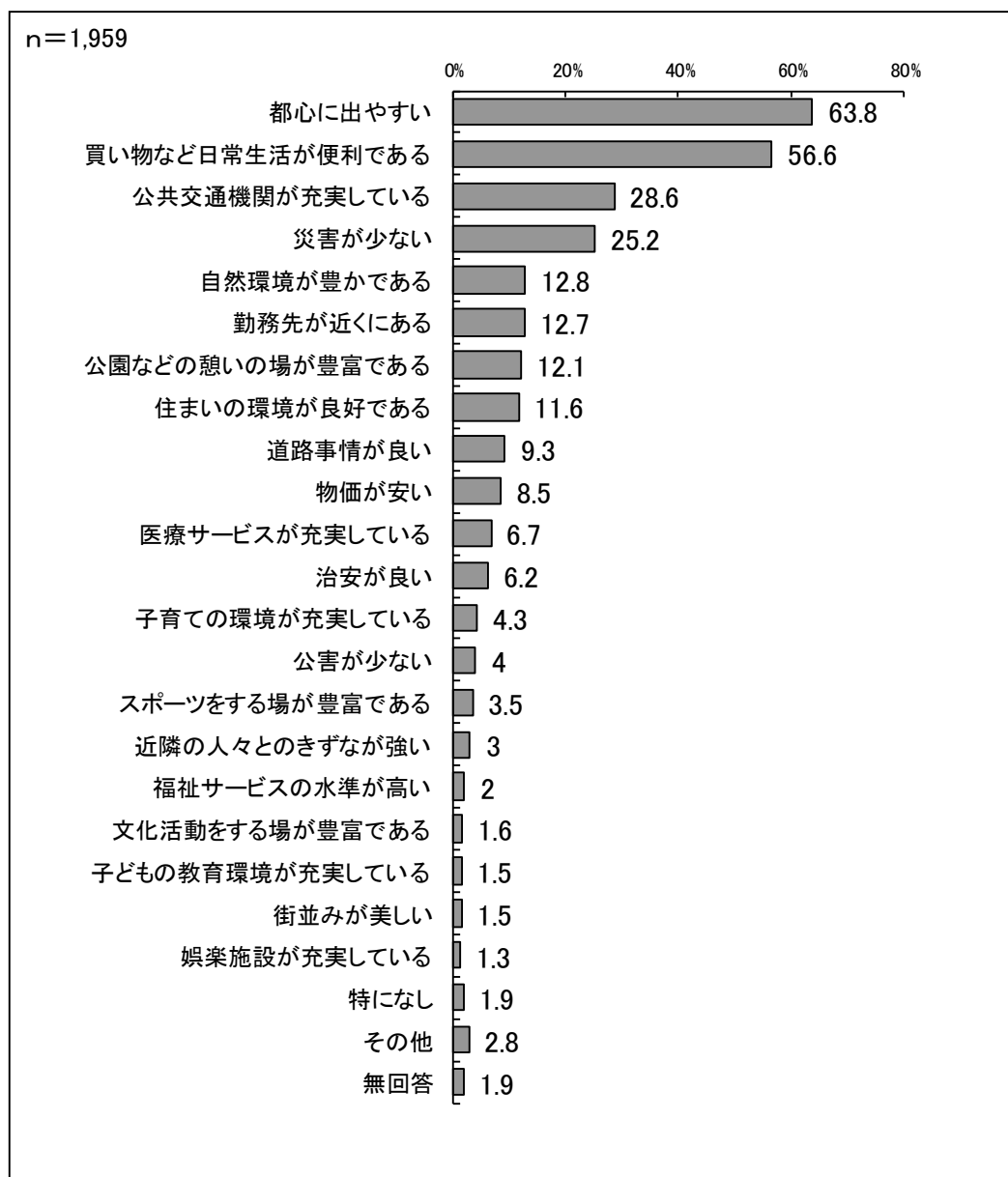
	(人)			(%)
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,959	84.3	9.9	5.8
中央地域	180	83.9	12.8	3.3
横曽根地域	211	80.6	11.8	7.6
青木地域	234	85.5	8.1	6.4
南平地域	214	87.4	10.3	2.3
新郷地域	106	▲ 79.2	11.3	9.4
神根地域	151	88.7	5.3	6.0
芝地域	242	81.8	12.8	5.4
安行地域	115	86.1	7.0	7.0
戸塚地域	225	86.7	9.3	4.0
鳩ヶ谷地域	197	86.8	7.6	5.6

2. 川口市の良いところ

1) 良いところ、好きなところ

- 川口市の良いところ、好きなところとしては、「都心に出やすい」が 63.8%と最も高く、次いで、「買い物など日常生活が便利である」が 56.6%、「公共交通機関が充実している」が 28.6%となっている。

【良いところ、好きなところ（全体）（3つまで選択）】



2) 良いところ、好きなところ（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「都心に出やすい」は、女性 18～29 歳が 78.8%、男性 18～29 歳が 72.1%と高くなっている。
- ・ 「買い物など日常生活が便利である」は、女性 30～39 歳が 71.4%と高くなっている。
- ・ 「公共交通機関が充実している」は、男性 30～39 歳が 43.0%と高くなっている。
- ・ 「災害が少ない」は、女性 75 歳以上が 44.5%、男性 75 歳以上が 41.6%、女性 65～74 歳が 40.7%と高くなっている。

【良いところ、好きなところ（男性・年齢別）】

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
都心に出やすい	63.8	△ 72.1	68.6	67.5	62.8	64.9	59.5	▲ 57.4
買い物など日常生活が便利である	56.6	▲ 51.0	△ 62.8	53.6	55.8	● 42.1	54.0	★ 38.6
公共交通機関が充実している	28.6	△ 37.5	○ 43.0	26.5	30.2	31.6	△ 34.9	31.7
災害が少ない	25.2	★ 9.6	▲ 16.3	● 15.1	25.6	△ 31.6	△ 34.1	☆ 41.6
自然環境が豊かである	12.8	13.5	▲ 7.0	13.9	10.1	12.3	10.3	14.9
勤務先が近くにある	12.7	11.5	△ 19.8	△ 18.7	15.5	14.0	▲ 5.6	● 1.0
公園などの憩いの場が豊富である	12.1	11.5	14.0	10.8	▲ 7.0	14.0	11.1	8.9
住まいの環境が良好である	11.6	14.4	10.5	13.3	9.3	△ 17.5	10.3	▲ 5.9
道路事情が良い	9.3	6.7	12.8	13.3	12.4	10.5	14.3	8.9
物価が安い	8.5	6.7	10.5	5.4	7.8	8.8	5.6	8.9
医療サービスが充実している	6.7	1.9	5.8	2.4	5.4	3.5	△ 11.9	△ 14.9
治安が良い	6.2	4.8	4.7	4.8	5.4	10.5	7.1	7.9
子育ての環境が充実している	4.3	3.8	9.3	4.8	3.1	3.5	0.0	1.0
公害が少ない	4.0	1.9	0.0	2.4	3.1	7.0	5.6	7.9
スポーツをする場が豊富である	3.5	5.8	2.3	4.2	3.9	0.0	7.1	5.9
近隣の人々とのきずなが強い	3.0	1.0	0.0	1.2	0.8	5.3	4.8	5.9
福祉サービスの水準が高い	2.0	1.0	0.0	0.6	1.6	1.8	4.8	5.0
文化活動をする場が豊富である	1.6	1.0	1.2	0.6	0.0	1.8	1.6	1.0
子どもの教育環境が充実している	1.5	1.0	0.0	4.8	0.8	0.0	0.0	1.0
街並みが美しい	1.5	3.8	1.2	1.8	0.8	1.8	2.4	0.0
娯楽施設が充実している	1.3	1.9	1.2	1.2	0.8	1.8	1.6	0.0
特になし	1.9	1.0	0.0	3.6	4.7	0.0	0.0	4.0
その他	2.8	3.8	2.3	0.6	3.9	1.8	1.6	2.0
無回答	1.9	1.9	0.0	1.8	1.6	0.0	1.6	5.0

【良いところ、好きなところ（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
都心に出やすい	63.8	○ 78.8	66.8	65.9	63.1	59.2	▲ 54.3	▲ 56.4
買い物など日常生活が便利である	56.6	57.6	○ 71.4	△ 65.0	56.6	△ 63.2	55.6	● 44.5
公共交通機関が充実している	28.6	△ 34.4	27.0	27.6	▲ 23.2	▲ 19.7	▲ 21.0	23.6
災害が少ない	25.2	● 13.9	● 11.7	▲ 19.6	28.3	△ 32.9	☆ 40.7	☆ 44.5
自然環境が豊かである	12.8	▲ 7.3	9.7	11.7	13.6	17.1	△ 18.5	△ 20.9
勤務先が近くにある	12.7	16.6	15.3	14.0	17.7	13.2	8.6	▲ 2.7
公園などの憩いの場が豊富である	12.1	13.2	△ 20.9	12.6	7.1	10.5	13.0	11.8
住まいの環境が良好である	11.6	7.3	14.3	11.2	14.1	13.2	12.3	10.9
道路事情が良い	9.3	5.3	▲ 4.1	9.8	7.6	11.8	9.9	8.2
物価が安い	8.5	9.9	7.7	11.7	9.1	10.5	10.5	5.5
医療サービスが充実している	6.7	6.0	6.1	3.7	4.0	5.3	9.9	△ 15.5
治安が良い	6.2	7.3	4.1	7.0	3.0	6.6	6.8	△ 11.8
子育ての環境が充実している	4.3	4.6	△ 11.2	7.0	2.0	2.6	1.2	2.7
公害が少ない	4.0	4.0	1.5	3.7	4.0	3.9	3.7	△ 12.7
スポーツをする場が豊富である	3.5	2.0	3.6	3.7	1.5	1.3	2.5	3.6
近隣の人々とのきずなが強い	3.0	1.3	0.5	0.9	3.0	2.6	△ 9.3	△ 8.2
福祉サービスの水準が高い	2.0	1.3	0.5	0.5	1.0	1.3	2.5	△ 7.3
文化活動をする場が豊富である	1.6	2.6	1.5	2.8	1.0	1.3	1.9	3.6
子どもの教育環境が充実している	1.5	2.6	1.5	2.3	1.0	0.0	0.6	1.8
街並みが美しい	1.5	3.3	2.0	0.9	1.0	1.3	1.2	0.9
娯楽施設が充実している	1.3	4.0	2.0	2.3	0.0	0.0	0.6	0.0
特になし	1.9	2.6	1.0	0.9	3.0	1.3	1.9	0.0
その他	2.8	2.6	4.1	2.3	3.0	3.9	2.5	6.4
無回答	1.9	1.3	0.5	0.0	2.0	2.6	1.9	4.5

3) 良いところ、好きのところ（出生別）

- ・ 出生別にみると、「買い物など日常生活が便利である」は、国外が 62.0%と高くなっている。
- ・ 「公共交通機関が充実している」は、川口市以外の埼玉県内が 36.1%と高くなっている。

【良いところ、好きのところ（出生別）】

(%)

	全体	川口市内	川口市以外 の埼玉県内	埼玉県外	国外
都心に出やすい	63.8	63.6	63.0	65.2	62.0
買い物など日常生活が便利である	56.6	53.1	59.5	57.9	△ 62.0
公共交通機関が充実している	28.6	29.0	△ 36.1	27.2	24.0
災害が少ない	25.2	28.7	▲ 17.6	24.6	▲ 20.0
自然環境が豊かである	12.8	12.8	10.1	13.3	10.0
勤務先が近くにある	12.7	13.5	15.9	12.4	▲ 6.0
公園などの憩いの場が豊富である	12.1	10.7	13.7	12.5	10.0
住まいの環境が良好である	11.6	11.0	11.0	11.8	△ 20.0
道路事情が良い	9.3	11.2	9.3	8.1	12.0
物価が安い	8.5	7.7	7.0	8.9	△ 16.0
医療サービスが充実している	6.7	5.6	7.0	7.3	8.0
治安が良い	6.2	7.7	4.4	5.7	6.0
子育ての環境が充実している	4.3	4.2	4.8	4.3	6.0
公害が少ない	4.0	4.9	2.2	3.8	△ 10.0
スポーツをする場が豊富である	3.5	3.5	2.6	3.6	4.0
近隣の人々とのきずなが強い	3.0	2.1	2.6	3.5	4.0
福祉サービスの水準が高い	2.0	0.9	1.3	2.3	6.0
文化活動をする場が豊富である	1.6	0.9	1.8	1.7	6.0
子どもの教育環境が充実している	1.5	0.9	2.2	1.4	△ 8.0
街並みが美しい	1.5	1.6	0.4	1.5	△ 10.0
娯楽施設が充実している	1.3	1.0	3.1	1.0	4.0
特になし	1.9	2.3	1.3	1.8	0.0
その他	2.8	3.1	0.9	3.2	2.0
無回答	1.9	1.9	1.8	1.5	2.0

4) 良いところ、好きなところ（勤務地別）

- ・ 勤務地別にみると、「都心に出やすい」は、埼玉県、東京都以外の県が 83.0%、東京都内が 76.3%と高くなっている。
- ・ 「公共交通機関が充実している」は、埼玉県、東京都以外の県が 39.6%と高くなっている。
- ・ 「勤務先が近くにある」は、川口市内が 29.8%と高くなっている。

【良いところ、好きなところ（勤務地別）】

(%)

	全体	川口市内	埼玉県内 (川口市以外)	東京都内	埼玉県、東京都 以外の県
都心に出やすい	63.8	60.6	59.3	○ 76.3	☆ 83.0
買い物など日常生活が便利である	56.6	55.7	58.5	57.1	54.7
公共交通機関が充実している	28.6	27.2	30.7	31.6	○ 39.6
災害が少ない	25.2	28.6	21.6	▲ 16.1	▲ 18.9
自然環境が豊かである	12.8	12.7	14.5	11.7	9.4
勤務先が近くにある	12.7	☆ 29.8	16.6	8.3	▲ 3.8
公園などの憩いの場が豊富である	12.1	12.3	13.7	10.3	● 1.9
住まいの環境が良好である	11.6	11.5	11.2	13.1	7.5
道路事情が良い	9.3	10.7	10.8	7.2	7.5
物価が安い	8.5	6.6	7.1	10.5	3.8
医療サービスが充実している	6.7	6.2	5.0	3.8	3.8
治安が良い	6.2	5.6	2.5	7.2	1.9
子育ての環境が充実している	4.3	3.6	5.4	3.6	3.8
公害が少ない	4.0	4.4	2.5	2.8	1.9
スポーツをする場が豊富である	3.5	3.6	4.6	3.2	3.8
近隣の人々とのきずなが強い	3.0	3.8	2.9	0.8	0.0
福祉サービスの水準が高い	2.0	1.4	1.7	0.6	1.9
文化活動をする場が豊富である	1.6	1.4	0.8	1.8	1.9
子どもの教育環境が充実している	1.5	1.0	2.9	0.8	1.9
街並みが美しい	1.5	0.6	0.8	3.0	3.8
娯楽施設が充実している	1.3	2.4	0.8	0.8	1.9
特になし	1.9	1.8	1.7	2.0	1.9
その他	2.8	2.6	2.5	3.6	3.8
無回答	1.9	1.2	2.5	0.4	3.8

5) 良いところ、好きなところ（住居形態別）

- ・ 住居形態別にみると、「都心に出やすい」は、社宅・公務員住宅など給与住宅が84.6%、持家（分譲マンションなど集合住宅）が74.0%と高くなっている。
- ・ 「買い物など日常生活が便利である」は、社宅・公務員住宅など給与住宅が76.9%と高くなっている。
- ・ 「公共交通機関が充実している」は、住み込み、寮、寄宿舍などが46.2%と高くなっている。
- ・ 「災害が少ない」は、UR都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパートが36.7%と高くなっている。

【良いところ、好きなところ（住居形態別）】

(%)

	全体	持家 (一戸建)	持家（分譲 マンション など集合住 宅）	民間の借家 (賃貸マン ション・ア パート、一 戸建の借家 など)	UR都市機 構（旧公 団）・公 社・市営・ 県営の賃 貸住宅・ア パート	社宅・公務 員住宅など 給与住宅	住み込み、 寮、寄宿舎 など
都心に出やすい	63.8	59.6	○ 74.0	67.2	★ 46.7	☆ 84.6	▲ 53.8
買い物など日常生活が便利である	56.6	51.8	△ 65.4	60.2	53.3	☆ 76.9	53.8
公共交通機関が充実している	28.6	25.7	31.9	31.9	26.7	30.8	☆ 46.2
災害が少ない	25.2	△ 31.7	▲ 15.4	▲ 18.7	○ 36.7	▲ 15.4	★ 7.7
自然環境が豊かである	12.8	15.8	9.1	9.4	13.3	▲ 7.7	▲ 7.7
勤務先が近くにある	12.7	11.7	11.0	17.6	10.0	○ 23.1	☆ 30.8
公園などの憩いの場が豊富である	12.1	11.4	9.3	15.9	13.3	7.7	○ 23.1
住まいの環境が良好である	11.6	11.7	13.7	10.1	6.7	15.4	15.4
道路事情が良い	9.3	10.2	6.9	9.4	10.0	7.7	☆ 30.8
物価が安い	8.5	7.4	10.8	9.1	10.0	▲ 0.0	▲ 0.0
医療サービスが充実している	6.7	6.5	6.9	6.6	△ 13.3	▲ 0.0	△ 15.4
治安が良い	6.2	7.2	3.4	6.3	10.0	▲ 0.0	△ 15.4
子育ての環境が充実している	4.3	4.2	5.1	4.0	3.3	0.0	7.7
公害が少ない	4.0	5.4	1.2	3.5	6.7	0.0	7.7
スポーツをする場が豊富である	3.5	3.6	4.4	1.9	3.3	7.7	○ 15.4
近隣の人々とのきずなが強い	3.0	4.4	1.7	0.7	3.3	0.0	7.7
福祉サービスの水準が高い	2.0	1.6	1.2	2.3	6.7	0.0	△ 7.7
文化活動をする場が豊富である	1.6	1.4	1.7	1.6	0.0	0.0	○ 15.4
子どもの教育環境が充実している	1.5	1.8	1.2	0.9	0.0	0.0	△ 7.7
街並みが美しい	1.5	0.9	1.2	2.3	△ 6.7	△ 7.7	○ 15.4
娯楽施設が充実している	1.3	0.9	1.2	2.1	0.0	0.0	○ 15.4
特になし	1.9	2.2	1.2	1.9	0.0	0.0	0.0
その他	2.8	2.7	3.7	2.1	6.7	0.0	7.7
無回答	1.9	1.7	1.7	1.2	3.3	0.0	0.0

6) 良いところ、好きなところ（居住意向別）

- ・ 居住意向別にみると、「買い物など日常生活が便利である」、「公共交通機関が充実している」、「住まいの環境が良好である」と考える人は、住み続けたいとしている人と住み続けたくないとしている人で、10ポイント以上の差がある。

【良いところ、好きなところ（居住意向別）】

(%)

	全体	住み続けたい	住み続けたくない
都心に出やすい	63.8	64.9	64.9
買い物など日常生活が便利である	56.6	59.0	▲ 47.9
公共交通機関が充実している	28.6	31.0	▲ 19.1
災害が少ない	25.2	25.8	20.6
自然環境が豊かである	12.8	13.9	▲ 7.2
勤務先が近くにある	12.7	13.0	13.9
公園などの憩いの場が豊富である	12.1	13.0	9.3
住まいの環境が良好である	11.6	13.2	▲ 2.6
道路事情が良い	9.3	10.3	▲ 3.1
物価が安い	8.5	8.2	11.3
医療サービスが充実している	6.7	7.5	▲ 1.0
治安が良い	6.2	6.8	2.6
子育ての環境が充実している	4.3	4.8	2.1
公害が少ない	4.0	4.4	2.1
スポーツをする場が豊富である	3.5	3.9	1.5
近隣の人々とのきずなが強い	3.0	3.5	1.0
福祉サービスの水準が高い	2.0	2.2	0.0
文化活動をする場が豊富である	1.6	1.6	1.0
子どもの教育環境が充実している	1.5	1.7	0.5
街並みが美しい	1.5	1.6	0.5
娯楽施設が充実している	1.3	1.3	1.0
特になし	1.9	0.8	△ 9.3
その他	2.8	2.5	4.6
無回答	1.9	0.3	0.5

7) 良いところ、好きなところ（地域別）

- ・ 地域別にみると、「都心に出やすい」は、中央地域が 78.9%と高くなっている。一方、戸塚地域が 49.8%、安行地域が 51.3%と低くなっている。
- ・ 「買い物など日常生活が便利である」は、中央地域が 84.4%、横曽根地域が 70.1%と高くなっている。一方、新郷地域が 34.9%、神根地域が 37.7%、安行地域が 39.1%と低くなっている。
- ・ 「公共交通機関が充実している」は、南平地域が 39.3%と高くなっている。一方、新郷地域が 17.0%、安行地域が 17.4%、神根地域が 17.9%と低くなっている。
- ・ 「災害が少ない」は、神根地域が 40.4%と高くなっている。一方、中央地域が 7.2%、横曽根地域が 13.3%と低くなっている。
- ・ 「自然環境が豊かである」は安行地域が 37.4%、神根地域が 27.8%と高くなっている。

【良いところ、好きなところ（地域別）】

(%)

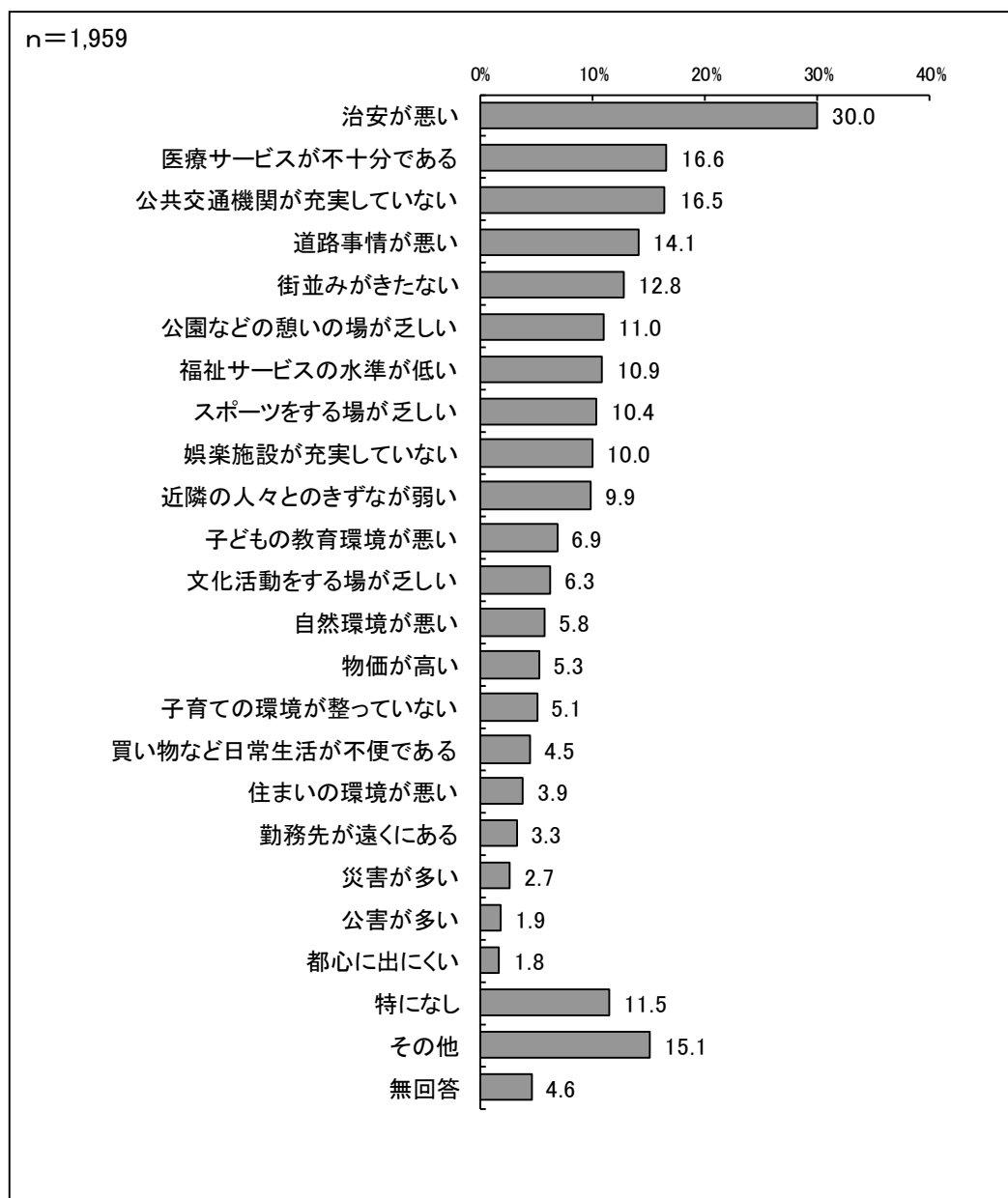
	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
都心に出やすい	63.8	☆ 78.9	△ 72.5	66.2	△ 69.2	▲ 58.5	▲ 54.3	63.2	● 51.3	● 49.8	△ 69.0
買い物など日常生活が便利である	56.6	☆ 84.4	○ 70.1	61.1	55.1	★ 34.9	★ 37.7	57.4	★ 39.1	57.8	● 46.2
公共交通機関が充実している	28.6	26.1	31.3	29.9	○ 39.3	● 17.0	● 17.9	32.6	● 17.4	32.0	30.5
災害が少ない	25.2	★ 7.2	● 13.3	29.1	20.6	△ 31.1	☆ 40.4	△ 33.5	△ 30.4	22.7	26.9
自然環境が豊かである	12.8	▲ 4.4	8.1	▲ 6.8	▲ 5.6	17.0	○ 27.8	▲ 7.0	☆ 37.4	△ 20.9	11.7
勤務先が近くにある	12.7	12.8	10.9	13.2	15.4	11.3	9.3	12.0	△ 20.0	15.1	10.2
公園などの憩いの場が豊富である	12.1	7.2	11.4	15.8	12.6	14.2	10.6	9.5	13.0	△ 19.1	8.6
住まいの環境が良好である	11.6	13.9	12.3	8.1	12.6	9.4	15.2	10.7	13.0	12.4	11.7
道路事情が良い	9.3	▲ 3.9	5.7	6.8	7.5	11.3	△ 15.9	9.9	△ 14.8	12.4	9.1
物価が安い	8.5	△ 13.9	9.0	9.0	8.9	4.7	4.6	7.4	7.8	8.9	7.1
医療サービスが充実している	6.7	5.6	8.1	7.7	6.5	6.6	△ 13.2	5.4	7.0	3.6	5.6
治安が良い	6.2	4.4	5.7	4.3	7.9	7.5	7.9	5.0	7.0	4.9	8.6
子育ての環境が充実している	4.3	6.1	3.3	3.8	5.6	1.9	3.3	4.5	4.3	3.1	6.6
公害が少ない	4.0	0.6	1.9	3.8	3.7	6.6	7.3	5.4	3.5	2.2	6.6
スポーツをする場が豊富である	3.5	2.8	3.3	3.4	7.5	4.7	4.0	2.5	3.5	3.1	1.5
近隣の人々とのきずなが強い	3.0	1.1	4.3	2.6	5.1	3.8	4.6	4.1	0.9	0.4	4.1
福祉サービスの水準が高い	2.0	0.6	2.8	2.6	3.3	3.8	2.0	2.1	0.9	1.3	1.0
文化活動をする場が豊富である	1.6	2.8	3.3	1.3	1.9	0.9	0.7	2.5	0.9	0.0	1.5
子どもの教育環境が充実している	1.5	1.7	0.5	1.3	2.8	1.9	0.7	2.1	1.7	0.4	2.0
街並みが美しい	1.5	0.6	3.3	0.9	2.8	0.9	0.0	0.4	2.6	2.7	1.5
娯楽施設が充実している	1.3	3.3	1.4	0.4	3.3	0.0	3.3	1.2	0.0	0.0	0.0
特になし	1.9	0.6	0.9	2.1	1.4	4.7	2.0	2.1	0.0	2.2	4.1
その他	2.8	3.9	2.8	2.6	0.9	1.9	2.6	2.9	4.3	2.7	3.6
無回答	1.9	2.2	2.8	0.9	1.4	4.7	1.3	2.1	0.9	0.9	1.5

3. 川口市の良くないところ

1) 良くないところ、嫌いなところ

- ・ 良くないところ、嫌いなところとしては、「治安が悪い」が 30.0%と最も高く、次いで、「医療サービスが不十分である」が 16.6%、「公共交通機関が充実していない」が 16.5%となっている。

【良くないところ、嫌いなところ（全体）（3つまで選択）】



2) 良くないところ、嫌いなところ（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「治安が悪い」は、男性 30～39 歳が 45.3%、男性 18～29 歳が 42.3%と高くなっている。
- ・ 「医療サービスが不十分である」は、女性 60～64 歳が 27.6%と高くなっている。
- ・ 「公園などの憩いの場が乏しい」は、男性 60～64 歳が 26.3%と高くなっている。
- ・ 「近隣の人々とのきずなが弱い」は、女性 75 歳以上が 21.8%と高くなっている。

【良くないところ、嫌いなところ（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
治安が悪い	30.0	○ 42.3	☆ 45.3	△ 37.3	△ 35.7	● 15.8	● 18.3	★ 13.9
医療サービスが不十分である	16.6	▲ 7.7	▲ 8.1	15.7	△ 23.3	△ 22.8	15.9	17.8
公共交通機関が充実していない	16.5	▲ 10.6	▲ 10.5	18.7	△ 21.7	△ 24.6	● 6.3	13.9
道路事情が悪い	14.1	15.4	15.1	△ 19.9	△ 19.4	15.8	9.5	16.8
街並みがきたない	12.8	△ 20.2	△ 20.9	9.6	15.5	12.3	10.3	8.9
公園などの憩いの場が乏しい	11.0	6.7	11.6	7.8	10.1	☆ 26.3	9.5	7.9
福祉サービスの水準が低い	10.9	▲ 2.9	▲ 4.7	6.6	△ 16.3	8.8	15.9	15.8
スポーツをする場が乏しい	10.4	△ 19.2	14.0	13.3	10.1	△ 15.8	△ 18.3	13.9
娯楽施設が充実していない	10.0	△ 18.3	14.0	6.0	11.6	12.3	11.1	8.9
近隣の人々とのきずなが弱い	9.9	5.8	7.0	8.4	13.2	12.3	△ 15.1	△ 18.8
子どもの教育環境が整っていない	6.9	7.7	○ 18.6	10.2	6.2	▲ 1.8	▲ 1.6	▲ 1.0
文化活動をする場が乏しい	6.3	2.9	4.7	4.8	7.0	7.0	11.1	5.9
自然環境が悪い	5.8	5.8	7.0	6.6	7.8	3.5	5.6	5.9
物価が高い	5.3	1.0	△ 11.6	4.8	4.7	5.3	5.6	6.9
子育ての環境が整っていない	5.1	3.8	△ 14.0	5.4	6.2	7.0	1.6	2.0
買い物など日常生活が不便である	4.5	2.9	1.2	3.0	3.9	7.0	6.3	5.0
住まいの環境が悪い	3.9	2.9	5.8	2.4	6.2	5.3	3.2	4.0
勤務先が遠くにある	3.3	4.8	5.8	4.8	4.7	0.0	2.4	1.0
災害が多い	2.7	1.9	5.8	3.6	2.3	1.8	1.6	2.0
公害が多い	1.9	1.0	3.5	3.0	4.7	0.0	1.6	4.0
都心に出にくい	1.8	1.0	0.0	1.8	2.3	0.0	0.8	2.0
特になし	11.5	10.6	▲ 5.8	10.2	9.3	▲ 1.8	11.1	△ 19.8
その他	15.1	12.5	15.1	14.5	18.6	19.3	15.9	▲ 8.9
無回答	4.6	2.9	0.0	3.0	3.1	0.0	7.1	5.9

【良くないところ、嫌いなところ（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
治安が悪い	30.0	△ 39.1	34.7	△ 39.7	34.3	● 18.4	★ 13.6	★ 8.2
医療サービスが不十分である	16.6	▲ 6.6	12.2	△ 22.9	19.7	○ 27.6	17.9	20.0
公共交通機関が充実していない	16.5	19.2	△ 23.5	17.3	13.1	11.8	17.9	17.3
道路事情が悪い	14.1	9.3	12.8	10.3	13.6	15.8	13.6	17.3
街並みがきたない	12.8	△ 19.2	16.3	13.1	10.6	10.5	8.0	▲ 6.4
公園などの憩いの場が乏しい	11.0	9.3	12.8	13.6	10.1	14.5	14.2	10.0
福祉サービスの水準が低い	10.9	8.6	▲ 4.6	9.3	12.1	14.5	△ 19.1	14.5
スポーツをする場が乏しい	10.4	8.6	10.2	7.5	9.6	▲ 3.9	6.2	▲ 4.5
娯楽施設が充実していない	10.0	△ 15.2	8.2	7.9	10.1	10.5	5.6	5.5
近隣の人々とのきずなが弱い	9.9	6.6	6.1	8.4	▲ 4.5	9.2	9.9	○ 21.8
子どもの教育環境が整っていない	6.9	2.0	11.7	△ 13.6	7.1	6.6	3.1	▲ 0.9
文化活動をする場が乏しい	6.3	2.0	4.6	5.6	9.1	△ 11.8	9.3	4.5
自然環境が悪い	5.8	7.9	6.1	4.2	7.1	6.6	6.2	0.9
物価が高い	5.3	8.6	5.6	5.6	2.5	1.3	3.7	4.5
子育ての環境が整っていない	5.1	7.9	△ 11.2	7.0	1.0	3.9	▲ 0.0	1.8
買い物など日常生活が不便である	4.5	2.0	2.6	5.1	4.0	1.3	6.8	△ 11.8
住まいの環境が悪い	3.9	7.9	3.1	5.6	2.5	2.6	1.2	4.5
勤務先が遠くにある	3.3	3.3	7.1	3.7	1.5	1.3	1.2	0.0
災害が多い	2.7	0.7	6.1	2.8	3.0	5.3	0.0	0.9
公害が多い	1.9	0.0	2.6	0.0	3.0	0.0	0.6	0.9
都心に出にくい	1.8	0.0	2.0	2.3	1.5	1.3	2.5	6.4
特になし	11.5	9.3	8.7	7.9	12.6	14.5	○ 21.6	16.4
その他	15.1	19.9	17.9	15.9	17.2	14.5	▲ 9.9	▲ 10.0
無回答	4.6	3.3	1.5	3.3	5.1	3.9	4.9	○ 15.5

3) 良くないところ、嫌いなところ（出生別）

- ・ 出生別にみると、「スポーツをする場が乏しい」は、国外が 16.0%と高くなっている。
- ・ 「勤務先が遠くにある」は、国外が 16.0%と高くなっている。

【良くないところ、嫌いなところ（出生別）】

(%)

	全体	川口市内	川口市以外 の埼玉県内	埼玉県外	国外
治安が悪い	30.0	29.4	33.0	30.0	26.0
医療サービスが不十分である	16.6	16.4	18.9	16.8	12.0
公共交通機関が充実していない	16.5	17.7	13.7	16.5	16.0
道路事情が悪い	14.1	12.8	11.9	15.9	● 4.0
街並みがきたない	12.8	11.7	15.0	13.3	8.0
公園などの憩いの場が乏しい	11.0	12.1	11.5	10.7	14.0
福祉サービスの水準が低い	10.9	11.2	10.6	10.9	6.0
スポーツをする場が乏しい	10.4	12.8	11.0	9.0	△ 16.0
娯楽施設が充実していない	10.0	10.3	13.2	8.6	14.0
近隣の人々とのきずなが弱い	9.9	10.3	6.6	10.3	10.0
子どもの教育環境が整っていない	6.9	9.4	7.5	5.8	4.0
文化活動をする場が乏しい	6.3	6.8	6.2	6.2	6.0
自然環境が悪い	5.8	5.8	5.7	6.2	2.0
物価が高い	5.3	3.1	9.3	4.8	△ 14.0
子育ての環境が整っていない	5.1	6.1	7.0	4.3	4.0
買い物など日常生活が不便である	4.5	4.5	4.4	4.6	0.0
住まいの環境が悪い	3.9	3.7	5.3	3.9	6.0
勤務先が遠くにある	3.3	2.4	1.8	3.4	○ 16.0
災害が多い	2.7	1.4	4.8	2.8	6.0
公害が多い	1.9	1.9	2.2	1.6	4.0
都心に出にくい	1.8	1.9	0.9	1.8	4.0
特になし	11.5	12.9	10.6	11.2	10.0
その他	15.1	14.0	15.9	16.0	▲ 8.0
無回答	4.6	3.5	3.5	4.8	4.0

4) 良くないところ、嫌いなところ（勤務地別）

- ・ 勤務地別にみると、「治安が悪い」は、埼玉県内（川口市以外）が 41.1%と高くなっている。
- ・ 「街並みがきたない」は、埼玉県、東京都以外の県が 24.5%と高くなっている。

【良くないところ、嫌いなところ（勤務地別）】

(%)

	全体	川口市内	埼玉県内 (川口市以外)	東京都内	埼玉県、東京都 以外の県
治安が悪い	30.0	30.4	○ 41.1	△ 36.0	△ 37.7
医療サービスが不十分である	16.6	17.9	16.2	15.7	▲ 9.4
公共交通機関が充実していない	16.5	15.7	19.9	18.1	17.0
道路事情が悪い	14.1	15.9	14.5	13.9	13.2
街並みがきたない	12.8	9.9	15.4	17.1	○ 24.5
公園などの憩いの場が乏しい	11.0	14.7	9.5	9.9	13.2
福祉サービスの水準が低い	10.9	10.5	8.3	8.3	▲ 5.7
スポーツをする場が乏しい	10.4	10.1	13.7	10.5	11.3
娯楽施設が充実していない	10.0	9.5	12.0	10.7	△ 17.0
近隣の人々とのきずなが弱い	9.9	9.7	10.0	7.4	9.4
子どもの教育環境が整っていない	6.9	9.1	7.9	8.2	5.7
文化活動をする場が乏しい	6.3	7.8	5.4	7.0	3.8
自然環境が悪い	5.8	6.0	7.9	6.2	▲ 0.0
物価が高い	5.3	4.8	7.1	4.6	7.5
子育ての環境が整っていない	5.1	4.4	5.4	6.6	7.5
買い物など日常生活が不便である	4.5	3.6	5.0	3.2	3.8
住まいの環境が悪い	3.9	3.4	3.7	4.8	5.7
勤務先が遠くにある	3.3	0.4	1.2	8.3	△ 13.2
災害が多い	2.7	3.4	2.1	3.4	1.9
公害が多い	1.9	0.8	1.7	2.0	5.7
都心に出にくい	1.8	1.6	1.2	1.8	0.0
特になし	11.5	10.3	8.3	8.2	7.5
その他	15.1	15.3	13.7	16.1	△ 20.8
無回答	4.6	3.8	3.7	2.6	1.9

5) 良くないところ、嫌いなところ（住居形態別）

- ・ 住居形態別にみると、「治安が悪い」は、社宅・公務員住宅など給与住宅が 53.8%と高くなっている。
- ・ 「近隣の人々とのきずなが弱い」は、UR都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパートが 20.0%と高くなっている。

【良くないところ、嫌いなところ（住居形態別）】

(%)

	全体	持家 (一戸建)	持家（分譲 マンション など集合住 宅）	民間の借家 (賃貸マン ション・ア パート、一 戸建の借家 など)	UR都市機 構（旧公 団）・公 社・市営・ 県営の賃 貸住宅・ア パート	社宅・公務 員住宅など 給与住宅	住み込み、 寮、寄宿舍 など
治安が悪い	30.0	26.0	32.8	△ 36.3	● 16.7	☆ 53.8	▲ 23.1
医療サービスが不十分である	16.6	17.8	20.6	12.2	▲ 6.7	★ 0.0	▲ 7.7
公共交通機関が充実していない	16.5	18.9	11.8	15.9	△ 23.3	★ 0.0	△ 23.1
道路事情が悪い	14.1	15.3	13.0	13.1	13.3	15.4	● 0.0
街並みがきたない	12.8	10.1	13.5	△ 18.5	13.3	▲ 7.7	15.4
公園などの憩いの場が乏しい	11.0	12.7	11.8	7.5	10.0	● 0.0	7.7
福祉サービスの水準が低い	10.9	11.9	11.8	8.2	6.7	● 0.0	7.7
スポーツをする場が乏しい	10.4	11.6	11.0	8.0	13.3	7.7	7.7
娯楽施設が充実していない	10.0	9.7	8.6	11.0	△ 16.7	△ 15.4	△ 15.4
近隣の人々とのきずなが弱い	9.9	8.4	9.6	12.6	○ 20.0	▲ 0.0	7.7
子どもの教育環境が整っていない	6.9	8.3	7.1	4.2	3.3	7.7	7.7
文化活動をする場が乏しい	6.3	7.3	6.9	3.7	6.7	7.7	▲ 0.0
自然環境が悪い	5.8	5.0	7.6	6.1	6.7	▲ 0.0	△ 15.4
物価が高い	5.3	3.8	4.7	8.0	6.7	▲ 0.0	○ 15.4
子育ての環境が整っていない	5.1	5.1	4.2	6.1	▲ 0.0	7.7	7.7
買い物など日常生活が不便である	4.5	5.4	2.2	3.7	△ 10.0	0.0	7.7
住まいの環境が悪い	3.9	3.3	3.2	6.6	0.0	0.0	0.0
勤務先が遠くにある	3.3	2.9	2.5	4.7	6.7	7.7	0.0
災害が多い	2.7	2.8	2.5	2.6	3.3	0.0	7.7
公害が多い	1.9	1.3	2.2	2.6	0.0	0.0	0.0
都心に出にくい	1.8	2.3	0.7	1.6	6.7	0.0	0.0
特になし	11.5	12.2	12.5	9.6	▲ 3.3	7.7	○ 23.1
その他	15.1	14.5	16.7	15.9	▲ 10.0	★ 0.0	△ 23.1
無回答	4.6	4.7	3.4	3.3	△ 10.0	○ 15.4	0.0

6) 良くないところ、嫌いなところ（居住意向別）

- ・ 居住意向別にみると、「治安が悪い」、「街並みがきたない」、「住まいの環境が悪い」と考える人は、住み続けたいとしている人と住み続けたくないとしている人で 10 ポイント以上の差がある。

【良くないところ、嫌いなところ（居住意向別）】

(%)

	全体	住み続けたい	住み続けたくない
治安が悪い	30.0	28.5	☆ 50.5
医療サービスが不十分である	16.6	15.9	△ 22.2
公共交通機関が充実していない	16.5	15.7	△ 23.7
道路事情が悪い	14.1	13.7	△ 20.1
街並みがきたない	12.8	10.8	☆ 30.9
公園などの憩いの場が乏しい	11.0	11.3	12.9
福祉サービスの水準が低い	10.9	10.3	15.5
スポーツをする場が乏しい	10.4	11.3	6.2
娯楽施設が充実していない	10.0	10.5	7.7
近隣の人々とのきずなが弱い	9.9	9.9	9.8
子どもの教育環境が整っていない	6.9	6.8	10.3
文化活動をする場が乏しい	6.3	6.2	7.2
自然環境が悪い	5.8	5.0	△ 12.9
物価が高い	5.3	5.6	2.6
子育ての環境が整っていない	5.1	4.7	△ 10.8
買い物など日常生活が不便である	4.5	4.4	5.7
住まいの環境が悪い	3.9	2.6	○ 14.9
勤務先が遠くにある	3.3	3.3	4.1
災害が多い	2.7	2.7	2.1
公害が多い	1.9	1.8	2.6
都心に出にくい	1.8	1.8	2.1
特になし	11.5	12.9	● 1.0
その他	15.1	14.4	△ 22.7
無回答	4.6	3.3	1.0

7) 良くないところ、嫌いなところ（地域別）

- ・ 地域別にみると、「治安が悪い」は、芝地域が36.0%と高くなっている。
- ・ 「医療サービスが不十分である」は、戸塚地域が23.1%、新郷地域が21.7%と高くなっている。
- ・ 「公共交通機関が充実していない」は、安行地域が33.0%、新郷地域が32.1%と高くなっている。
- ・ 「道路事情が悪い」は、新郷地域が22.6%と高くなっている。
- ・ 「街並みがきたない」は、横曽根地区が21.3%と高くなっている。

【良くないところ、嫌いなところ（地域別）】

(%)

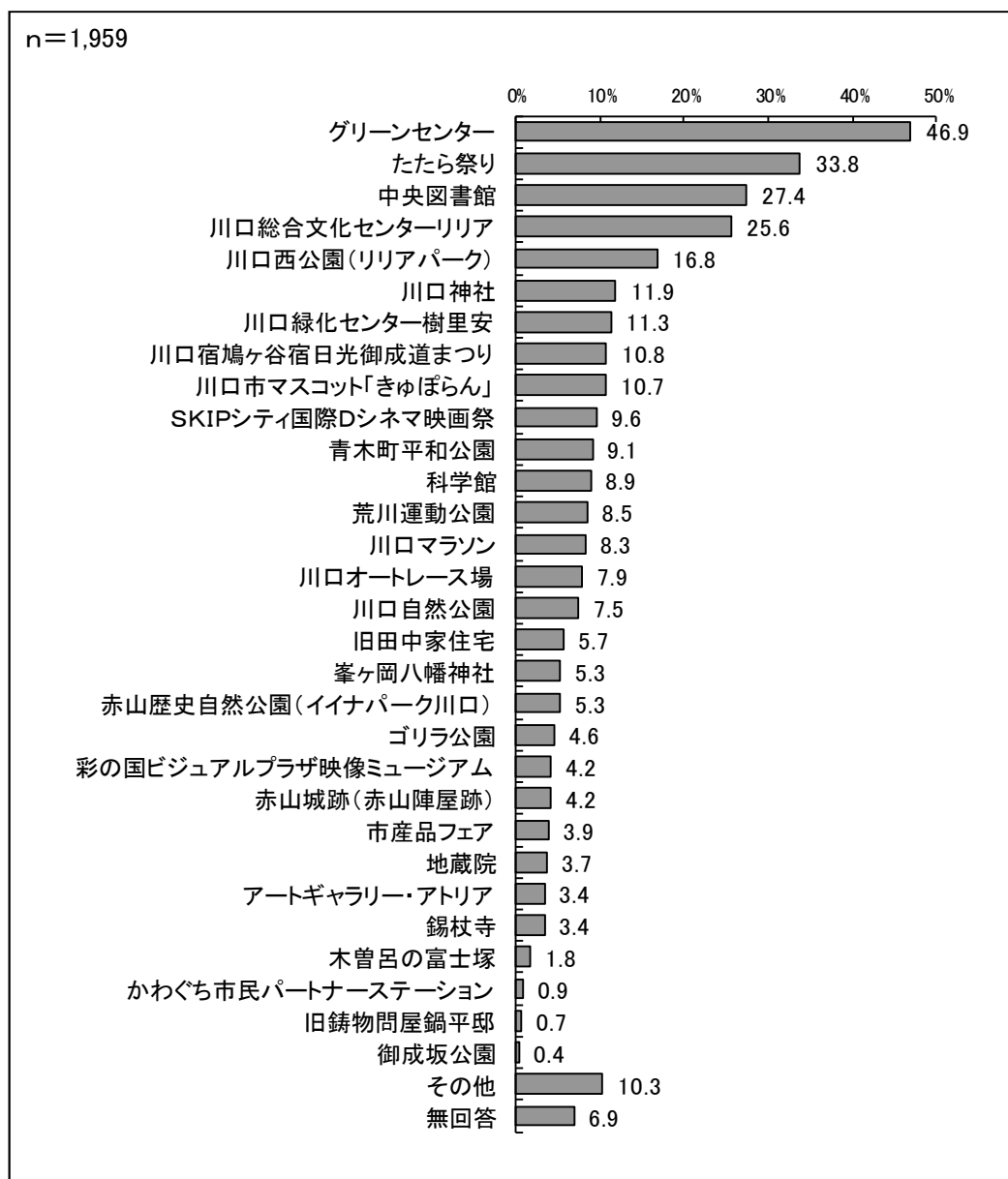
	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
治安が悪い	30.0	30.6	30.3	35.0	25.2	▲ 22.6	29.1	△ 36.0	▲ 20.0	32.4	27.9
医療サービスが不十分である	16.6	15.0	18.0	14.5	14.0	△ 21.7	▲ 9.9	18.6	17.4	△ 23.1	12.7
公共交通機関が充実していない	16.5	19.4	18.5	11.5	15.9	☆ 32.1	19.9	13.2	☆ 33.0	▲ 9.8	12.7
道路事情が悪い	14.1	11.7	13.7	11.1	15.4	△ 22.6	15.2	12.8	14.8	11.6	15.7
街並みがきたない	12.8	16.1	△ 21.3	16.2	13.6	▲ 4.7	9.3	13.6	7.8	▲ 6.7	10.2
公園などの憩いの場が乏しい	11.0	14.4	8.5	6.4	8.4	12.3	△ 19.9	9.5	10.4	▲ 5.3	△ 20.3
福祉サービスの水準が低い	10.9	8.3	9.5	14.5	13.6	8.5	10.6	10.7	6.1	14.2	8.1
スポーツをする場が乏しい	10.4	11.7	8.5	9.4	9.8	8.5	9.3	14.0	10.4	7.1	15.2
娯楽施設が充実していない	10.0	5.6	7.1	9.4	11.7	9.4	9.3	7.4	10.4	△ 15.1	14.2
近隣の人々とのきずなが弱い	9.9	7.2	7.1	12.8	9.8	△ 16.0	9.3	14.0	5.2	12.4	▲ 4.6
子どもの教育環境が整っていない	6.9	6.7	5.7	9.4	8.4	3.8	5.3	8.7	10.4	5.8	5.1
文化活動をする場が乏しい	6.3	5.6	2.4	5.1	7.0	4.7	7.9	9.1	7.0	6.7	7.1
自然環境が悪い	5.8	△ 11.1	5.7	6.0	5.6	4.7	3.3	7.4	1.7	3.1	6.6
物価が高い	5.3	5.0	5.7	6.0	7.0	3.8	7.3	3.7	1.7	4.9	5.1
子育ての環境が整っていない	5.1	7.8	6.2	3.0	4.7	6.6	4.0	7.9	4.3	3.1	5.1
買い物など日常生活が不便である	4.5	0.6	3.3	2.6	4.7	△ 10.4	△ 13.9	2.9	3.5	4.0	4.1
住まいの環境が悪い	3.9	3.9	6.6	4.7	2.3	2.8	3.3	4.1	2.6	4.4	3.0
勤務先が遠くにある	3.3	2.8	2.4	3.8	2.8	1.9	0.7	0.8	5.2	7.6	3.6
災害が多い	2.7	2.2	4.7	3.0	2.3	0.0	0.7	1.2	1.7	3.6	4.6
公害が多い	1.9	1.7	3.3	3.0	1.9	1.9	0.7	0.4	0.9	0.4	3.0
都心に出にくい	1.8	0.6	0.5	0.0	0.5	5.7	3.3	1.2	6.1	2.7	2.5
特になし	11.5	8.9	11.4	13.7	12.6	6.6	13.9	10.7	13.0	10.7	12.2
その他	15.1	18.3	19.9	16.7	17.8	11.3	11.3	12.0	▲ 7.8	15.1	14.2
無回答	4.6	5.6	5.2	3.8	3.7	5.7	6.0	4.5	3.5	3.6	3.6

4. 川口市の好きな場所、もの、行事

1) 好きな場所、もの、行事

- 川口市の好きな場所、もの、行事では、「グリーンセンター」が46.9%と最も高く、次いで、「たたら祭り」が33.8%、「中央図書館」が27.4%、「川口総合文化センターリリア」が25.6%となっている。

【好きな場所、もの、行事（全体）】



2) 好きな場所、もの、行事（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「グリーンセンター」は、女性 75 歳以上が 70.9%、女性 65～74 歳が 59.3%、男性 75 歳以上が 58.4%と高くなっている。
- ・ 「たたら祭り」は、女性 18～29 歳が 43.0%、男性 65～74 歳が 41.3%と高くなっている。
- ・ 「中央図書館」は、女性 40～49 歳が 38.3%と高くなっている。
- ・ 「川口総合文化センターリリア」は、女性 75 歳以上が 62.7%、女性 65～74 歳が 40.7%、男性 75 歳以上が 40.6%と高くなっている。
- ・ 「川口緑化センター樹里安」は、女性 75 歳以上が 35.5%と高くなっている。

【好きな場所、もの、行事（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
グリーンセンター	46.9	★ 31.7	● 36.0	43.4	▲ 41.1	45.6	△ 54.8	○ 58.4
たたら祭り	33.8	33.7	▲ 26.7	38.0	36.4	35.1	△ 41.3	29.7
中央図書館	27.4	24.0	31.4	27.7	22.5	24.6	23.0	▲ 18.8
川口総合文化センターリリア	25.6	● 10.6	★ 9.3	▲ 18.7	▲ 19.4	▲ 19.3	24.6	○ 40.6
川口西公園（リリアパーク）	16.8	▲ 10.6	12.8	12.0	17.1	14.0	18.3	15.8
川口神社	11.9	▲ 4.8	10.5	13.3	14.7	10.5	11.1	6.9
川口緑化センター樹里安	11.3	▲ 4.8	▲ 4.7	8.4	10.1	14.0	13.5	△ 20.8
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	10.8	▲ 3.8	▲ 4.7	7.2	12.4	12.3	13.5	△ 16.8
川口市マスコット「きゅぼらん」	10.7	8.7	△ 18.6	9.6	11.6	▲ 5.3	▲ 2.4	▲ 3.0
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	9.6	6.7	9.3	12.0	13.2	8.8	13.5	△ 16.8
青木町平和公園	9.1	4.8	5.8	9.6	7.0	10.5	△ 16.7	△ 15.8
科学館	8.9	4.8	10.5	△ 16.3	△ 14.0	8.8	7.1	4.0
荒川運動公園	8.5	9.6	8.1	7.8	8.5	8.8	9.5	9.9
川口マラソン	8.3	3.8	3.5	10.8	13.2	12.3	8.7	11.9
川口オートレース場	7.9	3.8	7.0	△ 16.3	△ 13.2	7.0	○ 18.3	9.9
川口自然公園	7.5	4.8	11.6	11.4	7.8	△ 14.0	8.7	5.9
旧田中家住宅	5.7	1.9	3.5	4.8	6.2	1.8	2.4	3.0
峯ヶ岡八幡神社	5.3	3.8	2.3	5.4	7.0	5.3	4.0	7.9
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	5.3	2.9	9.3	4.8	3.9	△ 10.5	7.1	5.0
ゴリラ公園	4.6	5.8	△ 10.5	4.8	7.8	7.0	4.0	5.0
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	4.2	2.9	4.7	7.2	7.0	0.0	1.6	2.0
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	1.9	2.3	2.4	4.7	△ 10.5	4.0	△ 12.9
市産品フェア	3.9	2.9	5.8	3.0	4.7	0.0	5.6	4.0
地蔵院	3.7	1.0	2.3	1.8	7.8	3.5	5.6	6.9
アートギャラリー・アトリア	3.4	1.9	1.2	0.6	5.4	0.0	4.0	2.0
錫杖寺	3.4	1.0	0.0	1.8	3.9	1.8	4.8	5.0
木曽呂の富士塚	1.8	1.9	0.0	3.6	0.8	0.0	3.2	1.0
かわぐち市民パートナーズステーション	0.9	0.0	1.2	0.6	0.8	0.0	1.6	1.0
旧鋳物問屋鍋平邸	0.7	1.9	0.0	0.0	0.8	1.8	0.0	2.0
御成坂公園	0.4	0.0	1.2	0.6	0.0	0.0	0.0	2.0
その他	10.3	10.6	11.6	9.6	14.7	8.8	8.7	▲ 4.0
無回答	6.9	△ 12.5	▲ 1.2	5.4	7.0	7.0	7.9	5.9

【好きな場所、もの、行事（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
グリーンセンター	46.9	★ 24.5	49.5	50.5	▲ 41.4	△ 55.3	○ 59.3	☆ 70.9
たたら祭り	33.8	△ 43.0	38.8	29.4	▲ 26.3	★ 18.4	30.2	37.3
中央図書館	27.4	△ 33.8	29.1	○ 38.3	△ 33.3	23.7	▲ 22.2	● 17.3
川口総合文化センターリリア	25.6	● 12.6	▲ 17.9	23.4	28.8	△ 32.9	☆ 40.7	☆ 62.7
川口西公園（リリアパーク）	16.8	▲ 8.6	17.3	21.0	18.2	15.8	△ 24.7	△ 22.7
川口神社	11.9	7.9	10.7	14.5	11.6	13.2	13.6	△ 21.8
川口緑化センター樹里安	11.3	▲ 1.3	6.6	7.9	9.1	13.2	△ 21.0	☆ 35.5
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	10.8	7.3	11.2	10.3	7.6	13.2	14.8	○ 21.8
川口市マスコット「きゅぼらん」	10.7	10.6	11.2	△ 17.8	10.6	13.2	▲ 3.7	15.5
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	9.6	7.3	5.6	9.3	7.1	7.9	7.4	14.5
青木町平和公園	9.1	4.6	6.6	9.3	8.1	10.5	11.1	11.8
科学館	8.9	5.3	9.7	△ 17.8	8.1	3.9	▲ 2.5	▲ 3.6
荒川運動公園	8.5	5.3	8.2	8.4	9.1	5.3	8.6	10.9
川口マラソン	8.3	4.0	▲ 3.1	4.7	8.6	6.6	8.6	△ 18.2
川口オートレース場	7.9	7.3	5.1	7.0	4.5	3.9	▲ 1.9	6.4
川口自然公園	7.5	2.6	4.6	4.7	8.1	10.5	8.0	8.2
旧田中家住宅	5.7	1.3	2.6	8.4	6.6	10.5	△ 13.6	△ 11.8
峯ヶ岡八幡神社	5.3	2.0	5.1	5.1	5.6	1.3	7.4	△ 10.9
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	5.3	4.0	8.2	3.3	2.0	1.3	5.6	9.1
ゴリラ公園	4.6	7.9	4.1	2.8	2.5	2.6	4.3	2.7
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	4.2	2.0	4.1	7.5	5.6	2.6	1.9	5.5
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	1.3	2.6	1.9	1.5	3.9	8.0	9.1
市産品フェア	3.9	0.7	4.6	2.8	3.5	2.6	6.2	8.2
地藏院	3.7	1.3	2.6	2.3	1.5	5.3	4.9	△ 10.0
アートギャラリー・アトリア	3.4	0.7	1.0	△ 8.9	5.6	5.3	2.5	4.5
錫杖寺	3.4	0.7	2.0	2.8	3.0	5.3	4.9	△ 10.0
木曽呂の富士塚	1.8	0.0	0.5	1.9	2.5	0.0	3.1	2.7
かわぐち市民パートナーズステーション	0.9	0.7	0.5	0.9	0.0	1.3	1.9	1.8
旧鋳物問屋鍋平邸	0.7	0.7	1.0	0.0	0.0	1.3	1.9	0.0
御成坂公園	0.4	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7
その他	10.3	15.2	12.8	11.2	14.1	9.2	▲ 3.7	7.3
無回答	6.9	△ 12.6	7.7	5.1	4.0	6.6	4.3	5.5

3) 好きな場所、もの、行事（勤務地別）

- ・ 勤務地別にみると、「中央図書館」は、埼玉県、東京都以外の県が 37.7%と高くなっている。
- ・ 「川口市マスコット「きゅぼらん」」は、埼玉県、東京都以外の県が 22.6%と高くなっている。

【好きな場所、もの、行事（勤務地別）】

(%)

	全体	川口市内	埼玉県内 (川口市以外)	東京都内	埼玉県、東京都 以外の県
グリーンセンター	46.9	46.9	49.8	● 36.4	▲ 37.7
たたら祭り	33.8	35.6	37.3	31.2	37.7
中央図書館	27.4	26.0	▲ 22.0	△ 35.2	○ 37.7
川口総合文化センターリリア	25.6	23.7	▲ 20.3	20.7	▲ 17.0
川口西公園（リリアパーク）	16.8	13.7	▲ 9.5	17.1	17.0
川口神社	11.9	9.5	10.8	12.7	15.1
川口緑化センター樹里安	11.3	11.1	12.9	▲ 5.4	9.4
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	10.8	13.1	6.2	8.9	11.3
川口市マスコット「きゅぼらん」	10.7	11.1	7.9	11.9	○ 22.6
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	9.6	7.8	10.4	10.7	5.7
青木町平和公園	9.1	8.9	9.1	8.5	▲ 1.9
科学館	8.9	9.9	9.1	10.3	13.2
荒川運動公園	8.5	8.0	6.2	10.1	3.8
川口マラソン	8.3	8.0	7.9	5.8	9.4
川口オートレース場	7.9	8.9	9.1	7.6	5.7
川口自然公園	7.5	8.0	12.0	5.6	▲ 0.0
旧田中家住宅	5.7	6.6	3.7	5.4	5.7
峯ヶ岡八幡神社	5.3	6.6	5.0	4.0	3.8
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	5.3	5.6	4.6	3.8	3.8
ゴリラ公園	4.6	3.6	7.1	6.4	5.7
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	4.2	5.0	3.3	5.2	1.9
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	3.4	3.7	3.2	3.8
市産品フェア	3.9	4.2	2.9	2.6	1.9
地藏院	3.7	4.0	2.9	2.8	1.9
アートギャラリー・アトリア	3.4	5.0	2.9	2.2	0.0
錫杖寺	3.4	2.6	2.9	3.0	0.0
木曾呂の富士塚	1.8	2.0	4.6	1.0	0.0
かわぐち市民パートナーズステーション	0.9	0.4	0.4	0.8	1.9
旧鋳物問屋鍋平邸	0.7	0.0	0.0	1.0	3.8
御成坂公園	0.4	0.6	0.0	0.4	0.0
その他	10.3	10.7	8.3	13.9	15.1
無回答	6.9	5.4	7.1	6.6	7.5

4) 好きな場所、もの、行事（居住意向別）

- ・ 居住意向別にみると、住み続けたくないとしている人では「グリーンセンター」と「中央図書館」がともに 29.4%と最も高くなっている。

【好きな場所、もの、行事（居住意向別）】

(%)

	全体	住み続けたい	住み続けたくない
グリーンセンター	46.9	49.5	★ 29.4
たたら祭り	33.8	35.7	● 19.6
中央図書館	27.4	27.6	29.4
川口総合文化センターリリア	25.6	26.3	▲ 20.1
川口西公園（リリアパーク）	16.8	17.3	12.9
川口神社	11.9	12.4	8.8
川口緑化センター樹里安	11.3	12.1	▲ 5.7
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	10.8	10.8	9.3
川口市マスコット「きゅぽらん」	10.7	11.1	6.7
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	9.6	10.1	5.7
青木町平和公園	9.1	9.7	4.6
科学館	8.9	8.8	9.8
荒川運動公園	8.5	8.5	8.8
川口マラソン	8.3	8.2	6.7
川口オートレース場	7.9	8.5	4.1
川口自然公園	7.5	8.0	4.1
旧田中家住宅	5.7	5.8	5.2
峯ヶ岡八幡神社	5.3	5.3	5.2
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	5.3	5.6	4.6
ゴリラ公園	4.6	5.0	3.1
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	4.2	4.4	3.1
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	4.5	2.1
市産品フェア	3.9	4.2	1.5
地蔵院	3.7	3.9	3.6
アートギャラリー・アトリア	3.4	3.3	3.6
錫杖寺	3.4	3.3	4.6
木曾呂の富士塚	1.8	1.9	1.0
かわぐち市民パートナーステーション	0.9	1.0	0.5
旧鋳物問屋鍋平邸	0.7	0.7	1.0
御成坂公園	0.4	0.4	0.5
その他	10.3	9.8	14.4
無回答	6.9	5.1	11.9

5) 好きな場所、もの、行事（地域別）

- ・ 地域別にみると、「グリーンセンター」は、神根地域が72.8%と高くなっている。
- ・ 「たたら祭り」は、新郷地域が45.3%、鳩ヶ谷地域が45.2%と高くなっている。
- ・ 「中央図書館」は、中央地域が53.9%、横曽根地域が42.7%、南平地域が37.9%と高くなっている。
- ・ 「川口総合文化センターリリア」は、横曽根地域が42.7%と高くなっている。
- ・ 「川口西公園（リリアパーク）」は、横曽根地域が52.1%、中央地域が42.8%と高くなっている。
- ・ 「川口神社」は、中央地域が33.9%と高くなっている。
- ・ 「川口緑化センター樹里安」は、安行地域が32.2%、新郷地域が22.6%と高くなっている。
- ・ 「川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり」は、鳩ヶ谷地域が22.8%と高くなっている。

【好きな場所、もの、行事（地域別）】

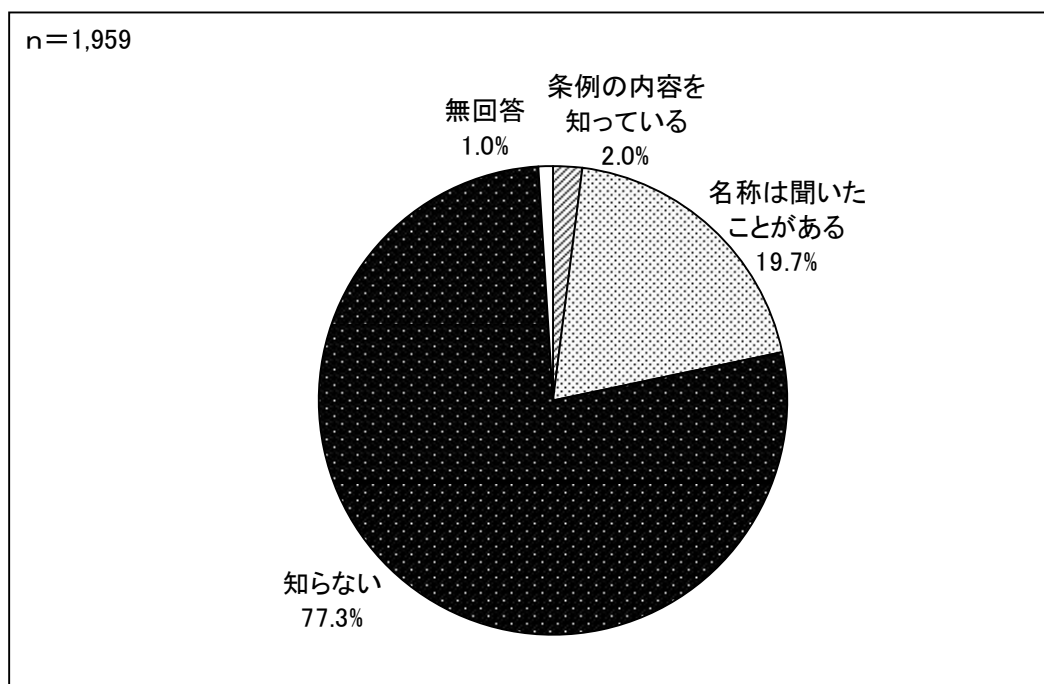
	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
グリーンセンター	46.9	● 35.6	● 36.0	51.3	▲ 41.6	△ 53.8	☆ 72.8	45.9	47.0	44.9	△ 55.3
たたら祭り	33.8	▲ 26.7	30.3	△ 43.2	36.4	○ 45.3	31.8	30.2	▲ 27.0	▲ 24.4	○ 45.2
中央図書館	27.4	☆ 53.9	☆ 42.7	31.6	○ 37.9	● 17.0	● 17.2	▲ 20.7	★ 7.0	● 12.9	▲ 21.3
川口総合文化センターリリア	25.6	30.6	☆ 42.7	28.6	27.1	27.4	22.5	24.8	▲ 18.3	● 14.2	20.8
川口西公園（リリアパーク）	16.8	☆ 42.8	☆ 52.1	18.8	15.0	● 4.7	● 2.6	▲ 9.5	★ 1.7	★ 1.3	▲ 11.2
川口神社	11.9	☆ 33.9	△ 20.4	15.4	14.5	▲ 2.8	9.9	7.0	▲ 3.5	● 1.3	▲ 6.1
川口緑化センター樹里安	11.3	6.7	7.1	7.7	6.5	○ 22.6	15.9	7.4	☆ 32.2	13.3	12.2
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	10.8	8.9	8.5	9.8	9.8	△ 17.0	8.6	7.4	13.0	7.6	○ 22.8
川口市マスコット「きゅぼらん」	10.7	10.0	10.4	8.5	12.1	10.4	11.3	12.4	8.7	11.1	11.2
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	9.6	10.6	10.0	△ 16.7	5.1	8.5	11.3	10.7	9.6	8.0	7.6
青木町平和公園	9.1	4.4	11.4	☆ 29.9	5.1	▲ 3.8	4.6	8.7	▲ 2.6	▲ 4.0	7.1
科学館	8.9	7.2	10.0	9.4	6.5	11.3	6.6	7.4	11.3	8.4	△ 14.2
荒川運動公園	8.5	○ 18.9	○ 21.8	9.4	7.5	▲ 2.8	▲ 3.3	7.4	▲ 1.7	▲ 2.7	▲ 2.5
川口マラソン	8.3	▲ 2.8	9.5	△ 14.5	4.2	4.7	△ 15.9	8.7	6.1	7.6	6.6
川口オートレース場	7.9	3.9	8.5	9.0	9.3	5.7	10.6	7.0	9.6	5.3	10.2
川口自然公園	7.5	▲ 1.1	6.2	6.0	▲ 2.3	3.8	○ 21.2	8.3	▲ 0.9	△ 16.4	7.1
旧田中家住宅	5.7	7.2	5.7	5.1	8.9	3.8	3.3	7.4	4.3	2.7	7.6
峯ヶ岡八幡神社	5.3	1.7	1.4	3.0	2.8	☆ 31.1	3.3	3.3	△ 14.8	4.0	4.6
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	5.3	1.1	1.9	5.6	3.7	9.4	9.3	5.0	○ 15.7	4.0	5.6
ゴリラ公園	4.6	0.6	1.4	5.6	0.9	1.9	4.0	☆ 20.7	4.3	2.2	1.0
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	4.2	5.0	5.7	6.8	2.3	3.8	3.3	4.1	6.1	3.6	3.0
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	0.6	0.9	3.4	1.4	7.5	△ 10.6	2.5	△ 10.4	5.8	5.6
市産品フェア	3.9	1.7	4.7	6.4	5.1	6.6	2.6	2.5	3.5	1.3	6.1
地藏院	3.7	1.1	1.4	3.8	1.9	4.7	6.0	1.2	4.3	2.7	△ 12.2
アートギャラリー・アトリア	3.4	5.0	5.2	3.4	4.2	5.7	2.6	2.5	1.7	2.2	2.0
錫杖寺	3.4	△ 11.7	3.3	4.7	3.7	1.9	2.6	2.1	0.9	0.9	1.5
木曽呂の富士塚	1.8	0.0	0.5	1.7	0.0	0.0	○ 11.9	1.7	1.7	2.7	0.0
かわぐち市民パートナーズステーション	0.9	2.8	0.9	0.9	0.9	0.0	0.7	1.7	0.0	0.0	0.5
旧鋳物問屋鍋平邸	0.7	0.0	1.9	0.9	1.4	0.9	0.7	0.8	0.0	0.0	0.5
御成坂公園	0.4	0.0	0.5	1.3	0.0	0.9	0.0	0.4	0.0	0.0	0.5
その他	10.3	8.3	11.8	7.7	10.7	11.3	9.3	9.1	▲ 5.2	13.3	13.2
無回答	6.9	5.0	7.1	3.8	10.3	6.6	3.3	6.6	6.1	10.7	5.6

5. 川口市自治基本条例の周知状況

1) 川口市自治基本条例の周知状況

- 平成 21 年 4 月 1 日に施行された「川口市自治基本条例」について、「条例の内容を知っている」(2.0%)と「名称は聞いたことがある」(19.7%)を合わせた周知度は21.7%となっている。

【川口市自治基本条例の周知状況（全体）】



【周知状況の推移】

年度	(人)		(%)		
	合計	条例の内容を知っている	名称は聞いたことがある	知らない	無回答
平成 21 年度	1,607	2.5	21.0	70.1	6.5
平成 22 年度	1,900	2.7	20.2	76.2	0.9
平成 23 年度	1,662	2.3	20.5	76.0	1.2
平成 24 年度	1,610	2.7	18.2	75.4	3.7
平成 25 年度	1,558	2.3	18.3	76.1	3.3
平成 26 年度	1,513	2.5	17.6	78.0	1.9
平成 27 年度	1,621	1.8	21.1	75.6	1.5
平成 28 年度	1,785	1.7	19.2	78.2	0.9
平成 29 年度	1,822	1.8	19.5	77.7	1.0
平成 30 年度	1,719	2.1	19.7	77.5	0.8
令和元年度	1,642	1.9	21.1	75.9	1.2
令和 2 年度	1,959	2.0	19.7	77.3	1.0

2) 川口市自治基本条例の周知状況（性別、性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「名称は聞いたことがある」は、女性 75 歳以上が 36.4%と高くなっている。
- ・ 「知らない」は、女性 18～29 歳が 89.4%と高くなっている。

【川口市自治基本条例の周知状況（性別、性・年齢別）】

(人)		(%)				
		合計	条例の内容を知っている	名称は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		1,959	2.0	19.7	77.3	1.0
男性		771	3.0	20.5	75.5	1.0
女性		1,109	1.4	18.5	79.4	0.8
男性	18～29歳	104	0.0	17.3	81.7	1.0
	30～39歳	86	3.5	▲ 14.0	△ 82.6	0.0
	40～49歳	166	1.8	16.9	80.1	1.2
	50～59歳	129	2.3	20.9	76.0	0.8
	60～64歳	57	3.5	△ 26.3	▲ 70.2	0.0
	65～74歳	126	4.8	23.8	▲ 70.6	0.8
	75歳以上	101	5.9	△ 27.7	● 63.4	3.0
女性	18～29歳	151	0.7	● 8.6	○ 89.4	1.3
	30～39歳	196	1.0	▲ 11.7	△ 87.2	0.0
	40～49歳	214	0.9	19.2	79.9	0.0
	50～59歳	198	1.5	18.7	79.3	0.5
	60～64歳	76	2.6	▲ 14.5	△ 82.9	0.0
	65～74歳	162	1.2	24.7	73.5	0.6
	75歳以上	110	2.7	☆ 36.4	★ 57.3	3.6

6. 川口市の状況や取り組みについての実感

1) 状況や取り組みについての実感

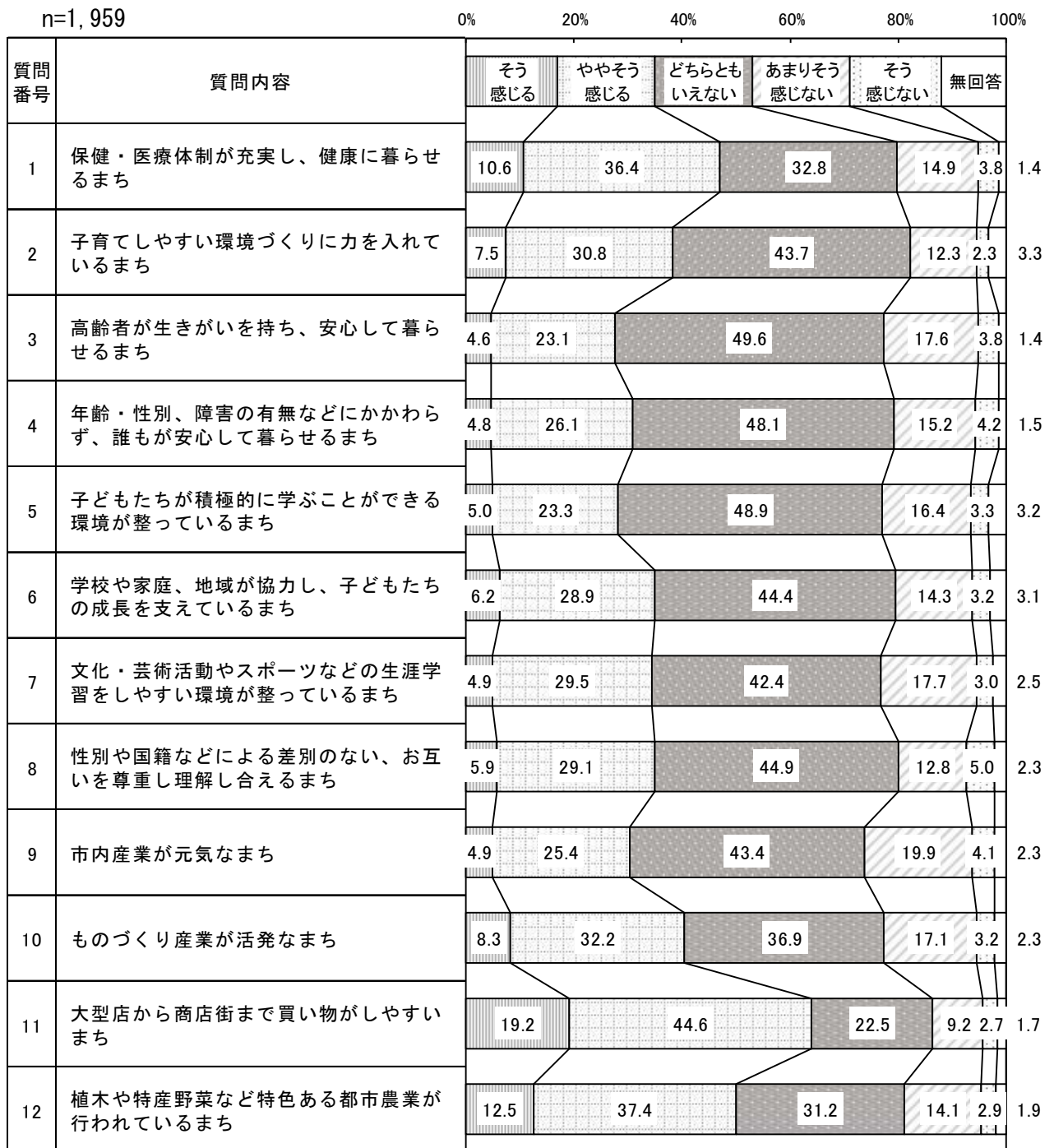
- 川口市におけるまちづくりの基本的な方向性を示す23の状況や取り組みについて、それぞれ5段階で評価をもらった。
- 「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた回答の順位は以下のとおりであり、「いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち」が最も高くなっている。

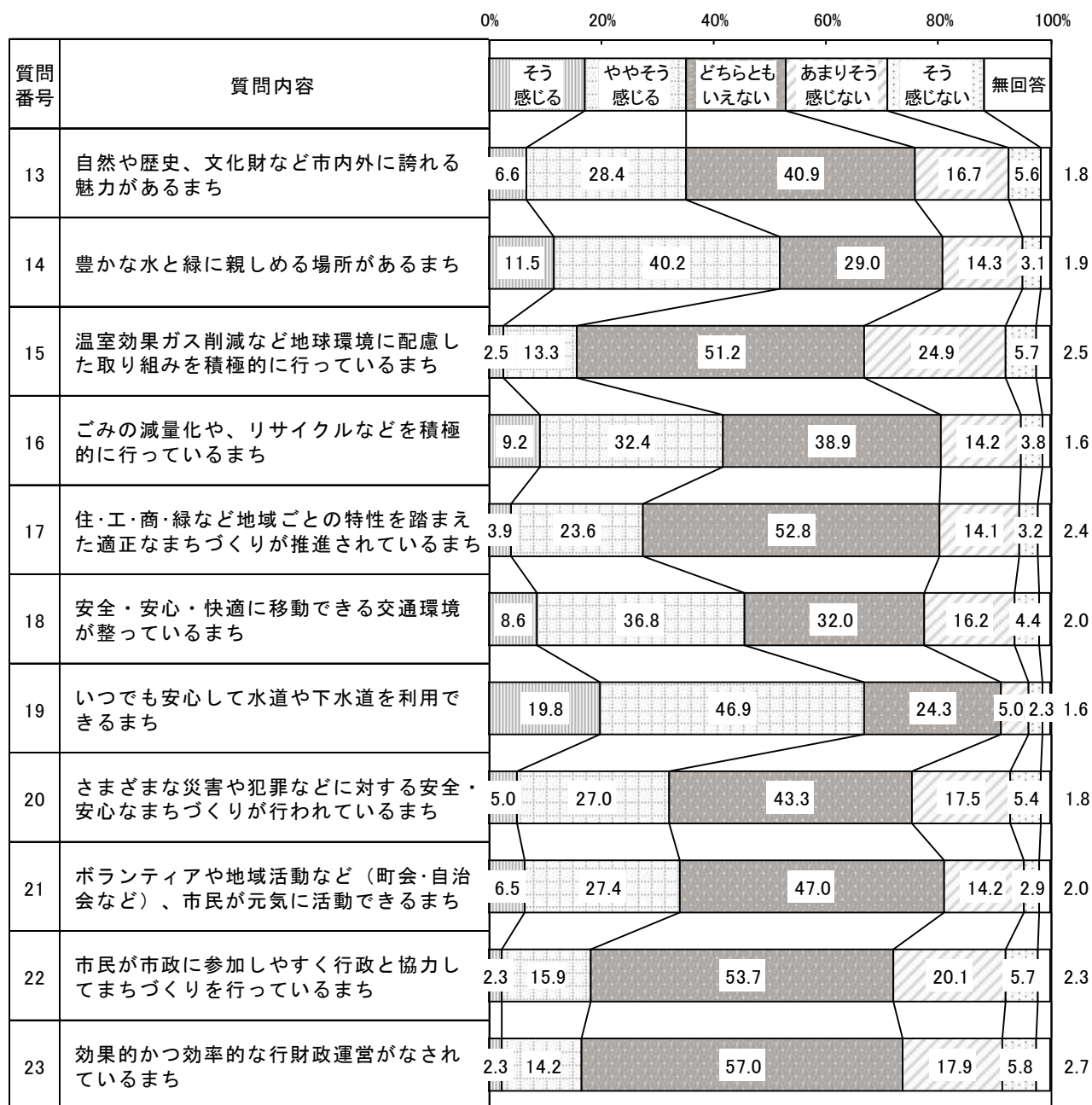
「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた回答	%
いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	66.7
大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	63.9
豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	51.7
植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	49.9
保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	47.1
安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	45.4
ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	41.6
ものづくり産業が活発なまち	40.5
子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	38.3
学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	35.1
性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	35.0
自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	35.0
文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	34.4
ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	33.9
さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	32.0
年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	31.0
市内産業が元気なまち	30.3
子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	28.2
高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	27.7
住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	27.5
市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	18.2
効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	16.5
温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	15.8

- ・ 一方、「あまりそう感じない」と「そう感じない」を合わせた回答の順位は以下のとおりであり、「温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち」が最も高くなっている。

「あまりそう感じない」と「そう感じない」を合わせた回答	%
温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	30.6
市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	25.7
市内産業が元気なまち	24.0
効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	23.7
さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	22.9
自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	22.3
高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	21.3
文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	20.7
安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	20.6
ものづくり産業が活発なまち	20.3
子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	19.7
年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	19.4
保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	18.7
ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	18.0
性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	17.8
学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	17.5
豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	17.4
住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	17.3
ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	17.1
植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	17.0
子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	14.7
大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	11.9
いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	7.3

【状況や取り組みについての実感】





2) 状況や取り組みについての実感（性・年齢別）

- 性・年齢別にみると、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた回答が 40% 以上である項目の数は、女性 18～29 歳が 14 項目と最も多くなっている。

「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた回答が 40%以上の項目数			
男性 18～29 歳	6	女性 18～29 歳	14
男性 30～39 歳	4	女性 30～39 歳	9
男性 40～49 歳	8	女性 40～49 歳	7
男性 50～59 歳	5	女性 50～59 歳	7
男性 60～64 歳	9	女性 60～64 歳	6
男性 65～74 歳	7	女性 65～74 歳	11
男性 75 歳以上	9	女性 75 歳以上	12

- 「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」では、女性 18～29 歳(55.0%)、女性 75 歳以上 (53.6%)、男性 18～29 歳 (52.9%) が高くなっている。
- 「子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち」では、女性 30～39 歳(48.5%) が高くなっている。
- 「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち」では、女性 18～29 歳(39.7%) が高くなっている。
- 「年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち」では、女性 75 歳以上 (42.7%)、女性 18～29 歳 (41.7%) が高くなっている。
- 「子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち」では、女性 18～29 歳 (43.7%) が高くなっている。
- 「学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち」では、女性 18～29 歳 (47.0%) が高くなっている。
- 「文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち」では、女性 18～29 歳 (44.4%) が高くなっている。
- 「性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち」では、女性 18～29 歳 (49.7%)、男性 60～64 歳 (47.4%) が高くなっている。
- 「市内産業が元気なまち」では、女性 40～49 歳(37.9%)、女性 30～39 歳(36.7%) が高くなっている。
- 「ものづくり産業が活発なまち」では、女性 40～49 歳 (50.0%)、女性 50～59 歳 (46.5%)、女性 18～29 歳 (46.4%) が高くなっている。
- 「大型店から商店街まで買い物しやすいまち」では、女性 30～39 歳 (76.0%)、男性 30～39 歳 (75.6%) が高くなっている。
- 「植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち」では、女性 65～74 歳 (56.8%)、女性 50～59 歳 (56.1%)、女性 40～49 歳 (55.6%) が高くなっている。

- 「自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち」では、女性 65～74 歳（43.8%）、女性 75 歳以上（43.6%）が高くなっている。
- 「豊かな水と緑に親しめる場所があるまち」では、女性 75 歳以上（64.5%）が高くなっている。
- 「温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち」では、女性 75 歳以上（28.2%）、女性 65～74 歳（26.5%）が高くなっている。
- 「ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち」では、女性 75 歳以上（63.6%）、女性 65～74 歳（63.0%）、男性 75 歳以上（60.4%）、男性 65～74 歳（53.2%）が高くなっている。
- 「住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち」では、女性 75 歳以上（45.5%）が高くなっている。
- 「安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち」では、女性 18～29 歳（57.0%）が高くなっている。
- 「いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち」では、女性 65～74 歳（75.9%）、女性 75 歳以上（75.5%）、男性 65～74 歳（75.4%）、女性 18～29 歳（72.2%）が高くなっている。
- 「さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち」では、女性 75 歳以上（53.6%）、男性 75 歳以上（43.6%）、男性 60～64 歳（42.1%）が高くなっている。
- 「ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち」では、女性 75 歳以上（47.3%）が高くなっている。
- 「市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち」では、女性 75 歳以上（29.1%）が高くなっている。
- 「効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち」では、女性 75 歳以上（31.8%）が高くなっている。

【そう感じる・ややそう感じると回答した割合（男性・年齢別）】

(%)

質問 番号	質問内容	全体	男性						
			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	47.1	△ 52.9	47.7	51.2	▲ 41.9	43.9	46.0	51.5
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	38.3	▲ 31.7	39.5	△ 44.6	34.1	33.3	▲ 29.4	● 26.7
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	27.7	26.0	● 17.4	25.3	26.4	26.3	28.6	32.7
4	年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	31.0	32.7	● 20.9	29.5	26.4	29.8	32.5	31.7
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	28.2	△ 36.5	23.3	25.3	▲ 22.5	▲ 21.1	24.6	24.8
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	35.1	▲ 29.8	▲ 29.1	38.6	▲ 28.7	▲ 26.3	30.2	▲ 29.7
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	34.4	35.6	▲ 29.1	32.5	▲ 27.9	31.6	29.4	31.7
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	35.0	38.5	▲ 29.1	35.5	34.1	○ 47.4	31.0	▲ 25.7
9	市内産業が元気なまち	30.3	30.8	26.7	28.9	30.2	▲ 21.1	27.8	▲ 23.8
10	ものづくり産業が活発なまち	40.5	43.3	▲ 34.9	40.4	▲ 33.3	● 29.8	▲ 34.1	35.6
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	63.9	△ 71.2	○ 75.6	65.1	62.0	● 49.1	▲ 55.6	★ 48.5
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	49.9	★ 34.6	● 38.4	50.0	51.9	47.4	53.2	52.5
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	35.0	31.7	▲ 27.9	34.9	▲ 29.5	35.1	▲ 26.2	38.6
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	51.7	51.0	47.7	51.8	53.5	47.4	52.4	48.5
15	温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	15.8	12.5	▲ 8.1	10.8	▲ 8.5	19.3	18.3	15.8
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	41.6	▲ 34.6	★ 25.6	39.2	▲ 31.8	△ 47.4	○ 53.2	☆ 60.4
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	27.5	26.9	▲ 19.8	25.3	25.6	22.8	28.6	28.7
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	45.4	△ 51.0	▲ 38.4	43.4	● 34.9	40.4	△ 51.6	40.6
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	66.7	62.5	▲ 58.1	62.0	▲ 58.9	68.4	△ 75.4	71.3
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	32.0	▲ 23.1	● 20.9	▲ 22.3	27.1	○ 42.1	34.1	○ 43.6
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	33.9	● 22.1	★ 17.4	31.9	▲ 27.9	29.8	37.3	△ 41.6
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	18.2	13.5	14.0	14.5	16.3	17.5	17.5	△ 23.8
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	16.5	▲ 9.6	12.8	13.3	▲ 10.9	15.8	16.7	△ 21.8

【そう感じる・ややそう感じると回答した割合（女性・年齢別）】

(%)

質問 番号	質問内容	全体	女性						
			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	47.1	△ 55.0	48.5	46.3	42.9	● 35.5	42.6	△ 53.6
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	38.3	△ 44.4	○ 48.5	39.3	36.9	34.2	△ 44.4	▲ 32.7
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	27.7	○ 39.7	27.6	24.8	24.2	27.6	26.5	30.9
4	年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	31.0	○ 41.7	33.2	29.4	▲ 23.7	27.6	33.3	○ 42.7
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	28.2	☆ 43.7	29.6	27.1	26.8	● 17.1	29.0	32.7
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	35.1	○ 47.0	33.2	39.3	33.3	▲ 28.9	△ 40.7	38.2
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	34.4	△ 44.4	33.2	39.3	35.9	● 23.7	38.3	34.5
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	35.0	○ 49.7	△ 40.3	32.2	33.8	★ 19.7	34.6	38.2
9	市内産業が元気なまち	30.3	32.5	△ 36.7	△ 37.9	32.3	● 15.8	29.0	28.2
10	ものづくり産業が活発なまち	40.5	△ 46.4	44.4	△ 50.0	△ 46.5	● 30.3	37.7	38.2
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	63.9	△ 72.8	○ 76.0	67.8	64.1	△ 69.7	60.5	★ 44.5
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	49.9	▲ 41.7	46.9	△ 55.6	△ 56.1	52.6	△ 56.8	53.6
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	35.0	33.1	38.8	38.3	33.3	▲ 26.3	△ 43.8	△ 43.6
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	51.7	51.0	52.0	53.7	50.5	47.4	52.5	○ 64.5
15	温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	15.8	17.2	11.2	13.6	14.1	△ 21.1	○ 26.5	○ 28.2
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	41.6	▲ 36.4	● 27.6	▲ 33.6	39.4	40.8	☆ 63.0	☆ 63.6
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	27.5	27.2	24.0	28.0	29.3	▲ 19.7	30.2	☆ 45.5
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	45.4	○ 57.0	45.4	46.7	45.5	46.1	42.6	△ 50.9
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	66.7	△ 72.2	▲ 59.2	67.3	67.7	64.5	△ 75.9	△ 75.5
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	32.0	35.8	▲ 25.5	29.0	29.3	32.9	△ 40.1	☆ 53.6
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	33.9	△ 41.1	31.6	37.4	35.9	28.9	38.9	○ 47.3
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	18.2	△ 26.5	16.8	16.8	13.6	14.5	△ 23.5	○ 29.1
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	16.5	21.2	16.3	16.4	16.2	▲ 6.6	18.5	☆ 31.8

3) 状況や取り組みについての実感（地域別）

- ・ 地域別にみると、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた回答が 40%以上である項目の数は、青木地域が 12 項目と多くなっている。

「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた回答が 40%以上の項目数			
中央地域	8	神根地域	7
横曽根地域	9	芝地域	6
青木地域	12	安行地域	10
南平地域	10	戸塚地域	7
新郷地域	7	鳩ヶ谷地域	8

- ・ 「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」では、南平地域（53.7%）、横曽根地域（52.6%）が高くなっている。
- ・ 「子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち」では、横曽根地域（43.6%）が高くなっている。
- ・ 「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち」では、安行地域（34.8%）、神根地域（34.4%）が高くなっている。
- ・ 「年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち」では、安行地域（39.1%）が高くなっている。
- ・ 「子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち」では、安行地域（37.4%）、中央地域（35.6%）が高くなっている。
- ・ 「学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち」では、安行地域（41.7%）、青木地域（40.6%）が高くなっている。
- ・ 「文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち」では、青木地域（40.2%）が高くなっている。
- ・ 「性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち」では、安行地域（43.5%）、横曽根地域（40.8%）が高くなっている。
- ・ 「市内産業が元気なまち」では、中央地域（35.6%）が高くなっている。
- ・ 「ものづくり産業が活発なまち」では、南平地域（45.8%）が高くなっている。
- ・ 「大型店から商店街まで買い物がしやすいまち」では、中央地域（81.1%）が高くなっている。
- ・ 「植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち」では、安行地域（68.7%）、戸塚地域（60.9%）が高くなっている。
- ・ 「自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち」では、安行地域（47.0%）が高くなっている。
- ・ 「豊かな水と緑に親しめる場所があるまち」では、安行地域（69.6%）が高くなっている。
- ・ 「温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち」では、横曽根地域（21.3%）が高くなっている。

- 「ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち」では、新郷地域（55.7%）が高くなっている。
- 「住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち」では、南平地域（33.6%）、鳩ヶ谷地域（33.5%）が高くなっている。
- 「安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち」では、青木地域（52.1%）が高くなっている。
- 「いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち」では、南平地域（75.2%）、青木地域（73.1%）、横曽根地域（72.5%）が高くなっている。
- 「さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち」では、南平地域（38.3%）が高くなっている。
- 「ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち」では、南平地域（43.0%）、青木地域（40.6%）が高くなっている。
- 「市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち」では、南平地域（25.7%）、青木地域（23.5%）が高くなっている。
- 「効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち」では、南平地域（23.4%）が高くなっている。

【そう感じる・ややそう感じると回答した割合（地域別）】

(%)

質問 番号	質問内容	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	47.1	45.6	△ 52.6	47.9	△ 53.7	45.3	51.0	42.6	44.3	45.8	44.7
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	38.3	40.6	△ 43.6	40.2	41.6	▲ 32.1	33.8	▲ 32.6	39.1	40.4	37.6
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	27.7	22.8	30.8	32.5	30.4	23.6	△ 34.4	24.8	△ 34.8	22.7	▲ 20.8
4	年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	31.0	27.8	33.6	35.0	36.0	26.4	35.8	28.5	△ 39.1	▲ 23.1	28.4
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	28.2	△ 35.6	30.3	29.9	30.4	▲ 20.8	27.2	▲ 21.9	△ 37.4	28.9	▲ 22.3
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	35.1	36.7	32.2	△ 40.6	35.5	▲ 28.3	36.4	30.6	△ 41.7	36.9	33.0
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	34.4	33.3	38.4	△ 40.2	31.8	▲ 29.2	35.8	32.2	35.7	32.9	34.0
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	35.0	37.8	△ 40.8	36.3	36.0	▲ 26.4	32.5	33.5	△ 43.5	▲ 29.8	35.0
9	市内産業が元気なまち	30.3	△ 35.6	33.6	32.1	35.0	33.0	▲ 25.2	▲ 22.7	33.9	25.8	33.0
10	ものづくり産業が活発なまち	40.5	43.9	43.1	45.3	△ 45.8	43.4	41.1	▲ 31.0	43.5	▲ 32.9	44.7
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	63.9	☆ 81.1	△ 70.6	△ 69.7	60.7	● 51.9	▲ 55.6	62.4	▲ 58.3	64.0	58.9
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	49.9	▲ 41.7	▲ 44.5	47.9	48.1	51.9	△ 59.6	● 39.3	☆ 68.7	○ 60.9	52.8
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	35.0	31.7	34.1	37.2	36.9	30.2	37.7	▲ 27.3	○ 47.0	37.3	37.6
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	51.7	49.4	52.6	48.3	47.2	56.6	△ 58.9	▲ 44.2	☆ 69.6	△ 57.8	50.8
15	温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	15.8	▲ 8.9	△ 21.3	17.9	19.2	▲ 9.4	16.6	17.8	20.0	▲ 10.7	13.2
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	41.6	▲ 31.7	37.4	44.0	△ 50.5	○ 55.7	42.4	40.9	46.1	▲ 33.8	43.1
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	27.5	23.3	30.3	29.9	△ 33.6	28.3	25.2	▲ 20.7	32.2	24.0	△ 33.5
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	45.4	45.6	43.6	△ 52.1	48.1	● 34.9	▲ 39.1	47.1	▲ 39.1	46.2	49.2
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	66.7	63.3	△ 72.5	△ 73.1	△ 75.2	▲ 57.5	▲ 57.6	65.7	64.3	67.6	64.0
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	32.0	▲ 26.1	28.4	35.9	△ 38.3	33.0	35.1	28.9	33.0	32.0	33.5
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	33.9	29.4	33.6	△ 40.6	△ 43.0	▲ 27.4	34.4	31.4	32.2	36.0	▲ 28.4
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	18.2	16.1	17.5	△ 23.5	△ 25.7	14.2	15.9	14.5	15.7	16.4	20.8
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	16.5	12.8	21.3	17.9	△ 23.4	16.0	15.9	13.6	17.4	15.1	14.2

7. 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの

1) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの

- 川口市の状況や取り組み 23 項目のうち、今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいと感じるものについて、上位5位をあげてもらった。
- 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいものとして、「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」（49.3%）、「さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち」（43.0%）、「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち」（33.0%）、「安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち」（32.4%）、「効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち」（27.6%）が上位 5 項目となっている。

今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの	%
保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	49.3
さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	43.0
高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	33.0
安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	32.4
効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	27.6
子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	27.3
子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	23.5
大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	22.0
豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	21.8
年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	21.7
文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	17.9
ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	15.9
市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	14.7
学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	14.1
いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	13.1
温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	12.6
市内産業が元気なまち	10.6
性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	10.5
自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	9.5
植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	8.6
ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	8.6
住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	7.9
ものづくり産業が活発なまち	7.7

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（全体）（5つまで選択）】

質問 番号	質問内容	0%20%40%60%
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	49.3
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	27.3
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	33.0
4	年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	21.7
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	23.5
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	14.1
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	17.9
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	10.5
9	市内産業が元気なまち	10.6
10	ものづくり産業が活発なまち	7.7
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	22.0
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	8.6
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	9.5
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	21.8
15	温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	12.6
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	15.9
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	7.9
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	32.4
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	13.1
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	43.0
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	8.6
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	14.7
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	27.6
	無回答	5.7

2) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性別）

- 性別にみると、「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」、「子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち」、「さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち」などでは女性が高く、「市内産業が元気なまち」、「市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち」などでは男性が高くなっている。

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性別）】

質問 番号	質問内容	(%)		
		全体	男性	女性
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	49.3	▲ 44.1	52.7
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	27.3	24.3	29.6
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	33.0	31.0	34.4
4	年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	21.7	20.9	22.7
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	23.5	22.0	25.1
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	14.1	14.0	14.7
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	17.9	19.8	17.2
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	10.5	12.1	9.4
9	市内産業が元気なまち	10.6	14.1	8.1
10	ものづくり産業が活発なまち	7.7	10.1	5.9
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	22.0	21.4	22.3
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	8.6	8.2	8.5
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	9.5	11.0	8.7
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	21.8	23.1	21.5
15	温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	12.6	13.2	12.0
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	15.9	15.3	16.5
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	7.9	10.5	6.1
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	32.4	30.9	34.0
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	13.1	13.2	12.7
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	43.0	39.0	45.6
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	8.6	10.5	7.8
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	14.7	18.7	11.6
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	27.6	29.4	26.3
	無回答	5.7	5.1	5.7

3) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性・年齢別）

- 性・年齢別にみると、「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」は、女性 40～49 歳が 61.2%、女性 60～64 歳が 60.5%と高くなっている。
- 「子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち」は、女性 30～39 歳が 54.1%、男性 30～39 歳が 45.3%と高くなっている。
- 「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち」は、女性 65～74 歳が 50.0%、男性 60～64 歳が 47.4%、女性 60～64 歳が 46.1%、男性 65～74 歳が 45.2%と高くなっている。
- 「子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち」は、女性 30～39 歳が 44.9%と高くなっている。
- 「性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち」は、男性 18～29 歳が 22.1%と高くなっている。
- 「市内産業が元気なまち」は、男性 60～64 歳が 21.1%と高くなっている。
- 「さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち」は、女性 50～59 歳が 56.6%と高くなっている。
- 「ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち」は、女性 75 歳以上が 20.9%、男性 75 歳以上が 20.8%、男性 65～74 歳が 19.8%と高くなっている。
- 「市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち」は、男性 75 歳以上が 25.7%、男性 65～74 歳が 25.4%と高くなっている。

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（男性・年齢別）】

(%)

質問 番号	質問内容	全体	男性						
			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	49.3	★ 30.8	51.2	44.6	50.4	47.4	▲ 42.9	▲ 42.6
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	27.3	△ 33.7	☆ 45.3	27.7	▲ 20.9	▲ 19.3	● 15.1	★ 9.9
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	33.0	★ 8.7	★ 15.1	28.9	34.1	○ 47.4	○ 45.2	△ 40.6
4	年齢・性別・障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	21.7	24.0	23.3	17.5	24.8	21.1	18.3	17.8
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	23.5	△ 28.8	△ 31.4	△ 30.1	20.2	● 12.3	▲ 14.3	● 10.9
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	14.1	△ 22.1	15.1	16.3	12.4	12.3	11.9	▲ 6.9
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	17.9	△ 25.0	22.1	19.9	22.5	21.1	18.3	▲ 10.9
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	10.5	○ 22.1	11.6	9.0	13.2	10.5	11.1	7.9
9	市内産業が元気なまち	10.6	7.7	9.3	△ 16.9	14.7	○ 21.1	△ 15.9	12.9
10	ものづくり産業が活発なまち	7.7	8.7	8.1	12.7	7.8	8.8	△ 13.5	8.9
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	22.0	△ 27.9	26.7	25.3	20.9	▲ 12.3	19.0	▲ 12.9
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	8.6	6.7	11.6	6.6	11.6	12.3	▲ 2.4	9.9
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	9.5	14.4	△ 16.3	4.8	13.2	△ 17.5	9.5	8.9
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	21.8	23.1	25.6	22.9	23.3	22.8	23.0	20.8
15	温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	12.6	15.4	11.6	10.8	17.1	12.3	12.7	12.9
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	15.9	16.3	15.1	▲ 10.2	18.6	● 5.3	△ 21.4	16.8
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	7.9	5.8	5.8	9.0	10.9	△ 15.8	△ 13.5	△ 14.9
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	32.4	35.6	△ 39.5	33.1	31.8	31.6	▲ 23.8	● 21.8
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	13.1	11.5	14.0	17.5	14.0	10.5	10.3	10.9
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	43.0	▲ 33.7	44.2	△ 50.0	42.6	▲ 36.8	● 32.5	★ 25.7
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	8.6	▲ 1.9	7.0	6.6	7.0	12.3	○ 19.8	○ 20.8
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	14.7	△ 22.1	10.5	14.5	13.2	△ 22.8	○ 25.4	○ 25.7
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	27.6	29.8	26.7	31.3	30.2	31.6	30.2	25.7
	無回答	5.7	2.9	2.3	3.6	2.3	5.3	7.1	△ 12.9

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（女性・年齢別）】

(%)

質問 番号	質問内容	全体	女性						
			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	49.3	● 38.4	53.1	○ 61.2	△ 58.6	○ 60.5	54.3	● 36.4
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	27.3	△ 37.1	☆ 54.1	△ 34.1	● 17.2	25.0	▲ 18.5	★ 9.1
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	33.0	★ 16.6	● 22.4	32.2	△ 40.4	○ 46.1	☆ 50.0	△ 42.7
4	年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	21.7	21.9	24.0	23.8	24.2	23.7	22.8	▲ 16.4
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	23.5	24.5	☆ 44.9	△ 31.3	▲ 16.2	21.1	▲ 16.7	● 10.0
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	14.1	△ 20.5	△ 21.4	15.4	11.1	14.5	11.1	▲ 5.5
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	17.9	15.9	14.3	21.0	21.2	15.8	16.7	▲ 11.8
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	10.5	13.2	12.2	8.9	8.1	7.9	8.6	▲ 4.5
9	市内産業が元気なまち	10.6	6.6	8.7	6.1	7.6	▲ 3.9	13.0	10.0
10	ものづくり産業が活発なまち	7.7	4.6	3.1	4.7	4.5	△ 13.2	9.3	7.3
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	22.0	△ 29.1	19.9	25.2	23.7	18.4	17.9	17.3
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	8.6	△ 13.9	7.1	5.1	8.6	7.9	9.9	8.2
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	9.5	13.2	6.6	8.9	6.1	△ 15.8	7.4	7.3
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	21.8	△ 30.5	20.4	22.0	23.2	21.1	17.3	▲ 13.6
15	温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	12.6	15.9	9.2	7.9	15.7	11.8	14.2	10.0
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	15.9	15.9	17.9	14.0	19.7	17.1	14.8	16.4
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	7.9	6.0	4.6	4.7	7.1	10.5	4.9	9.1
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	32.4	△ 39.7	36.2	34.6	36.4	32.9	▲ 27.2	28.2
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	13.1	15.9	13.3	11.2	13.6	9.2	11.1	13.6
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	43.0	41.7	△ 49.0	△ 52.8	○ 56.6	44.7	● 32.7	● 31.8
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	8.6	4.6	▲ 3.1	4.2	7.1	7.9	13.0	○ 20.9
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	14.7	15.9	▲ 8.7	▲ 6.5	14.1	11.8	10.5	18.2
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	27.6	△ 33.1	▲ 18.9	27.6	△ 32.8	26.3	25.3	▲ 18.2
	無回答	5.7	1.3	2.6	4.2	2.0	5.3	9.9	○ 20.0

4) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（地域別）

- 地域別にみると他の地域に比べ、中央地域は、「子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち」が 33.9%、「文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち」が 23.3%と高くなっている。
- 横曽根地域は、「年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち」、「豊かな水と緑に親しめる場所があるまち」がともに 25.1%とやや高くなっている。
- 青木地域は、「ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち」が 12.0%とやや高くなっている。
- 南平地域は、「豊かな水と緑に親しめる場所があるまち」が 24.8%、「温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち」が 15.9%とやや高くなっている。
- 新郷地域は、「子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち」が 33.0%、「いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち」が 19.8%と高くなっている。
- 神根地域は、「安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち」が 41.7%と高くなっている。
- 芝地域は、「性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち」が 17.4%と高くなっている。
- 安行地域は、「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」が 61.7%、「安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち」が 40.0%、「いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち」が 19.1%と高くなっている。
- 戸塚地域は、「さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち」が 47.1%、「年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち」が 26.7%、「温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち」が 16.0%とやや高くなっている。
- 鳩ヶ谷地域は、「文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち」が 24.9%と高くなっている。

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（地域別）】

(%)

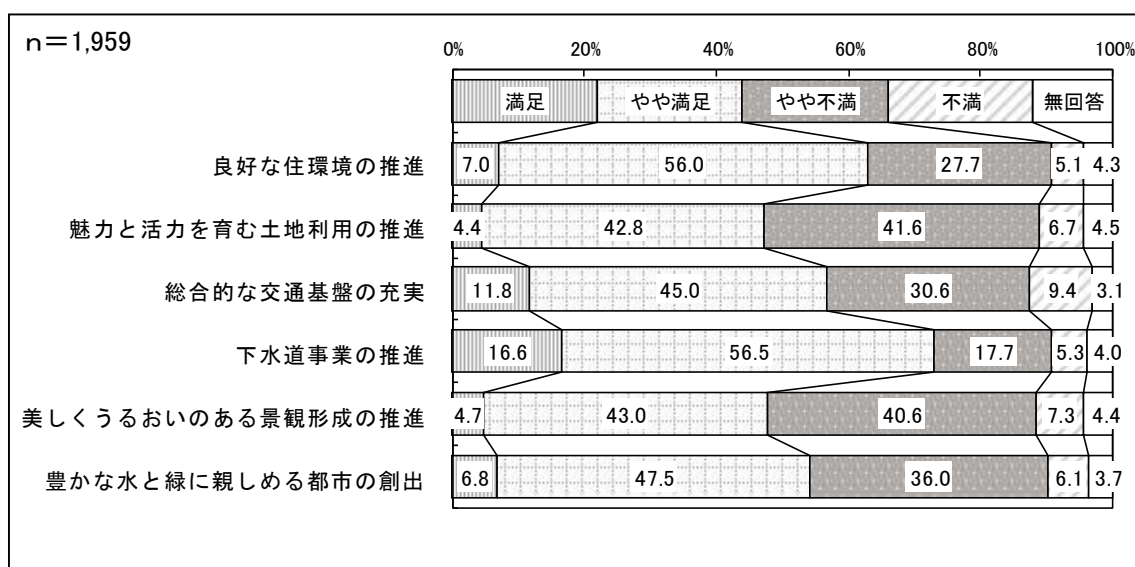
質問 番号	質問内容	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	49.3	50.0	▲ 44.1	51.3	47.2	▲ 41.5	51.7	49.6	○ 61.7	51.6	46.2
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	27.3	△ 33.9	26.1	25.2	28.0	29.2	23.8	25.6	30.4	26.2	31.0
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	33.0	28.9	35.5	35.0	34.6	34.0	▲ 27.2	34.3	28.7	33.3	34.5
4	年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	21.7	22.2	25.1	17.1	23.8	▲ 15.1	18.5	23.6	22.6	26.7	19.8
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	23.5	25.0	24.2	22.6	24.8	△ 33.0	23.2	21.5	23.5	24.0	21.8
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	14.1	16.7	12.3	13.7	15.9	17.9	18.5	14.0	9.6	12.9	14.2
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	17.9	△ 23.3	17.1	15.4	17.3	15.1	17.9	17.8	16.5	14.7	△ 24.9
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	10.5	8.9	13.3	12.8	7.9	8.5	7.3	△ 17.4	7.8	9.3	8.6
9	市内産業が元気なまち	10.6	13.3	9.5	10.7	8.4	10.4	13.9	9.9	10.4	9.8	9.6
10	ものづくり産業が活発なまち	7.7	8.3	9.0	8.5	6.1	8.5	5.3	6.2	7.0	9.8	5.6
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	22.0	25.0	23.2	20.9	22.9	20.8	23.8	▲ 14.5	20.9	20.0	26.9
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	8.6	6.1	10.4	9.0	6.5	7.5	9.3	8.3	12.2	8.9	8.1
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	9.5	9.4	10.0	10.3	10.3	10.4	11.3	7.4	10.4	9.3	7.6
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	21.8	20.6	25.1	22.2	24.8	18.9	▲ 15.9	26.0	▲ 16.5	18.7	23.9
15	温室効果ガス削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	12.6	15.6	13.3	12.4	15.9	11.3	9.3	9.1	13.0	16.0	10.7
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	15.9	18.3	15.2	18.8	13.6	12.3	13.9	19.0	13.0	16.9	16.8
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	7.9	3.9	7.6	10.3	10.3	7.5	6.6	7.0	12.2	5.8	6.1
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	32.4	28.9	31.8	31.2	33.6	35.8	△ 41.7	29.8	△ 40.0	32.4	29.4
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	13.1	10.0	10.0	10.7	11.7	△ 19.8	17.9	15.3	△ 19.1	12.0	9.1
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	43.0	43.3	43.6	43.2	44.9	● 32.1	38.4	47.1	▲ 36.5	47.1	45.2
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	8.6	6.1	6.2	12.0	8.9	6.6	11.9	11.2	7.0	9.8	6.6
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	14.7	▲ 9.4	14.2	15.0	16.4	13.2	18.5	17.8	10.4	16.4	14.7
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	27.6	30.6	28.4	26.9	24.8	26.4	27.8	28.9	23.5	28.4	31.5
	無回答	5.7	5.6	5.7	5.6	4.2	9.4	5.3	4.1	3.5	5.8	5.1

8. 川口市の都市整備に対する満足度

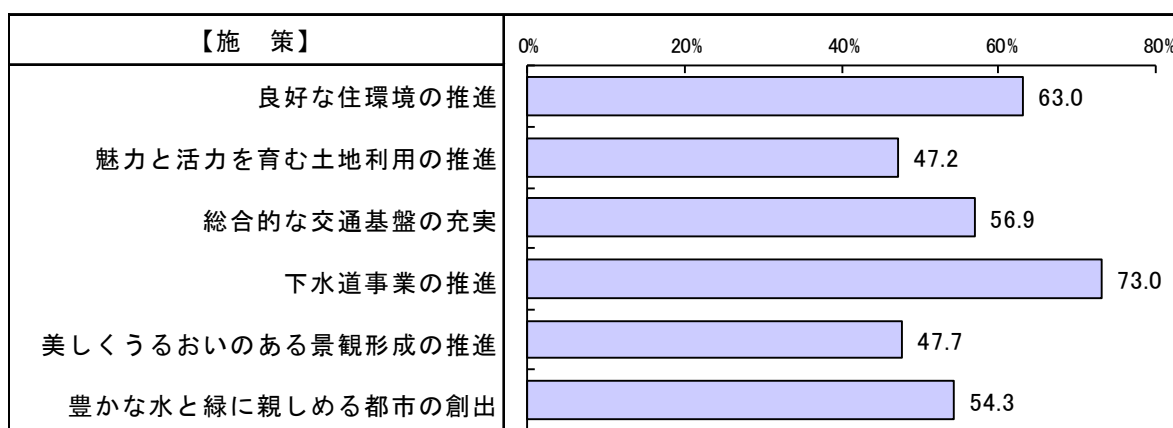
1) 都市整備に対する満足度

- 川口市の都市整備 6 施策に対する満足度について、それぞれ4段階で評価をしてもらったところ、「満足」と「やや満足」を合わせた回答が 50%を超えるのは「良好な住環境の推進」、「総合的な交通基盤の充実」、「下水道事業の推進」、「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」の4施策となっている。

【都市整備に対する満足度（全体）】



【満足・やや満足と回答した割合（全体）】



- 「満足・やや満足」が「やや不満・不満」を下回る施策は「魅力と活力を育む土地利用の推進」、「美しくうるおいのある景観形成の推進」であった。

施策	満足・やや満足 (%)	やや不満・不満 (%)
魅力と活力を育む土地利用の推進	47.2	48.3
美しくうるおいのある景観形成の推進	47.7	47.9

2) 都市整備に対する満足度（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答が「良好な住環境の推進」では、男性 18～29 歳が 77.9%と高くなっている。
- ・ 「魅力と活力を育む土地利用の推進」では、女性 18～29 歳が 66.2%、男性 18～29 歳が 61.5%と高くなっている。
- ・ 「総合的な交通基盤の充実」では、男性 65～74 歳が 68.3%と高くなっている。
- ・ 「下水道事業の推進」では、女性 18～29 歳が 79.5%、男性 65～74 歳が 79.4%、男性 18～29 歳が 78.8%と高くなっている。
- ・ 「美しくうるおいのある景観形成の推進」では、女性 18～29 歳が 55.0%と高くなっている。
- ・ 「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」では、男性 18～29 歳が 61.5%、女性 40～49 歳が 61.2%と高くなっている。

【満足・やや満足と回答した割合（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
良好な住環境の推進	63.0	○ 77.9	66.3	64.5	▲ 56.6	▲ 54.4	59.5	● 51.5
魅力と活力を育む土地利用の推進	47.2	○ 61.5	47.7	44.6	▲ 41.1	● 36.8	43.7	▲ 39.6
総合的な交通基盤の充実	56.9	△ 66.3	60.5	53.6	▲ 50.4	52.6	○ 68.3	58.4
下水道事業の推進	73.0	△ 78.8	74.4	75.9	75.2	▲ 66.7	△ 79.4	68.3
美しくうるおいのある景観形成の推進	47.7	51.9	51.2	45.2	▲ 38.0	▲ 38.6	▲ 38.1	44.6
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	54.3	△ 61.5	53.5	54.8	● 44.2	50.9	50.0	52.5

【満足・やや満足と回答した割合（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
良好な住環境の推進	63.0	△ 72.2	△ 70.9	65.0	64.6	▲ 56.6	▲ 54.9	58.2
魅力と活力を育む土地利用の推進	47.2	☆ 66.2	△ 54.1	50.0	44.4	★ 31.6	▲ 40.7	45.5
総合的な交通基盤の充実	56.9	△ 66.2	61.2	55.1	54.5	● 46.1	▲ 48.8	56.4
下水道事業の推進	73.0	△ 79.5	75.5	72.4	73.7	▲ 65.8	69.1	▲ 66.4
美しくうるおいのある景観形成の推進	47.7	△ 55.0	50.0	△ 52.8	52.0	43.4	44.4	51.8
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	54.3	58.3	52.0	△ 61.2	57.6	▲ 44.7	54.9	56.4

3) 都市整備に対する満足度（地域別）

- ・ 地域別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答が「良好な住環境の推進」では、戸塚地域が68.4%と高くなっている。
- ・ 「魅力と活力を育む土地利用の推進」では、横曽根地域が55.0%、安行地域が53.0%と高くなっている。
- ・ 「総合的な交通基盤の充実」では、青木地域が68.8%と高くなっている。
- ・ 「下水道事業の推進」では、中央地域が80.6%、南平地域が80.4%、横曽根地域が79.6%、青木地域が78.2%と高くなっている。
- ・ 「美しくうるおいのある景観形成の推進」では、安行地域が57.4%、戸塚地域が56.0%、横曽根地域が54.5%と高くなっている。
- ・ 「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」では、安行地域が61.7%と高くなっている。

【満足・やや満足と回答した割合（地域別）】

(%)

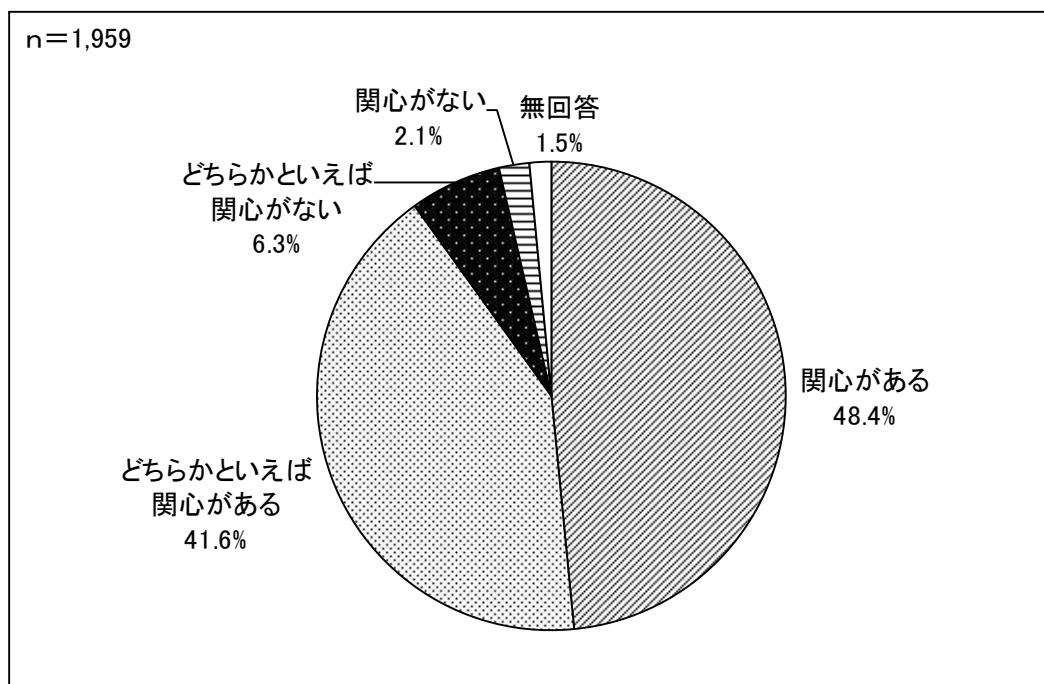
	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
良好な住環境の推進	63.0	67.8	67.8	64.1	67.8	★ 45.3	59.6	▲ 56.2	62.6	△ 68.4	66.0
魅力と活力を育む土地利用の推進	47.2	51.7	△ 55.0	50.9	51.9	▲ 41.5	45.7	▲ 38.0	△ 53.0	50.2	▲ 38.1
総合的な交通基盤の充実	56.9	56.7	△ 62.6	○ 68.8	57.0	★ 35.8	● 45.0	59.9	▲ 47.0	59.1	56.9
下水道事業の推進	73.0	△ 80.6	△ 79.6	△ 78.2	△ 80.4	★ 55.7	● 62.3	69.0	▲ 65.2	76.4	73.6
美しくうるおいのある景観形成の推進	47.7	48.9	△ 54.5	49.6	45.3	● 35.8	48.3	▲ 40.5	△ 57.4	△ 56.0	▲ 41.6
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	54.3	58.9	57.8	57.7	52.3	▲ 48.1	56.3	▲ 46.7	△ 61.7	56.9	51.3

9. 児童虐待への関心

1) 児童虐待への関心

- 児童虐待への関心について、「関心がある」(48.4%)と「どちらかといえば関心がある」(41.6%)を合わせた回答が90.0%、「どちらかといえば関心がない」(6.3%)と「関心がない」(2.1%)を合わせた回答が8.5%となっている。

【児童虐待への関心（全体）】



2) 児童虐待への関心（性別・性・年齢別）

- 性・年齢別にみると、「関心がある」は、女性 18～29 歳が 55.6%、女性 65～74 歳が 54.9%、女性 40～49 歳が 53.7%、女性 30～39 歳、女性 75 歳以上が 53.6%と高くなっている。

【児童虐待への関心（性別、性・年齢別）】

		(人)						(%)
		合計	関心がある	どちらか といえば 関心がある	どちらか といえば 関心がない	関心がない	無回答	
全体		1,959	48.4	41.6	6.3	2.1	1.5	
男性		771	44.4	41.1	9.6	3.8	1.2	
女性		1,109	51.1	42.3	4.0	1.0	1.6	
男 性	18～29歳	104	● 35.6	41.3	△ 15.4	△ 7.7	0.0	
	30～39歳	86	45.3	39.5	10.5	3.5	1.2	
	40～49歳	166	▲ 39.2	△ 47.6	9.6	3.0	0.6	
	50～59歳	129	45.0	41.9	9.3	3.1	0.8	
	60～64歳	57	49.1	36.8	8.8	5.3	0.0	
	65～74歳	126	49.2	▲ 34.9	9.5	1.6	4.8	
	75歳以上	101	52.5	40.6	4.0	3.0	0.0	
女 性	18～29歳	151	△ 55.6	38.4	4.6	0.7	0.7	
	30～39歳	196	△ 53.6	42.3	3.1	0.5	0.5	
	40～49歳	214	△ 53.7	40.2	4.2	1.4	0.5	
	50～59歳	198	▲ 39.9	○ 54.0	4.0	1.5	0.5	
	60～64歳	76	46.1	46.1	6.6	0.0	1.3	
	65～74歳	162	△ 54.9	38.3	3.1	1.2	2.5	
	75歳以上	110	△ 53.6	▲ 33.6	3.6	0.9	△ 8.2	

3) 児童虐待への関心（地域別）

- ・ 地域別にみると、「関心がある」は、神根地域が 57.0%、新郷地域が 53.8%と高くなっている。

【児童虐待への関心（地域別）】

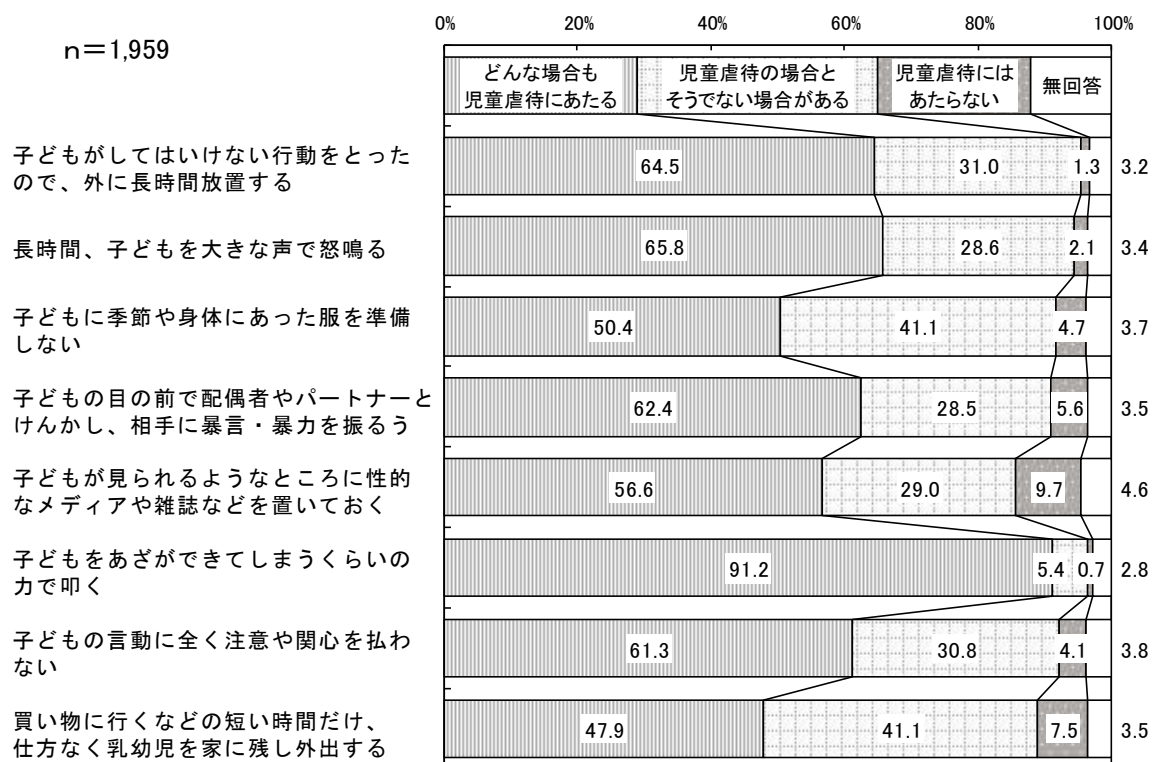
	(人)				(%)	
	合計	関心がある	どちらか といえば 関心がある	どちらか といえば 関心がない	関心がない	無回答
全体	1,959	48.4	41.6	6.3	2.1	1.5
中央地域	180	43.9	45.6	7.2	2.8	0.6
横曽根地域	211	51.2	39.3	7.1	0.9	1.4
青木地域	234	49.6	38.9	8.1	1.7	1.7
南平地域	214	43.5	46.3	6.1	2.8	1.4
新郷地域	106	△ 53.8	▲ 35.8	4.7	2.8	2.8
神根地域	151	△ 57.0	▲ 34.4	4.6	2.0	2.0
芝地域	242	45.5	45.0	6.2	1.7	1.7
安行地域	115	51.3	40.9	5.2	0.9	1.7
戸塚地域	225	52.0	40.4	4.0	2.7	0.9
鳩ヶ谷地域	197	47.7	41.6	8.1	2.0	0.5

10. 児童虐待の行動

1) 児童虐待の行動

- 児童虐待の行動について、どんな場合も児童虐待にあたるとしたものは、「子どもをあざができてしまうくらいの力で叩く」が91.2%と最も高く、次いで、「長時間、子どもを大きな声で怒鳴る」が65.8%、「子どもがしてはいけない行動をとったので、外に長時間放置する」が64.5%、「子どもの目の前で配偶者やパートナーとけんかし、相手に暴言・暴力を振るう」が62.4%などの順となっている。
- 児童虐待の場合とそうでない場合があるとしたものは、「子どもに季節や身体にあった服を準備しない」、「買い物に行くなどの短い時間だけ、仕方なく乳幼児を家に残し外出する」がともに41.1%と最も高く、次いで、「子どもがしてはいけない行動をとったので、外に長時間放置する」が31.0%、「子どもの言動に全く注意や関心を払わない」が30.8%などの順となっている。

【児童虐待の行動（全体）】



2) 児童虐待の行動（性・年齢別）

- 性・年齢別にみると、『どんな場合も児童虐待にあたる』との回答は「子どもがしてはいけない行動をとったので、外に長時間放置する」は、女性 60～64 歳が 78.9%と高くなっている。
- 「長時間、子どもを大きな声で怒鳴る」は、女性 60～64 歳が 81.6%と高くなっている。
- 「子どもに季節や身体にあった服を準備しない」は、男性 30～39 歳が 64.0%、女性 18～29 歳が 63.6%と高くなっている。
- 「子どもの目の前で配偶者やパートナーとけんかし、相手に暴言・暴力を振るう」は、女性 18～29 歳が 72.8%と高くなっている。
- 「子どもが見られるようなところに性的なメディアや雑誌などを置いておく」は、女性 60～64 歳が 69.7%、女性 30～39 歳、女性 40～49 歳が 66.8%と高くなっている。
- 「子どもをあざができてしまうくらいの力で叩く」は、女性 40～49 歳が 96.3%とやや高くなっている。
- 「子どもの言動に全く注意や関心を払わない」は、女性 60～64 歳が 77.6%、女性 40～49 歳が 72.0%、女性 30～39 歳が 71.4%と高くなっている。
- 「買い物に行くなどの短い時間だけ、仕方なく乳幼児を家に残し外出する」は、男性 30～39 歳が 61.6%、男性 60～64 歳が 61.4%と高くなっている。

【児童虐待の行動（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
子どもがしてはいけない行動をとったので、外に長時間放置する	64.5	▲ 56.7	▲ 58.1	▲ 59.0	61.2	△ 73.7	68.3	61.4
長時間、子どもを大きな声で怒鳴る	65.8	▲ 59.6	61.6	67.5	△ 72.9	△ 73.7	68.3	▲ 56.4
子どもに季節や身体にあった服を準備しない	50.4	51.0	○ 64.0	54.8	△ 55.8	54.4	● 39.7	★ 28.7
子どもの目の前で配偶者やパートナーとけんかし、相手に暴言・暴力を振るう	62.4	△ 69.2	66.3	65.1	62.8	63.2	60.3	★ 40.6
子どもが見られるようなところに性的なメディアや雑誌などを置いておく	56.6	★ 41.3	54.7	60.2	△ 62.0	52.6	52.4	● 42.6
子どもをあざができてしまうくらいの力で叩く	91.2	89.4	87.2	91.6	95.3	87.7	87.3	88.1
子どもの言動に全く注意や関心を払わない	61.3	▲ 54.8	65.1	60.2	△ 66.7	▲ 52.6	▲ 51.6	★ 35.6
買い物に行くなどの短い時間だけ、仕方なく乳幼児を家に残し外出する	47.9	43.3	○ 61.6	△ 56.6	52.7	○ 61.4	50.8	43.6

【児童虐待の行動（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
子どもがしてはいけない行動をとったので、外に長時間放置する	64.5	66.2	△ 73.0	67.8	68.2	○ 78.9	62.3	● 50.0
長時間、子どもを大きな声で怒鳴る	65.8	61.6	68.9	69.2	70.2	☆ 81.6	62.3	● 51.8
子どもに季節や身体にあった服を準備しない	50.4	○ 63.6	53.6	53.7	△ 58.1	△ 56.6	▲ 44.4	★ 26.4
子どもの目の前で配偶者やパートナーとけんかし、相手に暴言・暴力を振るう	62.4	○ 72.8	67.3	66.4	66.7	61.8	59.9	★ 47.3
子どもが見られるようなところに性的なメディアや雑誌などを置いておく	56.6	58.3	○ 66.8	○ 66.8	59.1	○ 69.7	51.9	★ 35.5
子どもをあざができてしまうくらいの力で叩く	91.2	95.4	94.4	△ 96.3	94.4	93.4	92.6	★ 74.5
子どもの言動に全く注意や関心を払わない	61.3	64.2	○ 71.4	○ 72.0	△ 70.2	☆ 77.6	59.9	★ 38.2
買い物に行くなどの短い時間だけ、仕方なく乳幼児を家に残し外出する	47.9	50.3	50.0	43.0	▲ 41.9	47.4	47.5	★ 29.1

3) 児童虐待の行動（地域別）

- ・ 地域別にみると、『どんな場合も児童虐待にあたる』との回答は「子どもがしてはいけない行動をとったので、外に長時間放置する」は、鳩ヶ谷地域が70.6%と高くなっている。
- ・ 「長時間、子どもを大きな声で怒鳴る」は、中央地域が72.2%、戸塚地域が71.6%、芝地域が71.1%と高くなっている。
- ・ 「子どもに季節や身体にあった服を準備しない」は、中央地域が62.8%と高くなっている。
- ・ 「子どもの目の前で配偶者やパートナーとけんかし、相手に暴言・暴力を振るう」は、中央地域が71.7%、戸塚地域が69.3%と高くなっている。
- ・ 「子どもが見られるようなところに性的なメディアや雑誌などを置いておく」は、中央地域が70.0%と高くなっている。
- ・ 「子どもをあざができてしまうくらいの力で叩く」は、大きな差はみられない。
- ・ 「子どもの言動に全く注意や関心を払わない」は、中央地域が68.9%、戸塚地域が67.1%と高くなっている。
- ・ 「買い物に行くなどの短い時間だけ、仕方なく乳幼児を家に残し外出する」は、神根地域が54.3%、安行地域が53.9%と高くなっている。

【児童虐待の行動（地域別）】

(%)

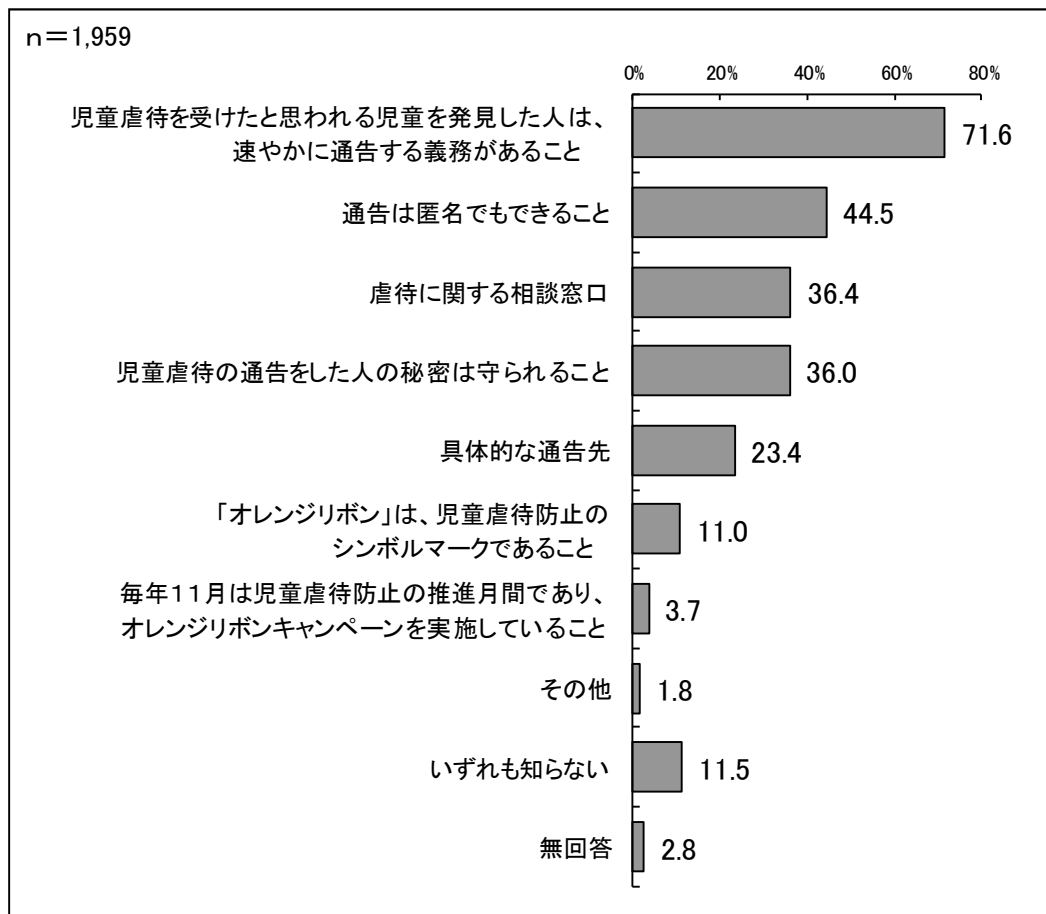
	全体	中央地域	横曽根地域	青木地域	南平地域	新郷地域	神根地域	芝地域	安行地域	戸塚地域	鳩ヶ谷地域
子どもがしてはいけない行動をとったので、外に長時間放置する	64.5	67.8	62.6	62.8	64.0	60.4	62.3	69.0	61.7	64.4	△ 70.6
長時間、子どもを大きな声で怒鳴る	65.8	△ 72.2	64.0	▲ 60.3	61.7	63.2	67.5	△ 71.1	65.2	△ 71.6	66.0
子どもに季節や身体にあった服を準備しない	50.4	○ 62.8	47.4	50.9	47.7	▲ 41.5	46.4	52.9	△ 57.4	50.7	49.2
子どもの目の前で配偶者やパートナーとけんかし、相手に暴言・暴力を振るう	62.4	△ 71.7	59.2	59.4	64.0	61.3	▲ 53.6	66.5	62.6	△ 69.3	58.9
子どもが見られるようなところに性的なメディアや雑誌などを置いておく	56.6	○ 70.0	52.1	53.4	△ 61.7	54.7	▲ 50.3	57.4	53.9	60.0	52.3
子どもをあざができてしまうくらいの力で叩く	91.2	92.2	91.9	93.6	89.3	92.5	90.1	89.7	93.9	92.4	90.4
子どもの言動に全く注意や関心を払わない	61.3	△ 68.9	62.6	57.7	57.0	58.5	62.9	60.7	60.9	△ 67.1	60.4
買い物に行くなどの短い時間だけ、仕方なく乳幼児を家に残し外出する	47.9	49.4	49.8	45.3	43.9	▲ 41.5	△ 54.3	46.3	△ 53.9	48.9	48.2

1 1. 児童虐待について知っていること

1) 児童虐待について知っていること

- 児童虐待について知っていることについて、「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること」が71.6%と最も高く、次いで、「通告は匿名でもできること」が44.5%、「虐待に関する相談窓口」が36.4%、「児童虐待の通告をした人の秘密は守られること」が36.0%となっている。

【児童虐待について知っていること（全体）】



2) 児童虐待について知っていること（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること」は、女性 40～49 歳が 79.9%、女性 50～59 歳が 77.8% と高くなっている。
- ・ 「通告は匿名でもできること」は、女性 40～49 歳が 53.7%、女性 30～39 歳が 52.6%、男性 30～39 歳が 52.3% と高くなっている。
- ・ 「虐待に関する相談窓口」は、女性 18～29 歳が 45.0%、女性 40～49 歳が 43.5% と高くなっている。
- ・ 「児童虐待の通告をした人の秘密は守られること」は、女性 75 歳以上が 45.5%、男性 60～64 歳が 43.9%、女性 18～29 歳が 41.1% と高くなっている。

【児童虐待について知っていること（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること	71.6	▲ 65.4	▲ 66.3	71.7	71.3	73.7	66.7	67.3
通告は匿名でもできること	44.5	46.2	△ 52.3	42.8	● 33.3	45.6	44.4	41.6
虐待に関する相談窓口	36.4	38.5	37.2	▲ 29.5	● 25.6	31.6	34.9	★ 20.8
児童虐待の通告をした人の秘密は守られること	36.0	40.4	31.4	33.7	▲ 27.1	△ 43.9	36.5	39.6
具体的な通告先	23.4	21.2	25.6	25.3	19.4	△ 29.8	27.8	23.8
「オレンジリボン」は、児童虐待防止のシンボルマークであること	11.0	6.7	14.0	13.9	▲ 5.4	7.0	7.9	7.9
毎年11月は児童虐待防止の推進月間であり、オレンジリボンキャンペーンを実施していること	3.7	0.0	8.1	2.4	1.6	1.8	2.4	5.9
その他	1.8	0.0	1.2	1.8	1.6	0.0	4.0	4.0
いずれも知らない	11.5	△ 18.3	△ 18.6	12.7	△ 17.1	14.0	13.5	7.9
無回答	2.8	1.0	0.0	0.0	1.6	1.8	△ 7.9	△ 7.9

【児童虐待について知っていること（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること	71.6	75.5	74.5	△ 79.9	△ 77.8	73.7	69.8	● 59.1
通告は匿名でもできること	44.5	47.7	△ 52.6	△ 53.7	43.9	44.7	● 32.1	▲ 37.3
虐待に関する相談窓口	36.4	△ 45.0	40.8	△ 43.5	35.4	38.2	39.5	34.5
児童虐待の通告をした人の秘密は守られること	36.0	△ 41.1	32.1	34.1	37.4	▲ 28.9	34.6	△ 45.5
具体的な通告先	23.4	▲ 17.9	21.9	27.6	28.3	23.7	▲ 17.9	▲ 15.5
「オレンジリボン」は、児童虐待防止のシンボルマークであること	11.0	11.9	10.7	13.6	11.1	9.2	10.5	12.7
毎年11月は児童虐待防止の推進月間であり、オレンジリボンキャンペーンを実施していること	3.7	2.0	5.1	3.7	4.5	0.0	5.6	4.5
その他	1.8	0.0	0.5	0.9	1.5	1.3	3.7	4.5
いずれも知らない	11.5	9.3	9.2	▲ 6.1	13.6	10.5	10.5	10.0
無回答	2.8	0.7	0.5	0.5	0.0	1.3	3.7	○ 13.6

3) 児童虐待について知っていること（地域別）

- ・ 地域別にみると、「通告は匿名でもできること」は、戸塚地域が 50.2%、新郷地域が 50.0%と高くなっている。
- ・ 「虐待に関する相談窓口」は、鳩ヶ谷地域が 43.7%と高くなっている。
- ・ 「児童虐待の通告をした人の秘密は守られること」は、鳩ヶ谷地域が 43.7%と高くなっている。

【児童虐待について知っていること（地域別）】

(%)

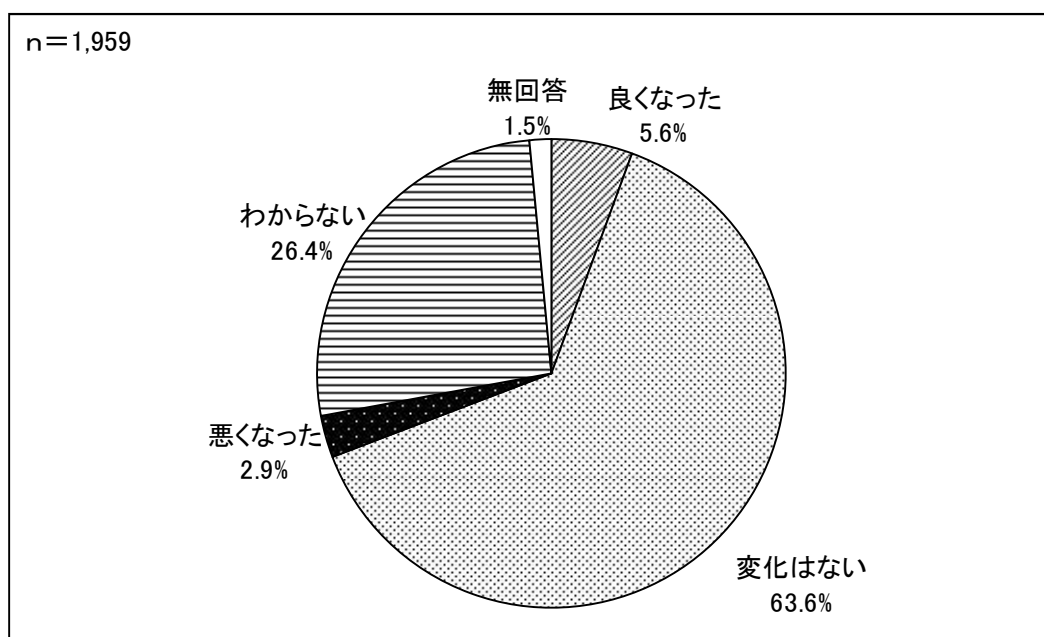
	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること	71.6	70.0	76.3	72.2	73.4	67.9	66.9	71.1	75.7	73.8	72.1
通告は匿名でもできること	44.5	42.8	45.5	46.2	42.5	△ 50.0	45.0	41.3	42.6	△ 50.2	44.2
虐待に関する相談窓口	36.4	33.3	▲ 30.3	37.2	36.0	36.8	37.1	36.8	37.4	38.2	△ 43.7
児童虐待の通告をした人の秘密は守られること	36.0	32.8	38.4	34.6	35.5	39.6	35.1	36.8	▲ 27.8	36.0	△ 43.7
具体的な通告先	23.4	23.9	21.8	23.5	19.2	24.5	21.2	25.6	27.8	25.3	23.9
「オレンジリボン」は、児童虐待防止のシンボルマークであること	11.0	10.6	10.9	8.5	9.8	13.2	12.6	8.7	13.0	12.4	13.7
毎年１１月は児童虐待防止の推進月間であり、オレンジリボンキャンペーンを実施していること	3.7	2.8	3.8	3.8	3.7	3.8	4.0	1.7	6.1	3.1	5.1
その他	1.8	0.6	2.4	3.0	1.9	1.9	1.3	1.2	2.6	1.3	1.0
いずれも知らない	11.5	△ 17.2	9.5	9.8	11.7	9.4	11.9	9.5	11.3	13.8	8.6
無回答	2.8	2.8	2.4	1.7	3.7	2.8	4.0	2.9	1.7	0.9	1.5

1 2. 合併による変化

1) 合併による変化

- 平成 23 年 10 月の鳩ヶ谷市との合併による変化について、63.6%の人は「変化はない」と回答している。一方、「良くなった」が 5.6%、「悪くなった」が 2.9%となっている。

【合併による変化（全体）】



2) 合併による変化（性別、性・年齢別）

- 性・年齢別にみると、「変化はない」は、女性 60～64 歳が 81.6%、男性 65～74 歳が 79.4%、男性 60～64 歳が 75.4%と高くなっている。

【合併による変化（性別、性・年齢別）】

		(人)						(%)
		合計	良くなった	変化はない	悪くなった	わからない	無回答	
全体		1,959	5.6	63.6	2.9	26.4	1.5	
男性		771	6.0	64.2	2.7	25.8	1.3	
女性		1,109	5.1	63.4	2.8	27.3	1.4	
男性	18～29歳	104	2.9	★ 47.1	2.9	☆ 47.1	0.0	
	30～39歳	86	4.7	★ 45.3	1.2	☆ 48.8	0.0	
	40～49歳	166	6.6	68.1	1.8	22.3	1.2	
	50～59歳	129	6.2	△ 69.8	6.2	● 16.3	1.6	
	60～64歳	57	7.0	○ 75.4	0.0	▲ 17.5	0.0	
	65～74歳	126	4.8	☆ 79.4	4.0	★ 10.3	1.6	
	75歳以上	101	9.9	59.4	1.0	25.7	4.0	
女性	18～29歳	151	3.3	▲ 53.6	2.0	○ 40.4	0.7	
	30～39歳	196	6.1	● 50.0	1.5	☆ 42.3	0.0	
	40～49歳	214	5.6	63.6	5.1	25.2	0.5	
	50～59歳	198	5.1	△ 71.2	3.5	▲ 20.2	0.0	
	60～64歳	76	5.3	☆ 81.6	1.3	★ 10.5	1.3	
	65～74歳	162	3.7	△ 69.1	3.7	▲ 19.8	3.7	
	75歳以上	110	7.3	66.4	0.0	21.8	4.5	

3) 合併による変化（地域別）

- ・ 地域別にみると、「良くなった」は、鳩ヶ谷地域が 18.3%、新郷地域が 12.3%と高くなっている。一方、「悪くなった」は、鳩ヶ谷地域が 9.6%と高くなっている。
- ・ 「変化はない」は、青木地域が 71.8%と高くなっている。

【合併による変化（地域別）】

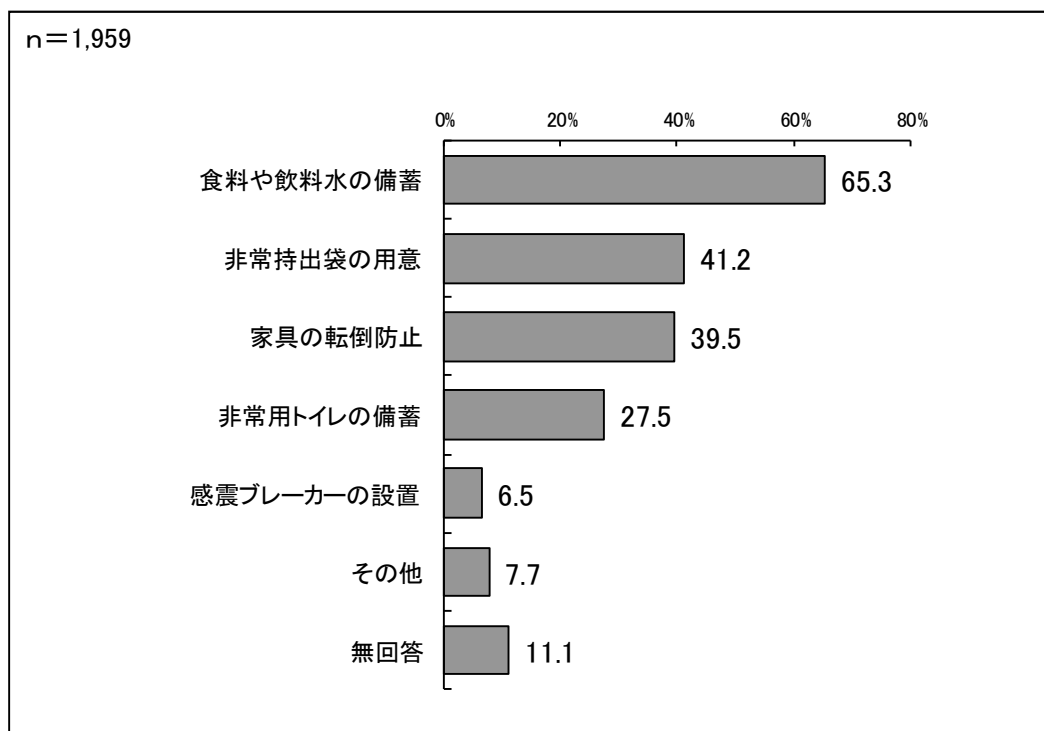
	(人)	(%)				
	合計	良くなった	変化はない	悪くなった	わからない	無回答
全体	1,959	5.6	63.6	2.9	26.4	1.5
中央地域	180	3.3	63.9	2.2	30.6	0.0
横曽根地域	211	2.4	66.4	0.0	30.3	0.9
青木地域	234	3.8	△ 71.8	1.7	21.8	0.9
南平地域	214	4.7	65.4	2.3	26.6	0.9
新郷地域	106	△ 12.3	60.4	1.9	24.5	0.9
神根地域	151	4.0	66.9	3.3	24.5	1.3
芝地域	242	2.5	66.5	2.9	25.6	2.5
安行地域	115	7.0	61.7	1.7	29.6	0.0
戸塚地域	225	2.7	65.3	2.2	28.4	1.3
鳩ヶ谷地域	197	○ 18.3	★ 44.2	△ 9.6	25.9	2.0

1 3. 災害時の備え

1) 災害時の備え

- 災害時の備えについて、「食料や飲料水の備蓄」が65.3%と最も高く、次いで、「非常持出袋の用意」が41.2%、「家具の転倒防止」が39.5%、「非常用トイレの備蓄」が27.5%となっている。

【災害時の備え（全体）】



2) 災害時の備え（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「食料や飲料水の備蓄」は、男性 65～74 歳が 73.8%、女性 40～49 歳が 72.4%と高くなっている。
- ・ 「非常持出袋の用意」は、女性 75 歳以上が 57.3%、男性 75 歳以上が 55.4%と高くなっている。
- ・ 「家具の転倒防止」は、女性 60～64 歳が 50.0%と高くなっている。
- ・ 「非常用トイレの備蓄」は、女性 40～49 歳が 38.8%、女性 50～59 歳が 37.9%と高くなっている。

【災害時の備え（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
食料や飲料水の備蓄	65.3	● 51.9	65.1	65.7	66.7	70.2	△ 73.8	69.3
非常持出袋の用意	41.2	★ 24.0	▲ 32.6	44.6	▲ 34.1	36.8	42.9	○ 55.4
家具の転倒防止	39.5	38.5	36.0	40.4	35.7	△ 47.4	41.3	△ 44.6
非常用トイレの備蓄	27.5	● 17.3	▲ 22.1	29.5	22.5	▲ 17.5	26.2	25.7
感震ブレーカーの設置	6.5	2.9	3.5	8.4	3.1	△ 14.0	△ 11.9	△ 13.9
その他	7.7	△ 13.5	8.1	7.2	7.0	△ 14.0	7.1	6.9
無回答	11.1	13.5	11.6	9.6	9.3	7.0	7.1	8.9

【災害時の備え（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
食料や飲料水の備蓄	65.3	★ 47.7	64.8	△ 72.4	67.2	65.8	69.8	65.5
非常持出袋の用意	41.2	● 29.8	43.9	40.2	40.9	38.2	△ 50.6	☆ 57.3
家具の転倒防止	39.5	37.7	▲ 33.2	42.5	41.4	○ 50.0	37.0	40.0
非常用トイレの備蓄	27.5	● 13.9	25.0	○ 38.8	○ 37.9	30.3	25.3	△ 37.3
感震ブレーカーの設置	6.5	2.6	4.1	5.6	2.5	9.2	11.1	8.2
その他	7.7	9.3	7.7	4.2	8.6	10.5	4.9	6.4
無回答	11.1	13.9	14.3	12.1	8.6	9.2	9.9	△ 16.4

3) 災害時の備え（地域別）

- ・ 地域別にみると、「非常持出袋の用意」は、神根地域が47.7%と高くなっている。
- ・ 「家具の転倒防止」は、南平地域が46.7%、中央地域が46.1%と高くなっている。
- ・ 「非常用トイレの備蓄」は、中央地域が37.2%、南平地域が32.7%と高くなっている。

【災害時の備え（地域別）】

(%)

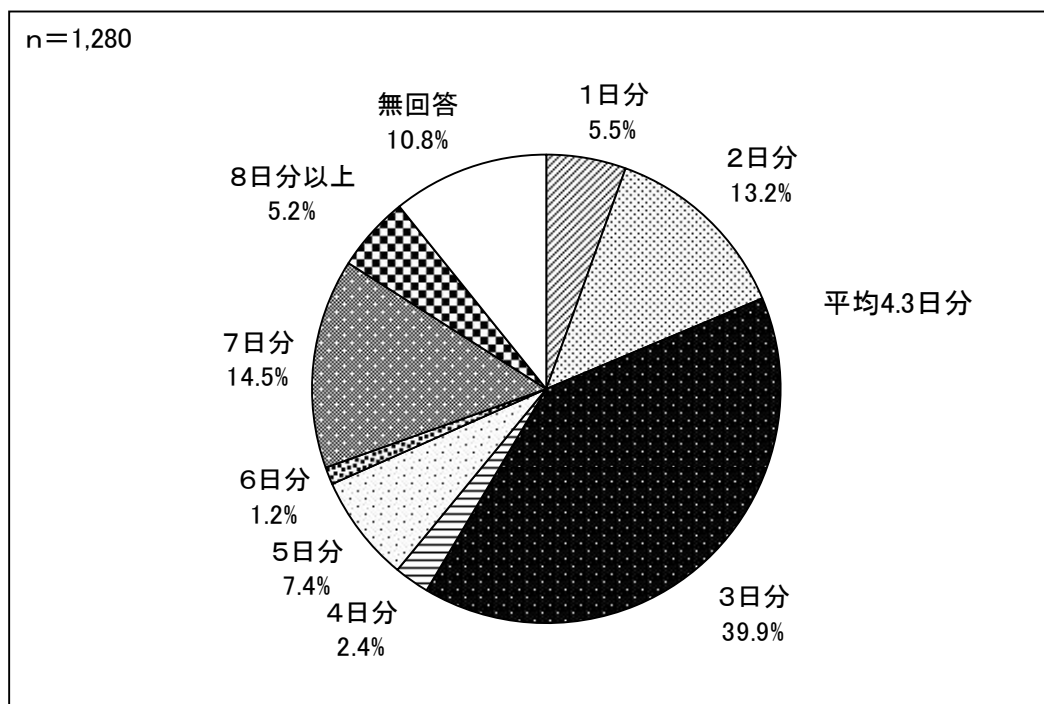
	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
食料や飲料水の備蓄	65.3	69.4	69.2	66.7	63.1	64.2	▲ 58.3	67.8	69.6	67.1	▲ 58.9
非常持出袋の用意	41.2	41.7	37.4	46.2	38.8	41.5	△ 47.7	45.0	41.7	40.4	37.1
家具の転倒防止	39.5	△ 46.1	37.0	38.0	△ 46.7	▲ 31.1	37.7	39.3	40.9	39.6	38.1
非常用トイレの備蓄	27.5	△ 37.2	27.5	26.9	△ 32.7	▲ 20.8	23.2	26.9	22.6	30.2	22.8
感震ブレーカーの設置	6.5	7.2	7.1	7.3	4.7	8.5	7.9	7.9	6.1	8.0	2.5
その他	7.7	2.8	7.6	8.1	8.4	6.6	6.6	9.1	6.1	7.1	11.2
無回答	11.1	11.7	11.4	9.4	7.9	11.3	11.9	9.9	7.8	12.4	14.7

1 4. 食料や飲料水の備蓄数

1) 食料や飲料水の備蓄数

- 災害時の備えで「食料や飲料水の備蓄」と答えた人（1,280 人）の食料や飲料水の備蓄数について、「3日分」が 39.9%と最も高く、次いで、「7日分」が 14.5%、「2日分」が 13.2%となっている。平均は 4.3 日分であった。

【食料や飲料水の備蓄数（全体）】



2) 食料や飲料水の備蓄数（性別、性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「3日分」は、男性 30～39 歳が 50.0%と高くなっている。
- ・ 「2日分」は、女性 40～49 歳が 26.5%と高くなっている。
- ・ 「7日分」は、女性 60～64 歳が 26.0%と高くなっている。

【食料や飲料水の備蓄数（性別、性・年齢別）】

		(人)									(%)
		合計	1日分	2日分	3日分	4日分	5日分	6日分	7日分	8日分以上	無回答
全体		1,280	5.5	13.2	39.9	2.4	7.4	1.2	14.5	5.2	10.8
男性		510	5.9	9.6	43.3	2.2	6.7	0.2	15.5	6.7	10.0
女性		723	5.4	15.9	37.8	2.4	7.6	1.8	13.8	4.0	11.3
男性	18～29歳	54	7.4	△ 18.5	38.9	1.9	3.7	0.0	18.5	3.7	7.4
	30～39歳	56	△ 14.3	▲ 3.6	○ 50.0	1.8	5.4	0.0	▲ 8.9	△ 10.7	▲ 5.4
	40～49歳	109	7.3	▲ 6.4	△ 45.9	2.8	7.3	0.0	17.4	5.5	7.3
	50～59歳	86	4.7	15.1	△ 48.8	3.5	▲ 2.3	1.2	11.6	3.5	9.3
	60～64歳	40	2.5	12.5	35.0	0.0	10.0	0.0	△ 20.0	7.5	12.5
	65～74歳	93	2.2	▲ 5.4	△ 46.2	1.1	8.6	0.0	19.4	△ 11.8	▲ 5.4
	75歳以上	70	4.3	10.0	▲ 30.0	2.9	10.0	0.0	12.9	4.3	○ 25.7
女性	18～29歳	72	6.9	12.5	● 27.8	2.8	△ 12.5	5.6	13.9	2.8	15.3
	30～39歳	127	6.3	△ 18.9	43.3	0.0	8.7	0.0	14.2	3.9	▲ 4.7
	40～49歳	155	9.0	○ 26.5	38.7	2.6	4.5	0.6	▲ 6.5	2.6	9.0
	50～59歳	133	5.3	13.5	39.8	0.8	7.5	0.8	13.5	5.3	13.5
	60～64歳	50	6.0	14.0	▲ 32.0	2.0	4.0	4.0	○ 26.0	2.0	10.0
	65～74歳	113	0.9	10.6	▲ 34.5	7.1	10.6	3.5	13.3	2.7	△ 16.8
	75歳以上	72	1.4	▲ 5.6	40.3	1.4	5.6	1.4	△ 22.2	9.7	12.5

3) 食料や飲料水の備蓄数（地域別）

- ・ 地域別にみると、「3日分」は、安行地域が 48.8%、新郷地域が 45.6%と高くなっている。
- ・ 「2日分」は、戸塚地域が 19.9%と高くなっている。

【食料や飲料水の備蓄数（地域別）】

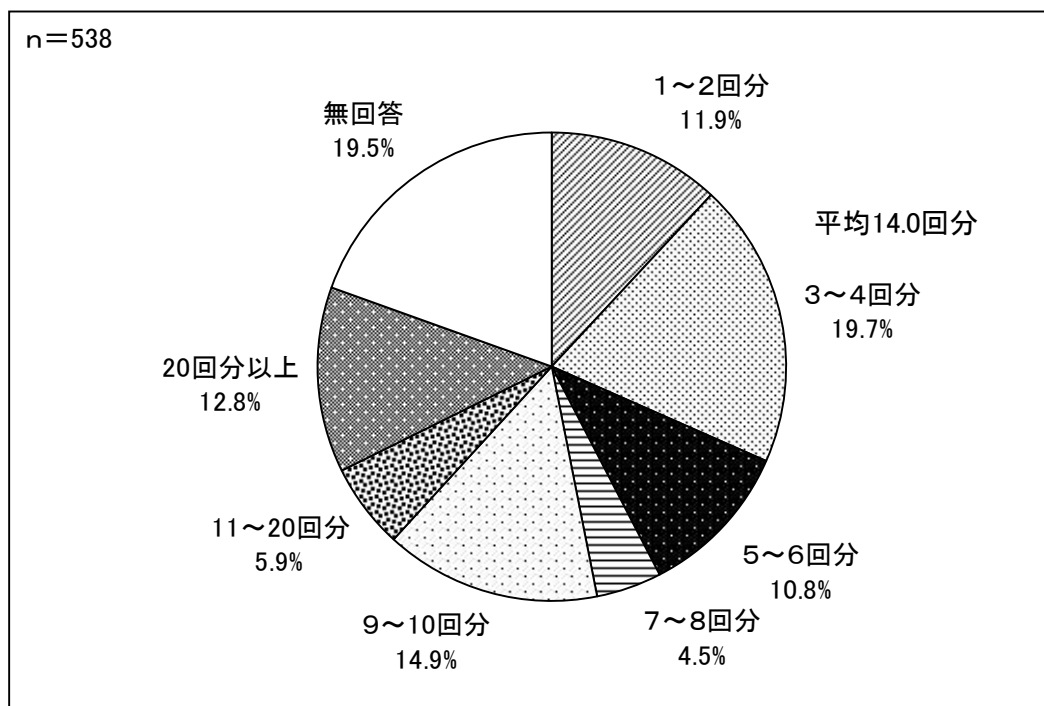
	(人)								(%)	
	合計	1日分	2日分	3日分	4日分	5日分	6日分	7日分	8日分以上	無回答
全体	1,280	5.5	13.2	39.9	2.4	7.4	1.2	14.5	5.2	10.8
中央地域	125	5.6	10.4	41.6	3.2	7.2	0.8	19.2	4.0	8.0
横曽根地域	146	4.8	10.3	42.5	0.0	6.8	2.1	15.8	6.2	11.6
青木地域	156	4.5	14.1	41.0	1.9	7.7	1.9	11.5	5.8	11.5
南平地域	135	8.9	13.3	37.0	1.5	8.9	0.7	13.3	3.7	12.6
新郷地域	68	10.3	▲ 7.4	△ 45.6	5.9	5.9	0.0	14.7	4.4	5.9
神根地域	88	2.3	12.5	36.4	2.3	11.4	0.0	18.2	6.8	10.2
芝地域	164	4.3	14.0	39.0	2.4	6.1	0.6	14.6	4.9	14.0
安行地域	80	8.8	11.3	△ 48.8	2.5	3.8	3.8	10.0	3.8	7.5
戸塚地域	151	2.6	△ 19.9	35.8	4.6	8.6	1.3	11.9	5.3	9.9
鳩ヶ谷地域	116	4.3	17.2	36.2	0.0	6.9	0.9	18.1	6.9	9.5

15. 非常用トイレの備蓄数

1) 非常用トイレの備蓄数

- 災害時の備えで「非常用トイレの備蓄」と答えた人（538人）の非常用トイレの備蓄回数について、「3～4回分」が19.7%と最も高く、次いで、「9～10回分」が14.9%、「20回分以上」が12.8%となっている。平均は14.0回分であった。

【非常用トイレの備蓄数（全体）】



2) 非常用トイレの備蓄数（性別、性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「3～4回分」は、男性 30～39 歳が 26.3%、女性 60～64 歳が 26.1%と高くなっている。
- ・ 「5～6回分」は、女性 18～29 歳が 28.6%と高くなっている。
- ・ 「7～8回」は、男性 60～64 歳が 20.0%と高くなっている。
- ・ 「20 回分以上」は、女性 60～64 歳が 26.1%、女性 30～39 歳が 24.5%と高くなっている。

【非常用トイレの備蓄数（性別、性・年齢別）】

		(人)									(%)
		合計	1～2 回分	3～4 回分	5～6 回分	7～8 回分	9～10 回分	11～20 回分	20回分 以上	無回答	
全体		538	11.9	19.7	10.8	4.5	14.9	5.9	12.8	19.5	
男性		184	13.0	19.0	9.8	6.5	14.7	7.1	8.7	21.2	
女性		333	11.7	19.2	11.7	3.0	15.3	5.7	15.3	18.0	
男 性	18～29歳	18	16.7	22.2	△ 16.7	△ 11.1	▲ 5.6	5.6	▲ 5.6	16.7	
	30～39歳	19	10.5	△ 26.3	▲ 5.3	△ 10.5	△ 21.1	5.3	△ 21.1	★ 0.0	
	40～49歳	49	12.2	22.4	6.1	6.1	10.2	10.2	8.2	24.5	
	50～59歳	29	10.3	▲ 13.8	13.8	6.9	△ 24.1	10.3	▲ 3.4	17.2	
	60～64歳	10	10.0	20.0	● 0.0	☆ 20.0	10.0	10.0	△ 20.0	▲ 10.0	
	65～74歳	33	15.2	18.2	6.1	3.0	△ 21.2	▲ 0.0	9.1	△ 27.3	
	75歳以上	26	15.4	▲ 11.5	△ 19.2	0.0	▲ 7.7	7.7	▲ 3.8	☆ 34.6	
女 性	18～29歳	21	9.5	23.8	☆ 28.6	4.8	14.3	▲ 0.0	▲ 4.8	▲ 14.3	
	30～39歳	49	16.3	16.3	12.2	0.0	14.3	6.1	○ 24.5	▲ 10.2	
	40～49歳	83	16.9	24.1	9.6	1.2	14.5	6.0	12.0	15.7	
	50～59歳	75	9.3	17.3	10.7	1.3	14.7	8.0	16.0	22.7	
	60～64歳	23	● 0.0	△ 26.1	8.7	8.7	17.4	4.3	○ 26.1	● 8.7	
	65～74歳	41	12.2	▲ 12.2	12.2	7.3	14.6	4.9	12.2	24.4	
	75歳以上	41	7.3	17.1	9.8	4.9	19.5	4.9	12.2	24.4	

3) 非常用トイレの備蓄数（地域別）

- ・ 地域別にみると、「3～4回分」は、神根地域が25.7%と高くなっている。
- ・ 「1～2回分」は、新郷地域が22.7%と高くなっている。
- ・ 「20回分以上」は、安行地域が23.1%と高くなっている。

【非常用トイレの備蓄数（地域別）】

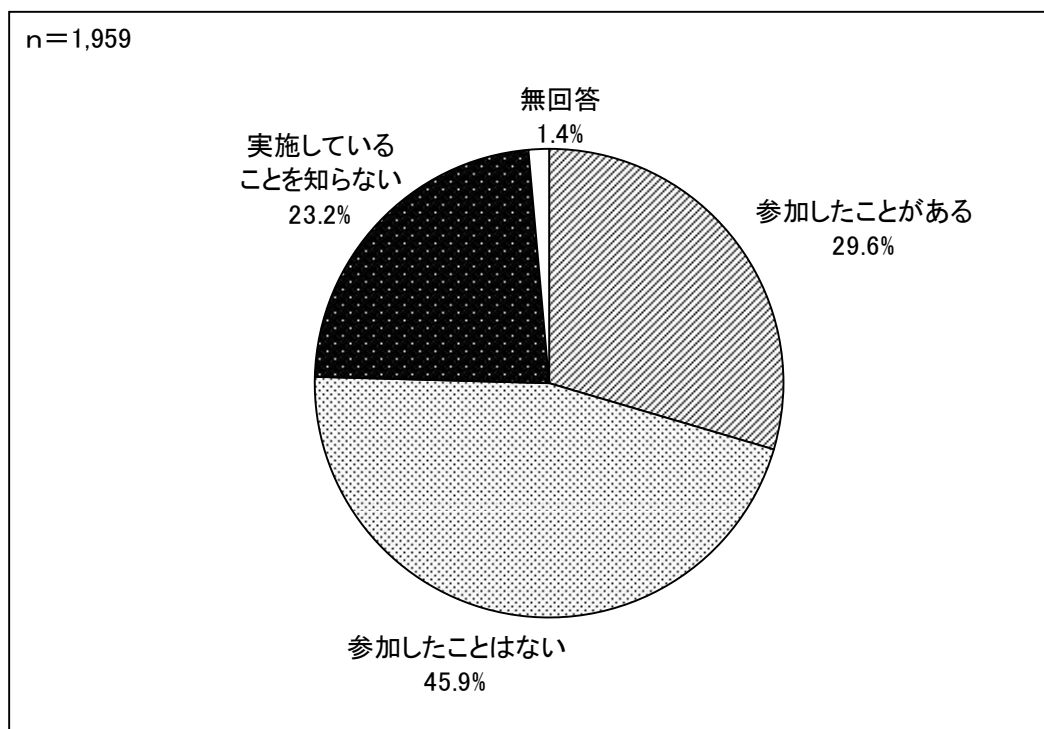
(人)		(%)							
	合計	1～2 回分	3～4 回分	5～6 回分	7～8 回分	9～10 回分	11～20 回分	20回分 以上	無回答
全体	538	11.9	19.7	10.8	4.5	14.9	5.9	12.8	19.5
中央地域	67	9.0	20.9	9.0	4.5	14.9	6.0	△ 22.4	▲ 13.4
横曽根地域	58	12.1	15.5	12.1	5.2	△ 20.7	5.2	▲ 6.9	22.4
青木地域	63	14.3	▲ 12.7	14.3	3.2	14.3	9.5	● 1.6	○ 30.2
南平地域	70	8.6	20.0	8.6	4.3	15.7	2.9	△ 18.6	21.4
新郷地域	22	○ 22.7	22.7	9.1	0.0	● 4.5	9.1	13.6	18.2
神根地域	35	11.4	△ 25.7	11.4	0.0	11.4	8.6	17.1	▲ 14.3
芝地域	65	13.8	18.5	6.2	7.7	15.4	7.7	13.8	16.9
安行地域	26	7.7	19.2	15.4	0.0	19.2	3.8	○ 23.1	▲ 11.5
戸塚地域	68	13.2	22.1	8.8	5.9	19.1	7.4	10.3	▲ 13.2
鳩ヶ谷地域	45	13.3	15.6	△ 20.0	8.9	▲ 8.9	2.2	8.9	22.2

16. 防災訓練への参加

1) 防災訓練への参加

- 防災訓練への参加について、「参加したことがある」が29.6%、「参加したことはない」が45.9%となっている。また、「実施していることを知らない」は23.2%となっている。

【防災訓練への参加（全体）】



2) 防災訓練への参加（性別、性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「参加したことがある」は、女性 75 歳以上が 56.4%、男性 75 歳以上が 49.5%、女性 60～64 歳が 47.4%、男性 65～74 歳が 45.2%と高くなっている。
- ・ 「参加したことはない」は、男性 40～49 歳が 57.8%と高くなっている。
- ・ 「実施していることを知らない」は、男性 18～29 歳が 45.2%、女性 18～29 歳が 42.4%と高くなっている。

【防災訓練への参加（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)			
		合計	参加した ことがある	参加した ことはない	実施して いること を知らない	無回答
全体		1,959	29.6	45.9	23.2	1.4
男性		771	30.1	44.5	24.4	1.0
女性		1,109	29.6	46.1	23.0	1.4
男 性	18～29歳	104	● 15.4	▲ 39.4	☆ 45.2	0.0
	30～39歳	86	● 16.3	48.8	○ 34.9	0.0
	40～49歳	166	★ 12.7	○ 57.8	△ 28.3	1.2
	50～59歳	129	△ 38.0	41.9	19.4	0.8
	60～64歳	57	○ 42.1	▲ 38.6	19.3	0.0
	65～74歳	126	☆ 45.2	▲ 39.7	● 12.7	2.4
	75歳以上	101	☆ 49.5	▲ 37.6	● 10.9	2.0
女 性	18～29歳	151	★ 11.9	44.4	☆ 42.4	1.3
	30～39歳	196	★ 11.7	50.5	○ 37.8	0.0
	40～49歳	214	▲ 23.8	50.0	24.8	1.4
	50～59歳	198	34.3	47.0	18.2	0.5
	60～64歳	76	☆ 47.4	43.4	★ 6.6	2.6
	65～74歳	162	○ 43.2	47.5	● 9.3	0.0
	75歳以上	110	☆ 56.4	● 30.9	★ 7.3	5.5

3) 防災訓練への参加（地域別）

- ・ 地域別にみると、「参加したことがある」は、青木地域が38.5%と高くなっている。

【防災訓練への参加（地域別）】

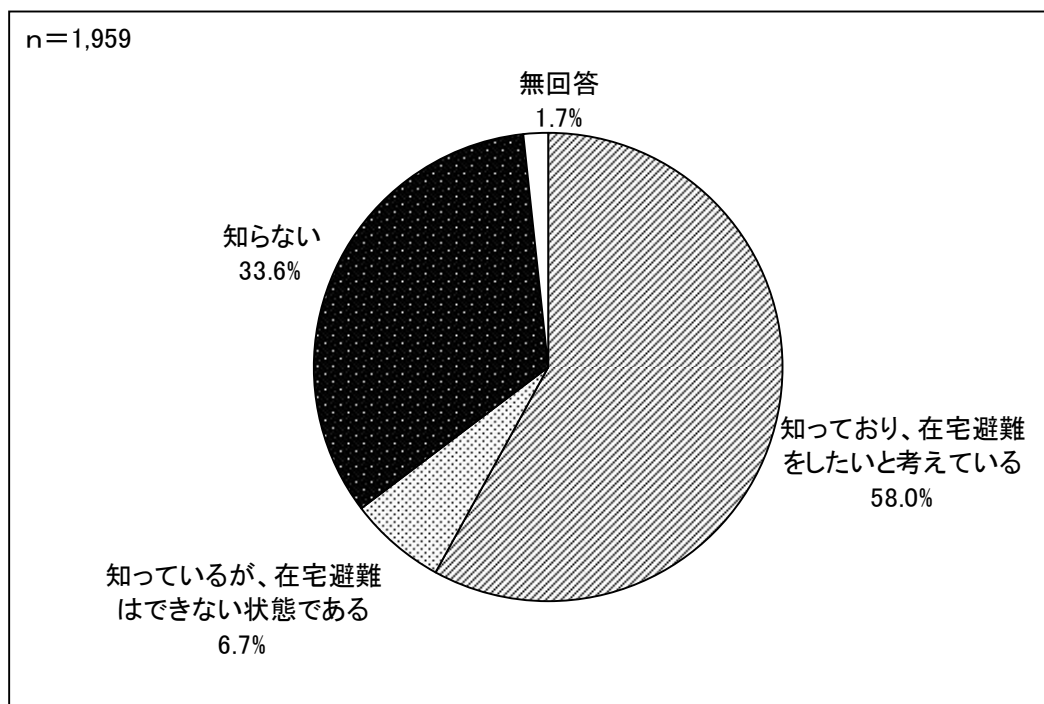
	(人)				(%)
	合計	参加した ことがある	参加した ことはない	実施して いること を知らない	無回答
全体	1,959	29.6	45.9	23.2	1.4
中央地域	180	▲ 23.9	50.0	25.6	0.6
横曽根地域	211	25.1	46.9	26.5	1.4
青木地域	234	△ 38.5	45.3	▲ 16.2	0.0
南平地域	214	32.2	46.7	20.1	0.9
新郷地域	106	29.2	47.2	21.7	1.9
神根地域	151	28.5	47.0	22.5	2.0
芝地域	242	28.9	43.0	26.0	2.1
安行地域	115	33.9	45.2	20.9	0.0
戸塚地域	225	30.2	40.9	28.0	0.9
鳩ヶ谷地域	197	26.9	47.7	24.4	1.0

17. 在宅避難の認知度

1) 在宅避難の認知度

- 在宅避難の認知度について、「知っており、在宅避難をしたいと考えている」(58.0%)と「知っているが、在宅避難はできない状態である」(6.7%)を合わせた認知度が64.7%となっている。一方、「知らない」は33.6%となっている。

【在宅避難の認知度（全体）】



2) 在宅避難の認知度（性別、性・年齢別）

- 性・年齢別にみると、「知っており、在宅避難をしたいと考えている」は、女性 65～74 歳が 74.1%、男性 60～64 歳が 70.2%、女性 50～59 歳が 70.2%、男性 65～74 歳が 68.3%と高くなっている。
- 「知っているが、在宅避難はできない状態である」は、男性 75 歳以上が 16.8%と高くなっている。
- 「知らない」は、男性 18～29 歳が 62.5%、男性 30～39 歳が 53.5%、女性 18～29 歳が 50.3%、女性 30～39 歳が 46.4%と高くなっている。

【在宅避難の認知度（性別、性・年齢別）】

		(人)					(%)
		合計	知っており、 在宅避難を したいと 考えている	知っている が、在宅避難 はできない 状態である	知らない	無回答	
全体		1,959	58.0	6.7	33.6	1.7	
男性		771	54.0	7.3	37.4	1.4	
女性		1,109	60.3	6.3	31.7	1.7	
男 性	18～29歳	104	★ 28.8	7.7	☆ 62.5	1.0	
	30～39歳	86	★ 41.9	4.7	☆ 53.5	0.0	
	40～49歳	166	▲ 52.4	4.8	△ 42.2	0.6	
	50～59歳	129	55.8	5.4	37.2	1.6	
	60～64歳	57	○ 70.2	7.0	● 21.1	1.8	
	65～74歳	126	○ 68.3	6.3	● 23.0	2.4	
	75歳以上	101	62.4	○ 16.8	★ 17.8	3.0	
女 性	18～29歳	151	★ 42.4	6.6	☆ 50.3	0.7	
	30～39歳	196	● 46.9	6.6	○ 46.4	0.0	
	40～49歳	214	60.7	4.2	33.6	1.4	
	50～59歳	198	○ 70.2	3.5	▲ 25.8	0.5	
	60～64歳	76	△ 67.1	7.9	▲ 23.7	1.3	
	65～74歳	162	☆ 74.1	8.0	★ 14.2	3.7	
	75歳以上	110	△ 66.4	9.1	★ 18.2	6.4	

3) 在宅避難の認知度（地域別）

- ・ 地域別にみると、「知っており、在宅避難をしたいと考えている」は、中央地域が64.4%と高くなっている。
- ・ 「知らない」は、芝地域が43.0%と高くなっている。

【在宅避難の認知度（地域別）】

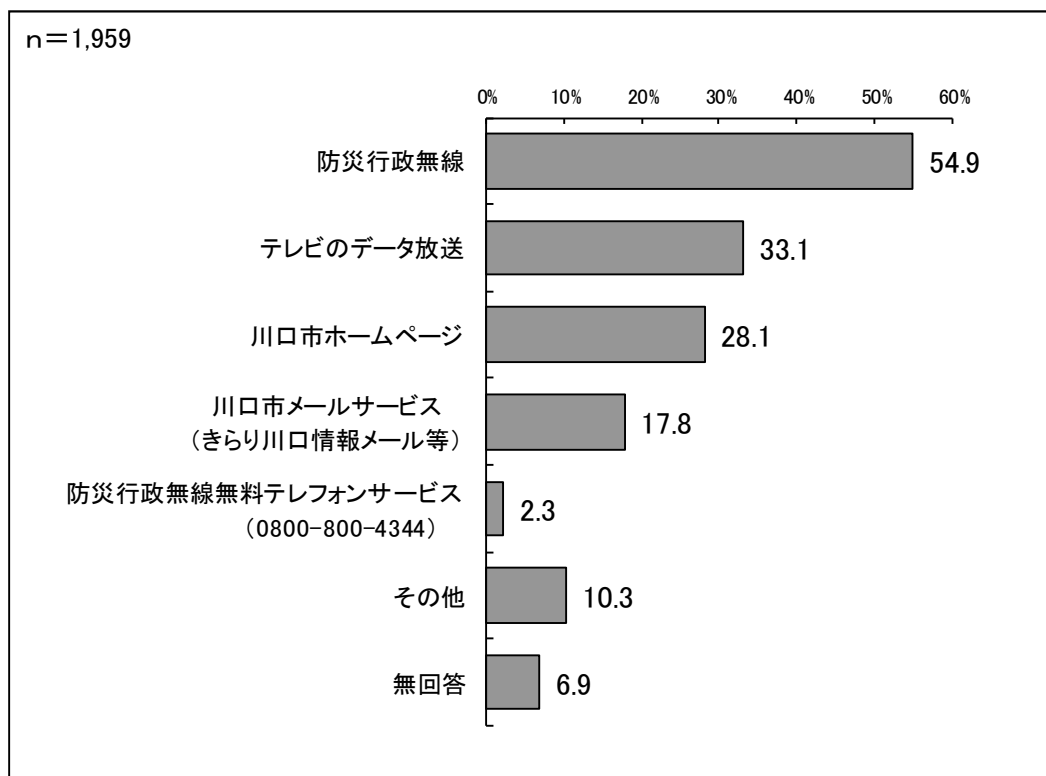
	(人)			(%)	
	合計	知っており、 在宅避難を したいと 考えている	知っている が、在宅避難 はできない 状態である	知らない	無回答
全体	1,959	58.0	6.7	33.6	1.7
中央地域	180	△ 64.4	5.0	30.0	0.6
横曽根地域	211	60.7	6.2	30.3	2.8
青木地域	234	62.0	5.6	30.3	2.1
南平地域	214	61.7	8.4	29.0	0.9
新郷地域	106	62.3	2.8	33.0	1.9
神根地域	151	53.6	9.3	36.4	0.7
芝地域	242	● 46.7	8.7	△ 43.0	1.7
安行地域	115	53.9	9.6	34.8	1.7
戸塚地域	225	56.0	6.7	35.6	1.8
鳩ヶ谷地域	197	57.9	4.6	36.5	1.0

18. 市から発信する防災・災害情報の入手手段

1) 市から発信する防災・災害情報の入手手段

- 市から発信する防災・災害情報の入手手段について、「防災行政無線」が 54.9%と最も高く、次いで、「テレビのデータ放送」が 33.1%、「川口市ホームページ」が 28.1%、「川口市メールサービス（きらり川口情報メール等）」が 17.8%となっている。

【市から発信する防災・災害情報の入手手段（全体）】



2) 市から発信する防災・災害情報の入手手段（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「防災行政無線」は、女性 50～59 歳が 65.7%、男性 60～64 歳が 64.9%、女性 65～74 歳が 64.8%と高くなっている。
- ・ 「川口市ホームページ」は、女性 30～39 歳が 45.9%、男性 30～39 歳が 39.5%、女性 40～49 歳が 38.3%と高くなっている。
- ・ 「川口市メールサービス(きらり川口情報メール等)」は、女性 40～49 歳が 34.1%と高くなっている。

【市から発信する防災・災害情報の入手手段（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
防災行政無線	54.9	★ 39.4	▲ 48.8	52.4	59.7	△ 64.9	59.5	▲ 48.5
テレビのデータ放送	33.1	△ 42.3	36.0	33.7	▲ 26.4	31.6	36.5	△ 38.6
川口市ホームページ	28.1	△ 34.6	○ 39.5	32.5	27.9	26.3	▲ 19.8	★ 10.9
川口市メールサービス (きらり川口情報メール等)	17.8	● 5.8	▲ 11.6	△ 23.5	13.2	▲ 12.3	18.3	▲ 7.9
防災行政無線無料テレホン サービス (0800-800-4344)	2.3	1.0	2.3	1.2	0.0	1.8	5.6	6.9
その他	10.3	6.7	12.8	10.8	11.6	10.5	13.5	14.9
無回答	6.9	6.7	2.3	4.8	3.9	5.3	6.3	10.9

【市から発信する防災・災害情報の入手手段（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
防災行政無線	54.9	▲ 48.3	50.5	55.1	○ 65.7	56.6	△ 64.8	52.7
テレビのデータ放送	33.1	37.1	32.7	29.9	▲ 25.8	▲ 27.6	33.3	37.3
川口市ホームページ	28.1	27.8	☆ 45.9	○ 38.3	29.3	● 15.8	★ 11.7	★ 9.1
川口市メールサービス (きらり川口情報メール等)	17.8	▲ 7.9	20.9	☆ 34.1	21.7	17.1	20.4	▲ 8.2
防災行政無線無料テレホン サービス (0800-800-4344)	2.3	1.3	0.5	0.0	1.0	1.3	2.5	△ 9.1
その他	10.3	11.9	9.7	7.5	9.1	9.2	13.0	7.3
無回答	6.9	6.6	5.6	3.3	3.0	△ 14.5	9.9	○ 17.3

3) 市から発信する防災・災害情報の入手手段（地域別）

- ・ 地域別にみると、「防災行政無線」は、安行地域が 67.0%、青木地域が 62.4%と高くなっている。
- ・ 「川口市メールサービス（きらり川口情報メール等）」は、神根地域が 23.8%と高くなっている。

【市から発信する防災・災害情報の入手手段（地域別）】

(%)

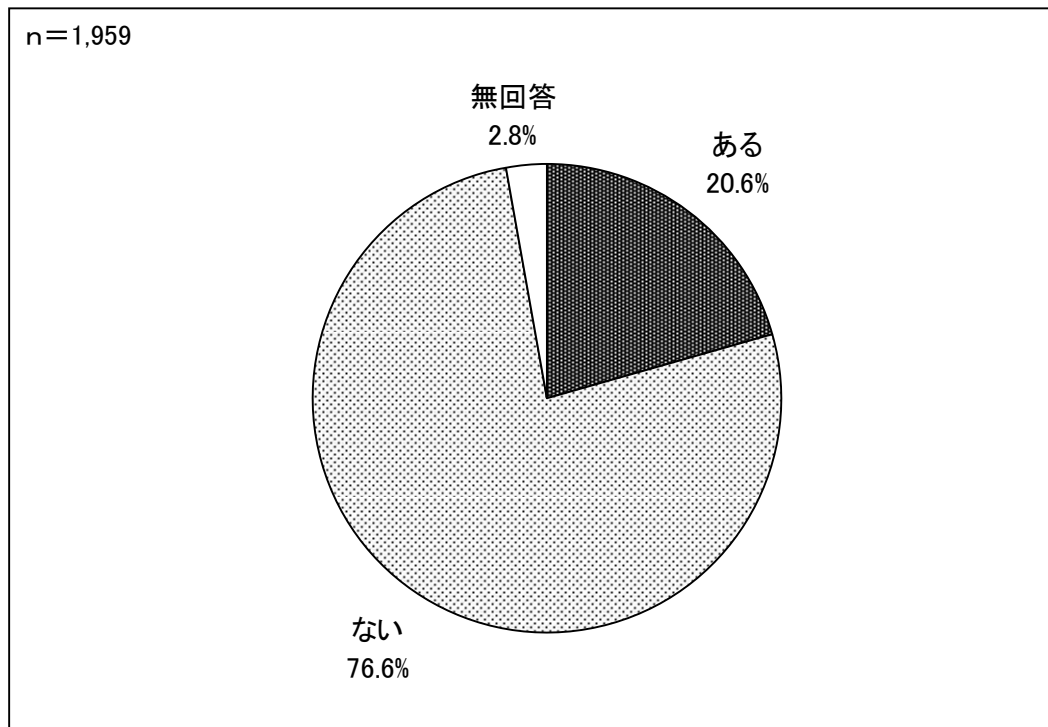
	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
防災行政無線	54.9	53.3	52.1	△ 62.4	54.7	51.9	57.6	▲ 49.2	○ 67.0	52.4	56.9
テレビのデータ放送	33.1	30.0	32.7	33.8	33.6	37.7	▲ 26.5	33.9	30.4	32.0	38.1
川口市ホームページ	28.1	32.2	30.3	26.5	28.5	▲ 22.6	▲ 21.2	25.2	▲ 22.6	27.1	△ 37.6
川口市メールサービス （きらり川口情報メール等）	17.8	22.8	15.6	17.1	17.8	17.0	△ 23.8	14.0	20.0	18.7	17.3
防災行政無線無料テレフォン サービス（0800-800-4344）	2.3	0.6	3.8	1.3	2.8	4.7	0.0	3.7	2.6	0.9	2.5
その他	10.3	9.4	10.9	10.3	7.9	12.3	11.3	10.3	10.4	12.4	8.6
無回答	6.9	4.4	5.7	6.8	7.9	10.4	6.0	9.5	2.6	6.2	5.1

19. 食中毒の経験

1) 食中毒の経験

- 食中毒の経験について、「ある」が20.6%、「ない」が76.6%となっている。

【食中毒の経験（全体）】



2) 食中毒の経験（性別、性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「ある」は、男性 30～39 歳が 31.4%と高くなっている。
- ・ 「ない」は、女性 65～74 歳が 88.9%、女性 75 歳以上が 88.2%と高くなっている。

【食中毒の経験（性別、性・年齢別）】

		(人)				(%)
		合計	ある	ない	無回答	
全体		1,959	20.6	76.6	2.8	
男性		771	22.8	75.1	2.1	
女性		1,109	19.3	77.6	3.1	
男性	18～29歳	104	21.2	75.0	3.8	
	30～39歳	86	○ 31.4	● 66.3	2.3	
	40～49歳	166	△ 29.5	▲ 69.9	0.6	
	50～59歳	129	△ 26.4	72.9	0.8	
	60～64歳	57	24.6	73.7	1.8	
	65～74歳	126	▲ 13.5	△ 84.9	1.6	
	75歳以上	101	▲ 11.9	△ 83.2	5.0	
女性	18～29歳	151	18.5	74.8	6.6	
	30～39歳	196	△ 26.0	73.5	0.5	
	40～49歳	214	△ 29.9	▲ 68.2	1.9	
	50～59歳	198	22.7	75.8	1.5	
	60～64歳	76	● 10.5	△ 85.5	3.9	
	65～74歳	162	● 7.4	○ 88.9	3.7	
	75歳以上	110	★ 5.5	○ 88.2	6.4	

3) 食中毒の経験（地域別）

- ・ 地域別にみると、「ある」は、横曽根地域が27.0%と高くなっている。
- ・ 「ない」は、新郷地域が83.0%と高くなっている。

【食中毒の経験（地域別）】

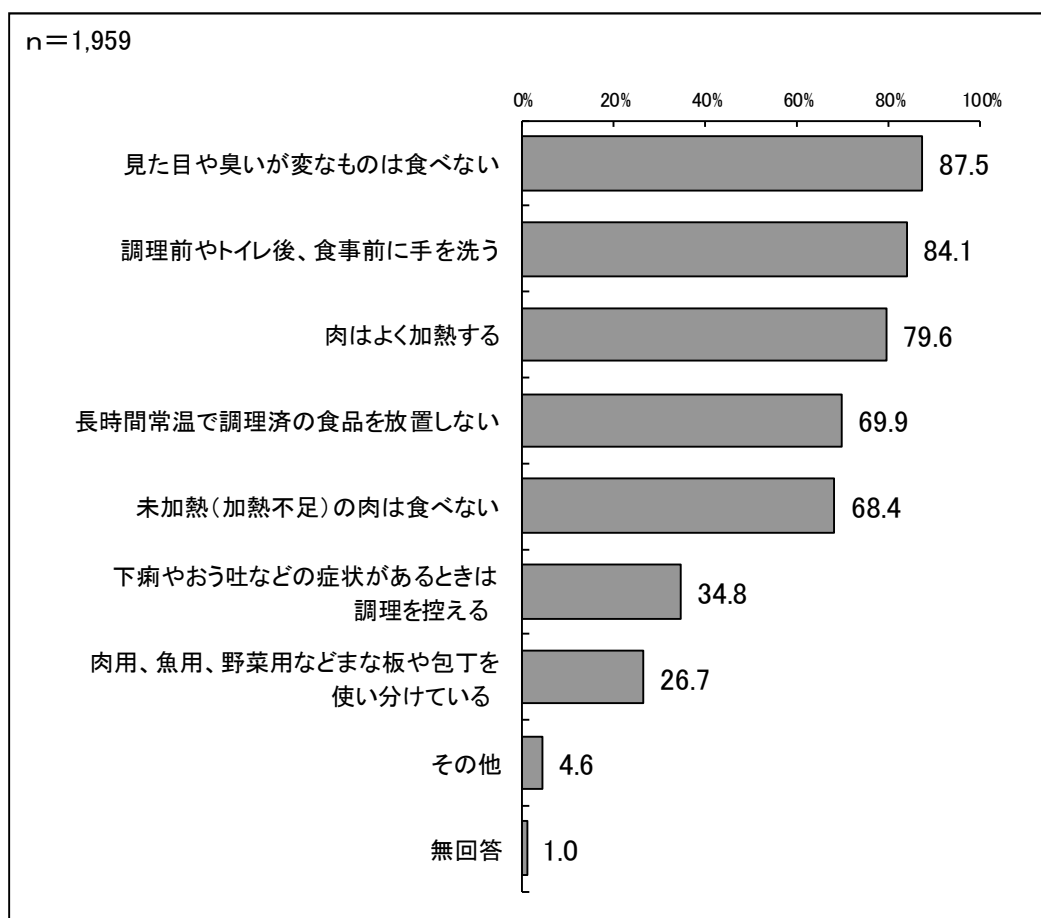
	(人)		(%)	
	合計	ある	ない	無回答
全体	1,959	20.6	76.6	2.8
中央地域	180	20.0	77.8	2.2
横曽根地域	211	△ 27.0	▲ 71.1	1.9
青木地域	234	17.5	80.3	2.1
南平地域	214	17.3	80.8	1.9
新郷地域	106	▲ 14.2	△ 83.0	2.8
神根地域	151	18.5	80.1	1.3
芝地域	242	19.8	76.0	4.1
安行地域	115	20.9	77.4	1.7
戸塚地域	225	24.0	72.0	4.0
鳩ヶ谷地域	197	24.4	73.1	2.5

20. 食中毒予防で気を付けていること

1) 食中毒予防で気を付けていること

- 食中毒予防で気を付けていることについて、「見た目や臭いに変なものは食べない」が87.5%と最も高く、次いで、「調理前やトイレ後、食事前に手を洗う」が84.1%、「肉はよく加熱する」が79.6%、「長時間常温で調理済の食品を放置しない」が69.9%となっている。

【食中毒予防で気を付けていること（全体）】



2) 食中毒予防で気を付けていること（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「肉はよく加熱する」は、女性 30～39 歳が 90.3%、女性 40～49 歳が 90.2%と高くなっている。
- ・ 「長時間常温で調理済の食品を放置しない」は、女性 65～74 歳が 83.3%と高くなっている。
- ・ 「未加熱（加熱不足）の肉は食べない」は、女性 60～64 歳が 81.6%と高くなっている。
- ・ 「下痢やおう吐などの症状があるときは調理を控える」は、女性 65～74 歳が 50.6%、女性 75 歳以上が 46.4%と高くなっている。

【食中毒予防で気を付けていること（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
見た目や臭いに変なもの食べない	87.5	● 76.0	▲ 77.9	84.9	85.3	91.2	88.1	88.1
調理前やトイレ後、食事前に手を洗う	84.1	● 69.2	▲ 76.7	▲ 76.5	▲ 77.5	80.7	80.2	83.2
肉はよく加熱する	79.6	76.9	▲ 74.4	▲ 73.5	● 67.4	★ 61.4	● 68.3	● 68.3
長時間常温で調理済の食品を放置しない	69.9	★ 51.0	67.4	▲ 61.4	▲ 61.2	68.4	73.8	66.3
未加熱（加熱不足）の肉は食べない	68.4	▲ 61.5	▲ 59.3	● 56.6	● 56.6	▲ 61.4	● 57.1	▲ 62.4
下痢やおう吐などの症状があるときは調理を控える	34.8	● 20.2	▲ 27.9	▲ 27.7	▲ 27.1	31.6	31.7	△ 44.6
肉用、魚用、野菜用などまな板や包丁を使い分けている	26.7	● 15.4	24.4	24.7	▲ 17.8	26.3	▲ 20.6	25.7
その他	4.6	3.8	2.3	3.6	4.7	3.5	3.2	5.0
無回答	1.0	1.9	0.0	0.6	0.8	0.0	1.6	1.0

【食中毒予防で気を付けていること（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
見た目や臭いに変なもの食べない	87.5	86.1	90.3	91.6	89.9	△ 93.4	△ 93.2	83.6
調理前やトイレ後、食事前に手を洗う	84.1	▲ 78.1	△ 91.3	88.3	△ 90.4	△ 92.1	△ 93.8	87.3
肉はよく加熱する	79.6	△ 89.4	○ 90.3	○ 90.2	83.3	84.2	84.0	75.5
長時間常温で調理済の食品を放置しない	69.9	● 58.9	68.4	△ 77.6	△ 79.8	△ 77.6	○ 83.3	△ 75.5
未加熱（加熱不足）の肉は食べない	68.4	65.6	71.9	△ 75.7	△ 76.8	○ 81.6	△ 78.4	△ 74.5
下痢やおう吐などの症状があるときは調理を控える	34.8	● 23.2	33.7	37.9	37.4	35.5	☆ 50.6	○ 46.4
肉用、魚用、野菜用などまな板や包丁を使い分けている	26.7	25.2	25.5	△ 35.5	29.8	○ 36.8	△ 33.3	23.6
その他	4.6	2.0	3.6	6.1	6.1	7.9	3.7	7.3
無回答	1.0	0.7	0.0	0.0	0.5	1.3	0.0	3.6

3) 食中毒予防で気を付けていること（地域別）

- ・ 地域別にみると、「長時間常温で調理済の食品を放置しない」は、中央地域が76.1%、横曽根地域が75.8%と高くなっている。
- ・ 「未加熱（加熱不足）の肉は食べない」は、中央地域が75.0%と高くなっている。

【食中毒予防で気を付けていること（地域別）】

(%)

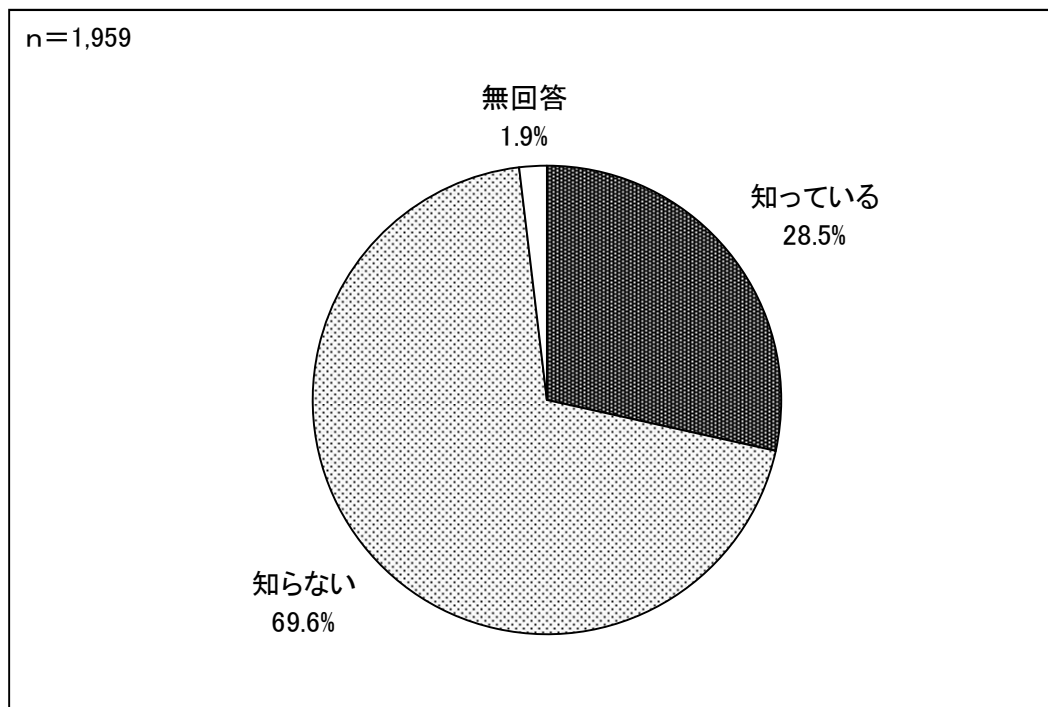
	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
見た目や臭いに変なものは食べない	87.5	89.4	86.7	88.0	88.3	▲ 81.1	84.1	88.0	88.7	88.9	88.8
調理前やトイレ後、食事前に手を洗う	84.1	87.8	83.4	84.2	85.5	80.2	84.8	83.9	88.7	80.4	84.8
肉はよく加熱する	79.6	84.4	76.8	82.1	81.3	77.4	75.5	79.3	80.9	79.1	80.7
長時間常温で調理済の食品を放置しない	69.9	△ 76.1	△ 75.8	71.8	70.6	65.1	68.2	70.2	67.0	64.9	67.5
未加熱（加熱不足）の肉は食べない	68.4	△ 75.0	63.5	69.7	66.8	▲ 63.2	70.2	69.8	70.4	▲ 62.2	72.6
下痢やおう吐などの症状があるときは調理を控える	34.8	37.2	30.3	37.6	36.0	32.1	33.1	33.9	39.1	32.4	35.5
肉用、魚用、野菜用などまな板や包丁を使い分けている	26.7	30.6	29.9	24.4	29.4	21.7	25.2	28.1	31.3	27.1	▲ 19.3
その他	4.6	5.6	3.3	3.4	3.7	5.7	7.3	4.1	4.3	6.2	4.6
無回答	1.0	0.6	0.0	0.4	0.5	0.9	2.0	1.2	0.0	0.9	0.0

2 1. 食中毒の予防3原則の認知度

1) 食中毒の予防3原則の認知度

- 食中毒の予防3原則（つけない、増やさない、やっつける）の認知度について、「知っている」が28.5%、「知らない」が69.6%となっている。

【食中毒の予防3原則の認知度（全体）】



2) 食中毒の予防3原則の認知度（性別、性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「知っている」は、女性 18～29 歳が 39.7%と高くなっている。
- ・ 「知らない」は、男性 30～39 歳が 83.7%、男性 40～49 歳が 80.1%と高くなっている。

【食中毒の予防3原則の認知度（性別、性・年齢別）】

		(人)				(%)
		合計	知っている	知らない	無回答	
全体		1,959	28.5	69.6	1.9	
男性		771	▲ 22.4	△ 76.5	1.0	
女性		1,109	32.6	65.3	2.1	
男 性	18～29歳	104	24.0	△ 75.0	1.0	
	30～39歳	86	● 16.3	○ 83.7	0.0	
	40～49歳	166	▲ 19.9	○ 80.1	0.0	
	50～59歳	129	▲ 20.9	△ 78.3	0.8	
	60～64歳	57	▲ 21.1	△ 78.9	0.0	
	65～74歳	126	27.8	70.6	1.6	
	75歳以上	101	25.7	70.3	4.0	
女 性	18～29歳	151	○ 39.7	▲ 59.6	0.7	
	30～39歳	196	28.6	71.4	0.0	
	40～49歳	214	27.6	72.4	0.0	
	50～59歳	198	30.8	67.2	2.0	
	60～64歳	76	△ 34.2	▲ 61.8	3.9	
	65～74歳	162	△ 35.2	▲ 62.3	2.5	
	75歳以上	110	△ 38.2	★ 51.8	△ 10.0	

3) 食中毒の予防3原則の認知度（地域別）

- ・ 地域別にみると、「知っている」は、南平地域が 35.5%、安行地域が 33.9%と高くなっている。

【食中毒の予防3原則の認知度（地域別）】

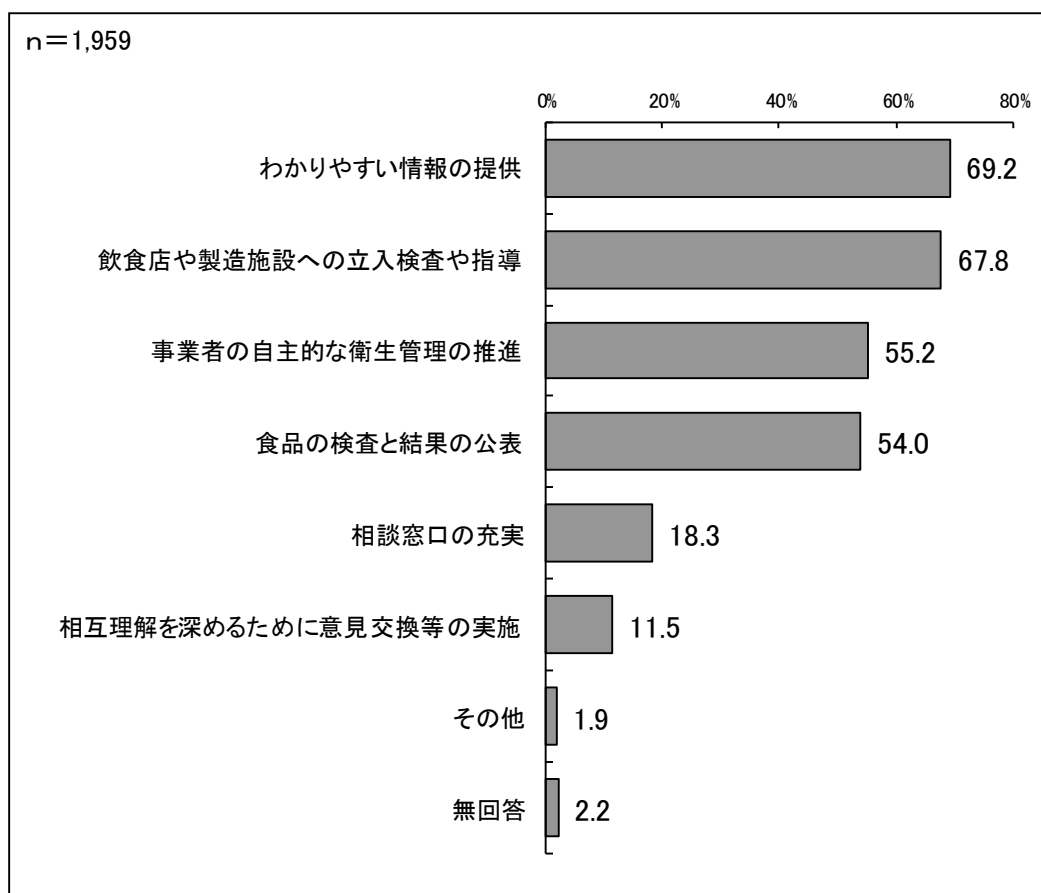
	(人)		(%)	
	合計	知っている	知らない	無回答
全体	1,959	28.5	69.6	1.9
中央地域	180	26.7	72.2	1.1
横曽根地域	211	30.8	68.2	0.9
青木地域	234	27.4	72.2	0.4
南平地域	214	△ 35.5	▲ 63.6	0.9
新郷地域	106	25.5	71.7	2.8
神根地域	151	26.5	72.2	1.3
芝地域	242	25.2	71.9	2.9
安行地域	115	△ 33.9	▲ 63.5	2.6
戸塚地域	225	28.4	69.3	2.2
鳩ヶ谷地域	197	25.9	72.1	2.0

2.2. 食品衛生の推進に重要なこと

1) 食品衛生の推進に重要なこと

- 食品衛生の推進に重要なことについて、「わかりやすい情報の提供」が 69.2%と最も高く、次いで、「飲食店や製造施設への立入検査や指導」が 67.8%、「事業者の自主的な衛生管理の推進」が 55.2%、「食品の検査と結果の公表」が 54.0%となっている。

【食品衛生の推進に重要なこと（全体）】



２）食品衛生の推進に重要なこと（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「事業者の自主的な衛生管理の推進」は、女性 60～64 歳が 72.4%、女性 65～74 歳が 67.9%と高くなっている。

【食品衛生の推進に重要なこと（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
わかりやすい情報の提供	69.2	71.2	● 58.1	71.7	69.8	71.9	68.3	★ 52.5
飲食店や製造施設への立入検査や指導	67.8	▲ 59.6	68.6	▲ 60.2	▲ 60.5	▲ 57.9	69.8	71.3
事業者の自主的な衛生管理の推進	55.2	● 42.3	★ 38.4	▲ 48.2	▲ 49.6	56.1	57.9	55.4
食品の検査と結果の公表	54.0	▲ 48.1	△ 64.0	54.2	▲ 48.1	57.9	52.4	▲ 48.5
相談窓口の充実	18.3	▲ 11.5	▲ 11.6	14.5	19.4	19.3	19.0	▲ 12.9
相互理解を深めるために意見交換等の実施	11.5	7.7	16.3	12.0	10.1	● 0.0	11.1	15.8
その他	1.9	1.9	4.7	1.8	2.3	5.3	1.6	5.0
無回答	2.2	2.9	1.2	0.6	2.3	0.0	2.4	4.0

【食品衛生の推進に重要なこと（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
わかりやすい情報の提供	69.2	67.5	△ 76.0	△ 78.0	67.7	73.7	68.5	▲ 62.7
飲食店や製造施設への立入検査や指導	67.8	66.2	△ 77.0	65.0	△ 76.3	68.4	△ 74.1	▲ 61.8
事業者の自主的な衛生管理の推進	55.2	▲ 47.7	57.1	50.9	△ 63.1	☆ 72.4	○ 67.9	△ 64.5
食品の検査と結果の公表	54.0	49.7	△ 61.2	50.9	56.6	57.9	△ 61.7	▲ 47.3
相談窓口の充実	18.3	13.9	20.4	16.4	23.2	17.1	△ 24.1	21.8
相互理解を深めるために意見交換等の実施	11.5	13.9	14.3	7.5	10.6	11.8	11.7	13.6
その他	1.9	0.0	0.5	0.0	3.0	0.0	0.6	3.6
無回答	2.2	2.0	0.0	2.3	2.0	1.3	1.9	6.4

3) 食品衛生の推進に重要なこと（地域別）

- ・ 地域別にみると、「飲食店や製造施設への立入検査や指導」は、横曽根地域が73.0%と高くなっている。
- ・ 「相談窓口の充実」は、中央地域が26.1%と高くなっている。

【食品衛生の推進に重要なこと（地域別）】

(%)

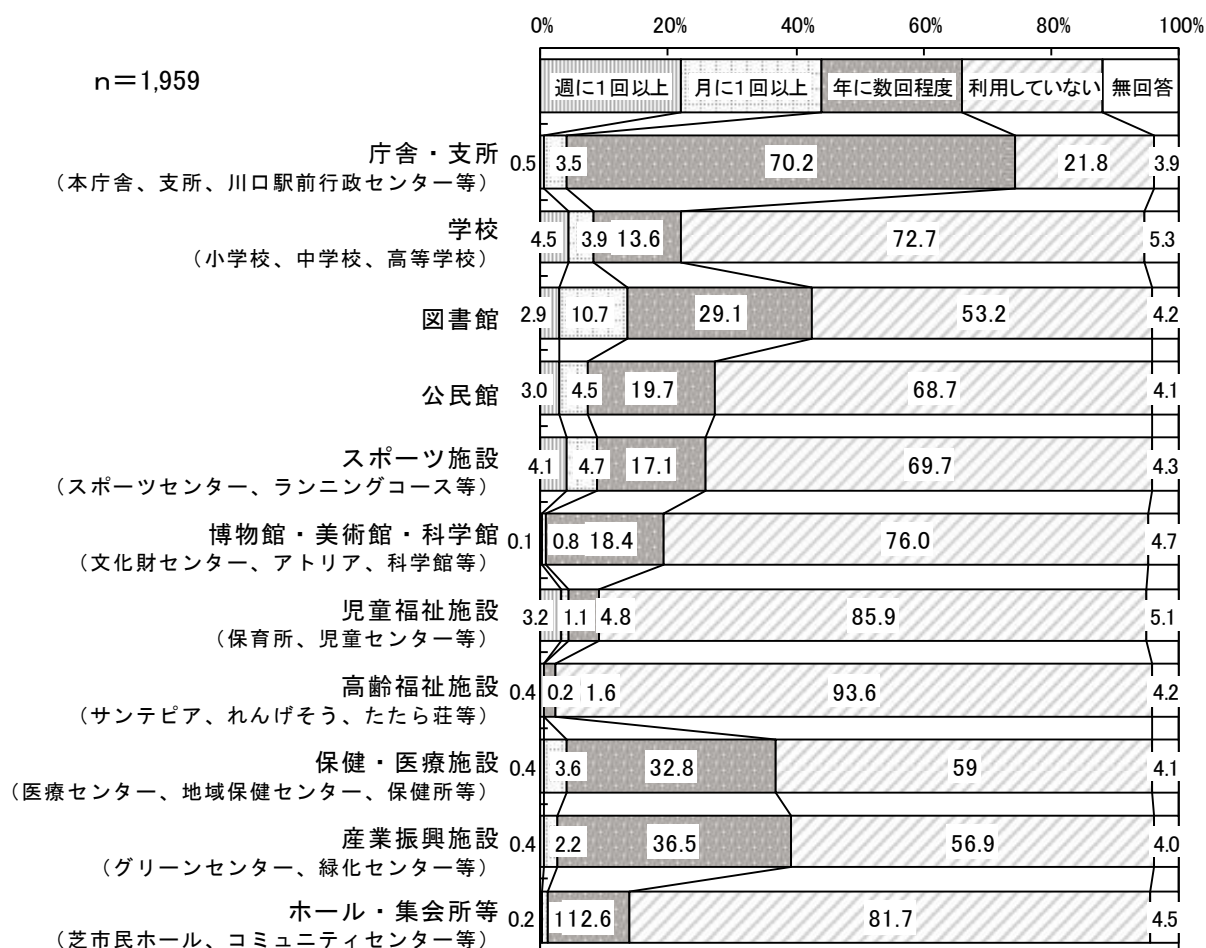
	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
わかりやすい情報の提供	69.2	69.4	68.7	65.0	67.8	73.6	68.9	69.0	68.7	72.4	70.1
飲食店や製造施設への立入検査 や指導	67.8	70.0	△ 73.0	68.8	68.7	▲ 59.4	66.2	63.6	71.3	66.2	71.1
事業者の自主的な衛生管理の 推進	55.2	50.6	▲ 49.8	58.5	56.1	59.4	▲ 49.7	54.1	59.1	55.6	57.9
食品の検査と結果の公表	54.0	57.8	57.3	53.4	57.9	58.5	53.6	50.8	53.9	49.3	51.8
相談窓口の充実	18.3	△ 26.1	17.5	▲ 13.2	21.0	16.0	15.2	18.6	19.1	17.3	15.7
相互理解を深めるために意見 交換等の実施	11.5	14.4	10.0	11.1	14.0	8.5	11.3	11.6	11.3	11.6	9.6
その他	1.9	3.3	1.9	0.9	0.5	2.8	1.3	2.9	0.0	1.8	3.6
無回答	2.2	1.7	1.4	0.9	2.8	4.7	2.0	3.7	0.9	1.8	2.0

2 3. 川口市の公共施設の利用頻度

1) 川口市の公共施設の利用頻度

- 川口市の公共施設の利用頻度について、月に1回以上（「週に1回以上」＋「月に1回以上」）利用する施設は「図書館」が13.5%と最も高く、次いで、「スポーツ施設（スポーツセンター、ランニングコース等）」が8.9%、「学校（小学校、中学校、高等学校）」が8.4%、「公民館」が7.6%などの順となっている。
- 年に数回以上（「週に1回以上」＋「月に1回以上」＋「年に数回程度」）利用する施設は「庁舎・支所（本庁舎、支所、川口駅前行政センター等）」が74.2%と最も高く、次いで、「図書館」が42.6%、「産業振興施設（グリーンセンター、緑化センター等）」が39.2%、「保健・医療施設（医療センター、地域保健センター、保健所等）」が36.9%などの順となっている。

【川口市の公共施設の利用頻度（全体）】



2) 川口市の公共施設の利用頻度（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、月に1回以上（「週に1回以上」＋「月に1回以上」）利用する施設では、「図書館」は、女性40～49歳が18.7%と高くなっている。
- ・ 「スポーツ施設（スポーツセンター、ランニングコース等）」は、男性30～39歳が14.0%と高くなっている。
- ・ 「学校（小学校、中学校、高等学校）」は、女性40～49歳が25.7%、女性30～39歳が13.8%と高くなっている。
- ・ 「公民館」は、女性75歳以上が25.5%、女性65～74歳が13.6%と高くなっている。
- ・ 「児童福祉施設（保育所、児童センター等）」は、女性30～39歳が17.9%、男性30～39歳が12.8%と高くなっている。

【川口市の公共施設の利用頻度〔月に1回以上利用〕（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
庁舎・支所	4.0	1.0	3.5	4.2	3.1	3.5	6.3	△ 9.9
学校	8.4	7.7	9.3	9.0	3.9	3.5	▲ 1.6	▲ 2.0
図書館	13.5	10.6	9.3	16.9	13.2	17.5	15.1	14.9
公民館	7.6	▲ 1.9	3.5	4.8	▲ 1.6	▲ 1.8	9.5	11.9
スポーツ施設	8.9	8.7	△ 14.0	12.0	10.1	8.8	11.9	7.9
博物館・美術館・科学館	0.9	1.9	1.2	0.6	0.8	1.8	0.0	1.0
児童福祉施設	4.2	1.9	△ 12.8	3.6	1.6	3.5	0.8	0.0
高齢福祉施設	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
保健・医療施設	4.0	2.9	5.8	5.4	4.7	0.0	5.6	6.9
産業振興施設	2.7	3.8	3.5	3.6	0.8	3.5	2.4	5.0
ホール・集会所等	1.2	1.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	3.0

【川口市の公共施設の利用頻度〔月に1回以上利用〕（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
庁舎・支所	4.0	4.0	2.0	2.8	4.0	3.9	5.6	2.7
学校	8.4	4.0	△ 13.8	☆ 25.7	11.6	5.3	▲ 1.9	▲ 0.0
図書館	13.5	9.3	16.3	△ 18.7	11.6	15.8	12.3	▲ 7.3
公民館	7.6	2.6	7.7	6.1	7.6	9.2	△ 13.6	☆ 25.5
スポーツ施設	8.9	4.0	8.7	9.8	6.1	6.6	10.5	8.2
博物館・美術館・科学館	0.9	0.7	0.5	0.5	0.5	2.6	0.6	0.9
児童福祉施設	4.2	5.3	○ 17.9	4.2	1.0	1.3	1.2	0.0
高齢福祉施設	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	3.6
保健・医療施設	4.0	4.0	3.1	2.8	2.5	2.6	3.7	5.5
産業振興施設	2.7	1.3	3.6	1.9	2.5	1.3	1.9	4.5
ホール・集会所等	1.2	0.0	1.0	0.5	2.0	2.6	2.5	0.9

3) 川口市の公共施設の利用頻度（地域別）

- ・ 地域別にみると、月に1回以上（「週に1回以上」＋「月に1回以上」）利用する施設では、「図書館」は、中央地域が25.6%と高くなっている。
- ・ 「スポーツ施設（スポーツセンター、ランニングコース等）」は、青木地域が12.4%とやや高くなっている。
- ・ 「学校（小学校、中学校、高等学校）」は、安行地域が16.5%と高くなっている。
- ・ 「公民館」は、神根地域が11.3%、南平地域が11.2%とやや高くなっている。
- ・ 「児童福祉施設（保育所、児童センター等）」は、戸塚地域が7.1%とやや高くなっている。
- ・ 「庁舎・支所（本庁舎、支所、川口駅前行政センター等）」は、新郷地域が8.5%とやや高くなっている。

【川口市の公共施設の利用頻度〔月に1回以上利用〕（地域別）】

(%)

	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
庁舎・支所	4.0	2.2	2.8	4.3	4.2	8.5	4.0	3.7	4.3	4.9	4.1
学校	8.4	9.4	7.1	6.8	10.7	4.7	9.9	5.4	△ 16.5	7.6	10.2
図書館	13.5	○ 25.6	18.5	12.0	10.3	10.4	9.9	11.2	11.3	14.2	10.2
公民館	7.6	8.3	10.0	7.3	11.2	6.6	11.3	6.2	4.3	3.6	6.6
スポーツ施設	8.9	7.8	11.4	12.4	7.5	5.7	10.6	6.6	7.8	9.8	8.6
博物館・美術館・科学館	0.9	1.7	0.9	1.7	0.9	0.0	0.7	0.4	0.9	0.9	0.0
児童福祉施設	4.2	2.2	4.3	6.0	3.3	3.8	0.7	3.7	5.2	7.1	6.6
高齢福祉施設	0.6	0.0	0.5	0.9	1.4	0.9	0.7	0.8	0.9	0.0	0.0
保健・医療施設	4.0	2.2	3.8	6.4	3.3	5.7	4.6	2.9	2.6	3.6	4.6
産業振興施設	2.7	1.1	1.4	3.8	1.9	3.8	4.0	2.1	6.1	2.7	3.0
ホール・集会所等	1.2	1.7	1.9	0.4	0.9	0.9	0.7	0.4	1.7	0.4	2.5

2 4. 川口市の公共施設を利用していない理由

1) 川口市の公共施設を利用していない理由

- 川口市の公共施設を利用していない理由について、「施設の存在を知らない」では、「博物館・美術館・科学館（文化財センター、アトリア、科学館等）」が9.9%、「スポーツ施設（スポーツセンター、ランニングコース等）」が4.2%となっている。
- 「サービス内容を知らない」では、「公民館」が4.0%、「博物館・美術館・科学館（文化財センター、アトリア、科学館等）」が3.4%、「スポーツ施設（スポーツセンター、ランニングコース等）」が3.1%となっている。

【川口市の公共施設を利用していない理由（全体）】

(%)

	n (利用していない)	利用 する 機会 がない	施設 の存在 を知らない	サ ー ビ ス 内 容 を 知らない	利用 時間 に不満	利用 料金 に不満	設備 に不満	民間・他市類似施設を利用	アクセスが不便	無回答
庁舎・支所 (本庁舎、支所、川口駅前行政センター等)	428	90.0	0.5	1.4	0.7	0.2	0.0	0.0	2.6	4.7
学校 (小学校、中学校、高等学校)	1,425	93.7	0.6	1.7	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	3.7
図書館	1,042	80.9	3.2	1.3	0.6	0.0	1.1	0.7	7.5	4.8
公民館	1,345	87.9	1.7	4.0	0.1	0.1	0.3	0.2	1.5	4.2
スポーツ施設 (スポーツセンター、ランニングコース等)	1,365	78.7	4.2	3.1	0.9	0.4	1.1	1.8	5.3	4.5
博物館・美術館・科学館 (文化財センター、アトリア、科学館等)	1,489	75.9	9.9	3.4	0.1	0.1	0.4	1.8	4.4	4.0
児童福祉施設 (保育所、児童センター等)	1,683	92.5	1.2	1.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.8	4.3
高齢福祉施設 (サンテピア、れんげそう、たたら荘等)	1,833	90.3	1.9	2.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.7	4.7
保健・医療施設 (医療センター、地域保健センター、保健所等)	1,156	86.9	1.7	2.1	0.2	0.1	0.0	2.4	2.1	4.5
産業振興施設 (グリーンセンター、緑化センター等)	1,114	83.8	2.0	2.2	0.2	0.3	0.3	0.8	6.2	4.2
ホール・集会所等 (芝市民ホール、コミュニティセンター等)	1,601	88.6	2.6	2.4	0.1	0.0	0.0	0.2	1.2	4.9

2) 川口市の公共施設を利用していない理由（地域別）

- ・ 地域別にみると、『庁舎・支所（本庁舎、支所、川口駅前行政センター等）』では、「利用する機会がない」は、安行地域が 100.0%、中央地域が 96.8%、戸塚地域が 96.5%と高くなっている。
- ・ 「アクセスが不便」は、芝地域が 5.6%と高くなっている。
- ・ 「サービス内容を知らない」は、神根地域が 5.9%と高くなっている。
- ・ 「利用時間に不満」は、芝地域が 3.7%と高くなっている。
- ・ 『学校（小学校、中学校、高等学校）』では、地域による大きな差はみられない。

【川口市の公共施設を利用していない理由（地域別） その1】

		(%)								
		n (利用していない)	利用する機会がない	施設の存在を知らない	サービス内容を知らない	利用時間に不満	利用料金に不満	設備に不満	民間・他市類似施設を利用	アクセスが不便
庁舎・支所	全体	428	90.0	0.5	1.4	0.7	0.2	0.0	0.0	2.6
	中央	31	△ 96.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
	横曽根	41	90.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	青木	56	91.1	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
	南平	48	▲ 83.3	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2
	新郷	22	90.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	神根	34	88.2	2.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9
	芝	54	87.0	0.0	1.9	3.7	0.0	0.0	0.0	5.6
	安行	25	△ 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	戸塚	57	△ 96.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	鳩ヶ谷	42	85.7	0.0	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0
学校	全体	1,425	93.7	0.6	1.7	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1
	中央	132	96.2	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	横曽根	163	93.3	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	青木	174	94.8	0.6	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南平	152	90.8	0.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	新郷	78	96.2	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
	神根	101	95.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	芝	186	90.9	1.1	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	安行	76	96.1	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	戸塚	164	94.5	0.6	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	鳩ヶ谷	137	92.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0

- ・『図書館』では、「利用する機会がない」は、中央地域が89.1%、青木地域が88.5%と高くなっている。
- ・「アクセスが不便」は、芝地域、安行地域がともに11.6%と高くなっている。
- ・「施設の存在を知らない」は、横曽根地域が8.2%、南平地域が4.4%と高くなっている。
- ・「利用時間に不満」は、横曽根地域が4.1%と高くなっている。
- ・『公民館』では、「施設の存在を知らない」は、横曽根地域が4.4%と高くなっている。

【川口市の公共施設を利用していない理由（地域別） その2】

		(%)								
		n (利用していない)	利用する機会がない	施設の存在を知らない	サービス内容を知らない	利用時間に不満	利用料金に不満	設備に不満	民間・他市類似施設を利用	アクセスが不便
図書館	全体	1,042	80.9	3.2	1.3	0.6	0.0	1.1	0.7	7.5
	中央	55	△ 89.1	0.0	0.0	1.8	0.0	1.8	0.0	5.5
	横曽根	98	▲ 73.5	8.2	2.0	4.1	0.0	2.0	0.0	3.1
	青木	131	△ 88.5	3.1	0.8	0.8	0.0	1.5	0.0	▲ 1.5
	南平	114	81.6	4.4	1.8	0.0	0.0	1.8	0.0	6.1
	新郷	60	78.3	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	10.0
	神根	87	81.6	2.3	0.0	0.0	0.0	1.1	2.3	8.0
	芝	155	76.1	3.9	3.9	0.0	0.0	1.3	0.0	11.6
	安行	69	81.2	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.6
	戸塚	105	81.0	1.9	1.0	0.0	0.0	0.0	1.9	10.5
	鳩ヶ谷	121	81.0	2.5	0.8	0.0	0.0	0.8	0.8	8.3
公民館	全体	1,345	87.9	1.7	4.0	0.1	0.1	0.3	0.2	1.5
	中央	121	83.5	2.5	6.6	0.0	0.0	1.7	0.8	2.5
	横曽根	137	85.4	4.4	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	青木	159	91.8	0.6	3.1	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6
	南平	142	87.3	0.7	2.8	0.0	0.7	0.0	0.0	2.1
	新郷	81	87.7	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
	神根	97	84.5	0.0	4.1	1.0	0.0	0.0	1.0	2.1
	芝	170	88.8	2.9	3.5	0.0	0.0	0.0	0.6	1.8
	安行	83	89.2	1.2	3.6	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0
	戸塚	152	88.8	2.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
	鳩ヶ谷	148	90.5	0.7	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7

- 『スポーツ施設（スポーツセンター、ランニングコース等）』では、「利用する機会がない」は、安行地域が 89.5%、新郷地域が 86.5%、青木地域が 83.9%と高くなっている。
- 「施設の利用を知らない」は、中央地域が 9.4%、横曽根地域が 7.3%と高くなっている。
- 「施設の利用を知らない」は、中央地域が 9.4%と高くなっている。
- 「サービス内容を知らない」は、芝地域が 7.6%と高くなっている。
- 『博物館・美術館・科学館（文化財センター、アトリア、科学館等）』では、「利用する機会がない」は、青木地域が 84.2%と高くなっている。
- 「施設の利用を知らない」は、中央地域が 14.7%、横曽根地域が 14.6%と高くなっている。
- 「アクセスが不便」は、安行地域が 10.5%と高くなっている。
- 「民間・他市類似施設を利用」は、新郷地域が 5.1%と高くなっている。

【川口市の公共施設を利用していない理由（地域別） その3】

		n (利用していない)	利用 する 機会 がない	施設 の 存在 を 知らない	サ ー ビ ス 内 容 を 知らない	利用 時間 に 不満	利用 料金 に 不満	設備 に 不満	民間 ・ 他 市 類似 施設 を利用	ア ク セ ス が 不便
スポーツ施設	全体	1,365	78.7	4.2	3.1	0.9	0.4	1.1	1.8	5.3
	中央	128	▲ 70.3	△ 9.4	3.9	0.8	0.8	0.0	2.3	9.4
	横曽根	150	75.3	7.3	2.0	0.7	0.0	2.7	2.0	3.3
	青木	155	△ 83.9	1.9	3.2	1.9	0.0	0.6	0.0	3.2
	南平	156	79.5	5.1	3.2	0.0	0.0	0.6	0.6	5.1
	新郷	74	△ 86.5	0.0	2.7	2.7	1.4	2.7	0.0	▲ 0.0
	神根	98	82.7	3.1	0.0	0.0	0.0	2.0	3.1	6.1
	芝	185	▲ 71.9	3.8	7.6	1.1	0.0	1.1	3.2	8.1
	安行	76	○ 89.5	1.3	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	5.3
	戸塚	146	78.1	2.1	3.4	0.7	1.4	1.4	2.7	4.8
	鳩ヶ谷	140	78.6	5.0	1.4	0.7	0.7	0.0	2.1	7.1
博物館・ 美術館・ 科学館	全体	1,489	75.9	9.9	3.4	0.1	0.1	0.4	1.8	4.4
	中央	129	72.1	14.7	3.1	0.0	0.8	0.0	2.3	4.7
	横曽根	157	▲ 70.7	14.6	5.7	0.0	0.0	0.0	1.3	1.9
	青木	171	△ 84.2	7.6	2.3	0.0	0.0	1.2	1.2	1.8
	南平	168	△ 81.0	7.1	3.6	0.0	0.0	0.6	0.6	2.4
	新郷	79	75.9	7.6	1.3	1.3	0.0	0.0	5.1	3.8
	神根	116	△ 81.0	5.2	2.6	0.0	0.0	0.9	4.3	1.7
	芝	193	71.0	13.0	3.6	0.0	0.0	0.5	1.6	7.3
	安行	86	79.1	▲ 3.5	4.7	0.0	0.0	1.2	0.0	△ 10.5
	戸塚	188	▲ 68.6	12.8	3.2	0.5	0.0	0.0	2.1	8.0
	鳩ヶ谷	146	78.8	8.2	2.1	0.0	0.0	0.0	1.4	3.4

- 『児童福祉施設（保育所、児童センター等）』では、地域による大きな差はみられない。
- 『高齢福祉施設（サンテピア、れんげそう、たたら荘等）』では、「施設の利用を知らない」は、南平地域が4.6%と高くなっている。
- 『保健・医療施設（医療センター、地域保健センター、保健所等）』では、「民間・他市類似施設を利用」は、新郷地域が5.6%と高くなっている。

【川口市の公共施設を利用していない理由（地域別） その4】

		(%)								
		n (利用していない)	利用する機会がない	施設の利用を知らない	サービス内容を知らない	利用時間に不満	利用料金に不満	設備に不満	民間・他市類似施設を利用	アクセスが不便
児童福祉施設	全体	1,683	92.5	1.2	1.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.8
	中央	151	95.4	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	横曽根	186	90.9	1.1	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5
	青木	197	95.4	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南平	184	94.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	新郷	93	90.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
	神根	132	90.9	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芝	216	89.8	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.5	2.8
	安行	96	95.8	1.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	戸塚	190	92.6	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	鳩ヶ谷	168	89.9	1.8	0.6	0.6	0.0	0.0	0.6	1.2
高齢福祉施設	全体	1,833	90.3	1.9	2.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.7
	中央	174	90.2	2.9	1.1	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6
	横曽根	202	88.1	1.5	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	青木	214	92.1	0.9	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	南平	197	86.8	4.6	1.5	0.0	0.0	0.0	1.0	0.5
	新郷	97	87.6	2.1	2.1	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0
	神根	135	88.9	1.5	3.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.7
	芝	230	90.0	2.2	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
	安行	109	94.5	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	戸塚	217	91.7	0.9	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	鳩ヶ谷	188	92.0	2.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
保健・医療施設	全体	1,156	86.9	1.7	2.1	0.2	0.1	0.0	2.4	2.1
	中央	111	83.8	2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	2.7	4.5
	横曽根	147	89.1	2.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	青木	129	87.6	1.6	3.9	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6
	南平	130	86.9	1.5	0.8	0.0	0.0	0.0	2.3	3.1
	新郷	54	▲ 81.5	3.7	3.7	1.9	0.0	0.0	5.6	3.7
	神根	74	85.1	1.4	5.4	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0
	芝	155	84.5	0.6	2.6	0.0	0.0	0.0	4.5	3.9
	安行	60	90.0	1.7	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
	戸塚	141	87.9	0.7	0.7	0.7	0.7	0.0	2.1	2.1
	鳩ヶ谷	111	91.9	1.8	0.9	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0

- ・ 『産業振興施設（グリーンセンター、緑化センター等）』では、「利用する機会がない」は、安行地域が93.6%、青木地域が90.6%と高くなっている。
- ・ 「アクセスが不便」は、中央地域が12.9%、横曽根地域が10.1%と高くなっている。
- ・ 『ホール・集会所等（芝市民ホール、コミュニティセンター等）』では、「利用する機会がない」は、安行地域が95.9%と高くなっている。
- ・ 「サービス内容を知らない」は、芝地域が5.9%と高くなっている。

【川口市の公共施設を利用していない理由（地域別） その5】

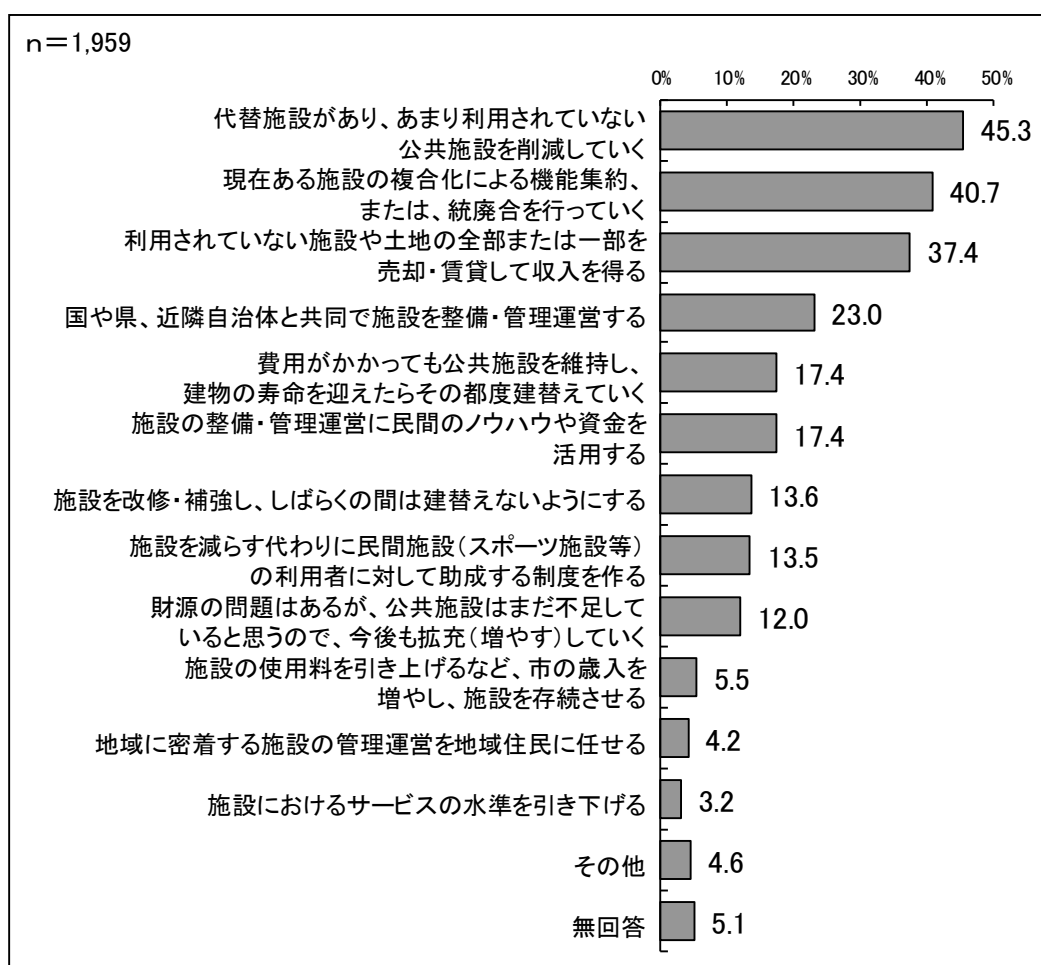
		n (利用していない)	利用する機会がない	施設の存在を知らない	サービス内容を知らない	利用時間に不満	利用料金に不満	設備に不満	民間・他市類似施設を利用	アクセスが不便
産業振興施設	全体	1,114	83.8	2.0	2.2	0.2	0.3	0.3	0.8	6.2
	中央	116	▲ 77.6	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 12.9
	横曽根	139	80.6	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	10.1
	青木	128	△ 90.6	0.8	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9
	南平	143	83.2	1.4	2.1	0.0	0.0	0.0	0.7	6.3
	新郷	49	79.6	4.1	2.0	4.1	0.0	0.0	4.1	▲ 0.0
	神根	64	87.5	1.6	1.6	0.0	3.1	0.0	0.0	▲ 0.0
	芝	143	▲ 78.3	2.8	3.5	0.0	0.0	1.4	0.7	9.1
	安行	47	△ 93.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	4.3
	戸塚	122	83.6	2.5	3.3	0.0	0.0	0.0	1.6	4.1
	鳩ヶ谷	109	87.2	0.9	0.9	0.0	0.9	0.0	2.8	3.7
ホール・集会所等	全体	1,601	88.6	2.6	2.4	0.1	0.0	0.0	0.2	1.2
	中央	149	87.9	4.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	横曽根	179	85.5	4.5	1.1	0.0	0.0	0.0	0.6	1.7
	青木	195	87.7	2.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5
	南平	173	87.9	2.3	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
	新郷	90	87.8	2.2	1.1	2.2	0.0	0.0	1.1	2.2
	神根	122	88.5	2.5	1.6	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
	芝	186	87.6	2.2	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
	安行	98	△ 95.9	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	戸塚	197	89.3	2.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	鳩ヶ谷	149	89.9	2.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7

2 5. 公共施設の整備等の取り組み

1) 公共施設の整備等の取り組み

- 公共施設の整備等の取り組みについて、「代替施設があり、あまり利用されていない公共施設を削減していく」が 45.3%と最も高く、次いで、「現在ある施設の複合化による機能集約、または、統廃合を行っていく」が 40.7%、「利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る」が 37.4%、「国や県、近隣自治体と共同で施設を整備・管理運営する」が 23.0%となっている。

【公共施設の整備等の取り組み（全体）】



2) 公共施設の整備等の取り組み（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「代替施設があり、あまり利用されていない公共施設を削減していく」は、男性 50～59 歳が 56.6%と高くなっている。
- ・ 「現在ある施設の複合化による機能集約、または、統廃合を行っていく」は、男性 30～39 歳が 54.7%、女性 60～64 歳が 51.3%と高くなっている。
- ・ 「国や県、近隣自治体と共同で施設を整備・管理運営する」は、男性 30～39 歳が 33.7%と高くなっている。
- ・ 「施設を改修・補強し、しばらくの間は建替えないようにする」は、男性 60～64 歳が 24.6%と高くなっている。

【公共施設の整備等の取り組み（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
代替施設があり、あまり利用されていない公共施設を削減していく	45.3	48.1	45.3	△ 51.8	○ 56.6	42.1	● 34.9	● 33.7
現在ある施設の複合化による機能集約、または、統廃合を行っていく	40.7	42.3	○ 54.7	△ 45.8	44.2	43.9	43.7	40.6
利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る	37.4	▲ 30.8	33.7	38.0	36.4	38.6	34.9	▲ 29.7
国や県、近隣自治体と共同で施設を整備・管理運営する	23.0	18.3	○ 33.7	21.1	23.3	22.8	21.4	▲ 15.8
費用がかかっても公共施設を維持し、建物の寿命を迎えたらその都度建替えていく	17.4	16.3	16.3	18.7	18.6	15.8	13.5	15.8
施設の整備・管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	17.4	▲ 11.5	△ 24.4	△ 25.9	△ 24.8	15.8	21.4	13.9
施設を改修・補強し、しばらくの間は建替えないようにする	13.6	10.6	11.6	15.1	14.7	○ 24.6	△ 19.0	15.8
施設を減らす代わりに民間施設（スポーツ施設等）の利用者に対して助成する制度を作る	13.5	△ 20.2	17.4	14.5	13.2	▲ 5.3	11.9	8.9
財源の問題はあるが、公共施設はまだ不足していると思うので、今後も拡充（増やす）していく	12.0	11.5	8.1	12.0	11.6	△ 17.5	15.9	15.8
施設の使用料を引き上げるなど、市の歳入を増やし、施設を存続させる	5.5	2.9	△ 11.6	2.4	3.9	3.5	4.8	△ 11.9
地域に密着する施設の管理運営を地域住民に任せる	4.2	2.9	4.7	4.8	0.8	3.5	△ 11.1	7.9
施設におけるサービスの水準を引き下げる	3.2	6.7	2.3	4.2	0.8	1.8	4.8	2.0
その他	4.6	4.8	5.8	5.4	3.9	△ 10.5	3.2	5.9
無回答	5.1	1.9	1.2	1.8	1.6	3.5	6.3	△ 13.9

【公共施設の整備等の取り組み（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
代替施設があり、あまり利用されていない公共施設を削減していく	45.3	43.7	50.0	△ 51.4	△ 51.5	△ 51.3	▲ 37.0	● 30.9
現在ある施設の複合化による機能集約、または、統廃合を行っていく	40.7	▲ 35.1	41.3	37.9	41.9	○ 51.3	40.1	★ 25.5
利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る	37.4	38.4	42.3	41.6	40.9	△ 46.1	36.4	▲ 30.0
国や県、近隣自治体と共同で施設を整備・管理運営する	23.0	25.2	△ 29.1	26.2	19.2	27.6	22.2	▲ 17.3
費用がかかっても公共施設を維持し、建物の寿命を迎えたらその都度建替えていく	17.4	△ 22.5	21.4	18.2	14.6	15.8	13.6	19.1
施設の整備・管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	17.4	▲ 9.9	14.8	19.2	18.7	19.7	14.8	12.7
施設を改修・補強し、しばらくの間は建替えないようにする	13.6	12.6	▲ 7.1	8.9	15.7	13.2	16.0	17.3
施設を減らす代わりに民間施設（スポーツ施設等）の利用者に対して助成する制度を作る	13.5	13.9	18.4	△ 18.7	13.1	▲ 7.9	10.5	▲ 3.6
財源の問題はあるが、公共施設はまだ不足していると思うので、今後も拡充（増やす）していく	12.0	10.6	12.8	11.7	8.6	11.8	14.8	8.2
施設の使用料を引き上げるなど、市の歳入を増やし、施設を存続させる	5.5	4.6	4.1	6.1	4.0	3.9	6.2	△ 10.9
地域に密着する施設の管理運営を地域住民に任せる	4.2	5.3	3.1	1.9	2.5	3.9	5.6	3.6
施設におけるサービスの水準を引き下げる	3.2	3.3	4.1	3.3	2.5	1.3	1.2	5.5
その他	4.6	1.3	4.6	3.3	7.6	0.0	4.9	4.5
無回答	5.1	3.3	1.5	2.8	1.0	3.9	8.0	○ 20.0

3) 公共施設の整備等の取り組み（地域別）

- ・ 地域別にみると、「代替施設があり、あまり利用されていない公共施設を削減していく」は、中央地域が52.2%、戸塚地域が51.6%と高くなっている。
- ・ 「現在ある施設の複合化による機能集約、または、統廃合を行っていく」は、中央地域が48.9%、安行地域が47.0%と高くなっている。
- ・ 「利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る」は、新郷地域が48.1%と高くなっている。

【公共施設の整備等の取り組み（地域別）】

(%)

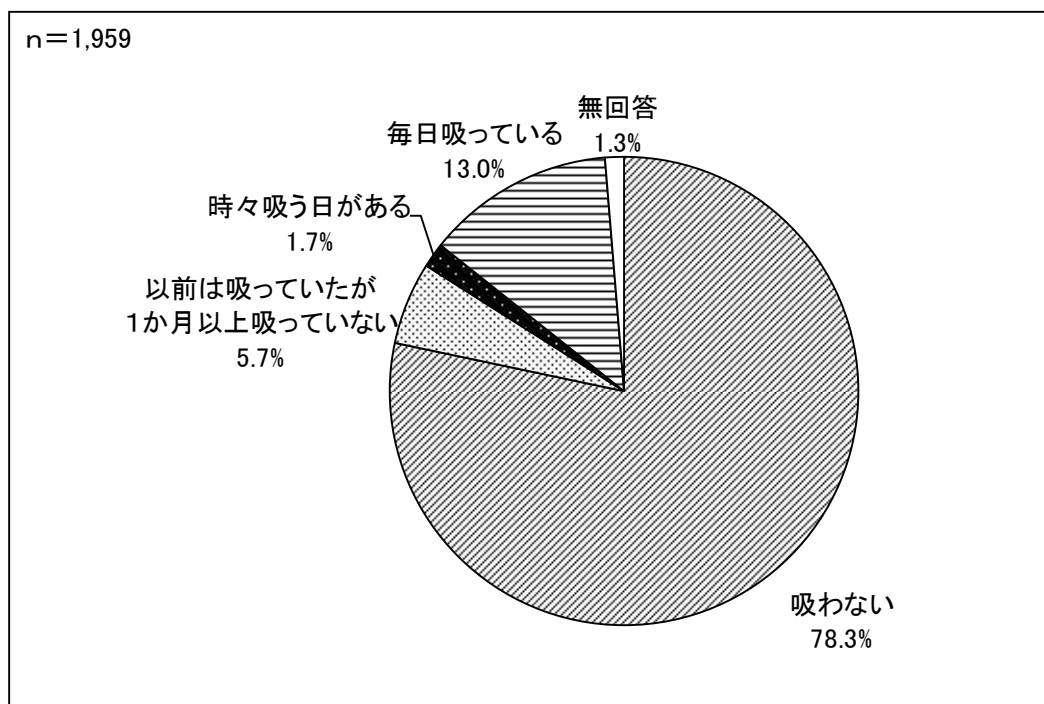
	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
代替施設があり、あまり利用されていない公共施設を削減していく	45.3	△ 52.2	47.9	44.0	46.7	46.2	▲ 39.1	▲ 40.1	▲ 40.0	△ 51.6	44.7
現在ある施設の複合化による機能集約、または、統廃合を行っていく	40.7	△ 48.9	41.7	43.2	39.3	38.7	▲ 33.1	40.1	△ 47.0	36.4	45.7
利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る	37.4	37.8	33.2	38.9	35.0	○ 48.1	33.1	34.7	36.5	37.8	△ 42.6
国や県、近隣自治体と共同で施設を整備・管理運営する	23.0	25.0	21.3	25.6	23.4	▲ 17.9	23.2	24.0	25.2	23.6	20.3
費用がかかっても公共施設を維持し、建物の寿命を迎えたらその都度建替えていく	17.4	19.4	16.1	20.9	18.2	▲ 12.3	19.9	15.3	▲ 11.3	17.8	18.8
施設の整備・管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	17.4	22.2	18.5	17.1	18.2	16.0	14.6	15.3	13.9	20.4	17.3
施設を改修・補強し、しばらくの間は建替えないようにする	13.6	▲ 7.8	12.8	15.4	10.7	13.2	△ 19.2	15.3	16.5	11.6	14.7
施設を減らす代わりに民間施設（スポーツ施設等）の利用者に対して助成する制度を作る	13.5	17.8	18.0	9.8	11.7	12.3	9.9	12.8	13.9	16.9	12.7
財源の問題はあるが、公共施設はまだ不足していると思うので、今後も拡充（増やす）していく	12.0	10.6	13.7	12.8	13.6	13.2	13.9	14.5	7.8	7.6	13.2
施設の使用料を引き上げるなど、市の歳入を増やし、施設を存続させる	5.5	3.3	5.7	6.0	6.5	9.4	4.6	5.0	7.8	5.8	3.6
地域に密着する施設の管理運営を地域住民に任せる	4.2	5.0	5.2	5.6	5.1	3.8	3.3	5.4	1.7	3.1	2.5
施設におけるサービスの水準を引き下げる	3.2	1.7	1.4	4.7	6.1	0.9	2.6	3.7	1.7	4.0	2.5
その他	4.6	4.4	6.2	3.4	2.8	7.5	4.0	7.0	2.6	4.4	4.1
無回答	5.1	2.8	4.7	3.4	4.2	5.7	6.0	7.0	6.1	4.0	5.1

2 6. 喫煙の有無

1) 喫煙の有無

- 喫煙の有無について、「吸わない」が78.3%と最も高く、次いで、「毎日吸っている」が13.0%、「以前は吸っていたが1か月以上吸っていない」が5.7%、「時々吸う日がある」が1.7%となっている。

【喫煙の有無（全体）】



2) 喫煙の有無（性別、性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「吸わない」は、女性 75 歳以上が 91.8%、女性 18～29 歳が 89.4%と高くなっている。
- ・ 「毎日吸っている」は、男性 40～49 歳が 31.3%、男性 50～59 歳が 26.4%と高くなっている。

【喫煙の有無（性別、性・年齢別）】

		(人)						(%)
		合計	吸わない	以前は吸っていたが1か月以上吸っていない	時々吸う日がある	毎日吸っている	無回答	
全体		1,959	78.3	5.7	1.7	13.0	1.3	
男性		771	● 66.9	8.3	2.6	△ 20.6	1.6	
女性		1,109	△ 86.6	4.0	1.3	▲ 7.6	0.6	
男性	18～29歳	104	76.0	4.8	3.8	14.4	1.0	
	30～39歳	86	● 67.4	8.1	4.7	△ 19.8	0.0	
	40～49歳	166	★ 56.0	9.6	3.0	☆ 31.3	0.0	
	50～59歳	129	★ 62.0	7.0	3.9	○ 26.4	0.8	
	60～64歳	57	▲ 68.4	8.8	1.8	△ 19.3	1.8	
	65～74歳	126	● 64.3	△ 11.9	0.0	△ 19.0	4.8	
	75歳以上	101	△ 84.2	6.9	0.0	▲ 5.9	3.0	
女性	18～29歳	151	○ 89.4	1.3	2.0	▲ 6.6	0.7	
	30～39歳	196	△ 84.7	7.1	0.5	▲ 7.7	0.0	
	40～49歳	214	△ 84.6	5.1	0.9	9.3	0.0	
	50～59歳	198	△ 86.4	3.5	0.5	9.6	0.0	
	60～64歳	76	△ 85.5	2.6	3.9	▲ 7.9	0.0	
	65～74歳	162	△ 85.8	3.1	2.5	▲ 7.4	1.2	
	75歳以上	110	○ 91.8	2.7	0.0	● 1.8	3.6	

3) 喫煙の有無（地域別）

- ・ 地域別にみると、「毎日吸っている」は、神根地域が 19.2%と高くなっている。

【喫煙の有無（地域別）】

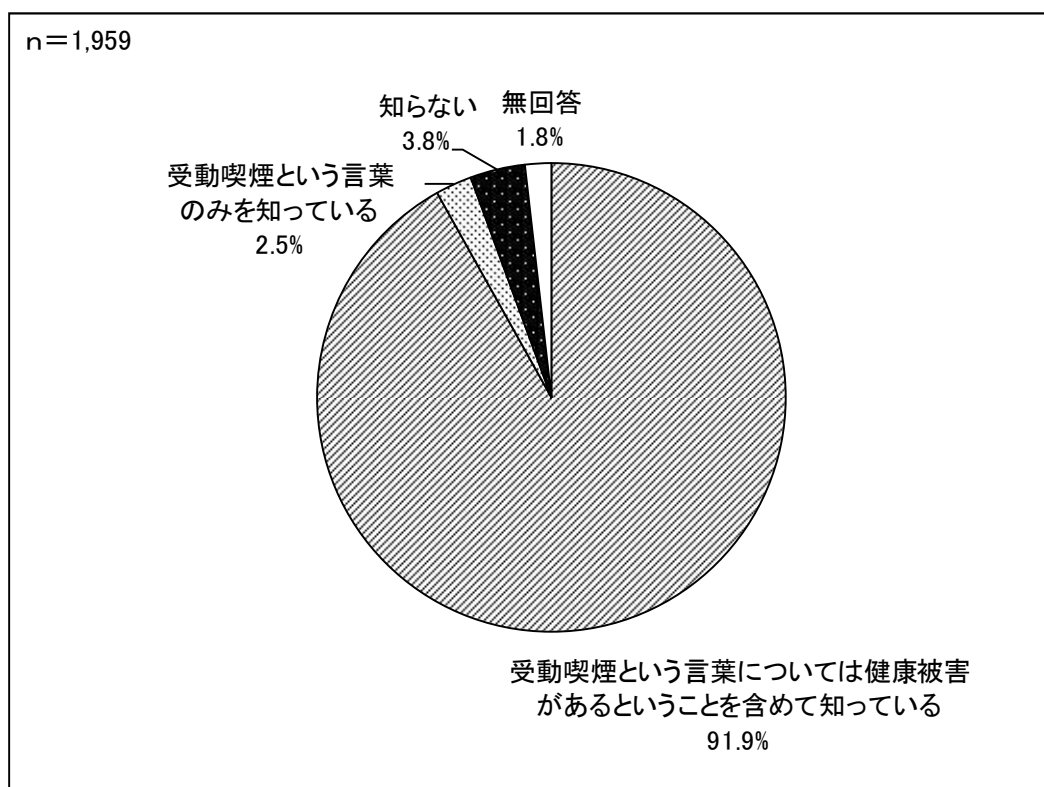
	(人)				(%)	
	合計	吸わない	以前は吸っていたが1か月以上吸っていない	時々吸う日がある	毎日吸っている	無回答
全体	1,959	78.3	5.7	1.7	13.0	1.3
中央地域	180	78.9	7.8	1.7	11.1	0.6
横曽根地域	211	79.1	5.2	1.9	12.8	0.9
青木地域	234	82.9	5.1	2.6	9.4	0.0
南平地域	214	76.2	7.0	0.5	14.5	1.9
新郷地域	106	76.4	1.9	1.9	17.0	2.8
神根地域	151	▲ 70.9	4.6	4.0	△ 19.2	1.3
芝地域	242	77.3	7.0	1.7	12.8	1.2
安行地域	115	80.9	6.1	0.9	11.3	0.9
戸塚地域	225	80.4	4.9	0.9	12.0	1.8
鳩ヶ谷地域	197	78.7	7.1	1.0	12.7	0.5

2 7. 受動喫煙の認知度

1) 受動喫煙の認知度

- 受動喫煙の認知度について、「受動喫煙という言葉については健康被害があるということを含めて知っている」(91.9%)と「受動喫煙という言葉のみを知っている」(2.5%)を合わせた認知度が94.4%となっている。一方、「知らない」は3.8%となっている。

【受動喫煙の認知度（全体）】



2) 受動喫煙の認知度（性別、性・年齢別）

- 性・年齢別にみると、「知らない」は、女性 75 歳以上が 9.1%と高くなっている。

【受動喫煙の認知度（性別、性・年齢別）】

		(人)					(%)
		合計	受動喫煙という言葉については健康被害があるということを含めて知っている	受動喫煙という言葉のみを知っている	知らない	無回答	
全体		1,959	91.9	2.5	3.8	1.8	
男性		771	93.0	2.3	3.0	1.7	
女性		1,109	92.3	2.3	4.1	1.3	
男性	18～29歳	104	95.2	1.9	1.9	1.0	
	30～39歳	86	94.2	3.5	2.3	0.0	
	40～49歳	166	94.6	1.2	4.2	0.0	
	50～59歳	129	96.1	1.6	1.6	0.8	
	60～64歳	57	91.2	3.5	3.5	1.8	
	65～74歳	126	92.1	1.6	1.6	4.8	
	75歳以上	101	▲ 85.1	5.0	5.9	4.0	
女性	18～29歳	151	92.7	0.7	5.3	1.3	
	30～39歳	196	94.9	2.0	3.1	0.0	
	40～49歳	214	96.3	1.4	2.3	0.0	
	50～59歳	198	96.0	1.5	2.5	0.0	
	60～64歳	76	93.4	2.6	3.9	0.0	
	65～74歳	162	87.7	4.9	4.9	2.5	
	75歳以上	110	● 79.1	4.5	△ 9.1	△ 7.3	

3) 受動喫煙の認知度（地域別）

- ・ 地域別にみると、「受動喫煙という言葉については健康被害があるということを含めて知っている」は、新郷地域が84.9%と低くなっている。

【受動喫煙の認知度（地域別）】

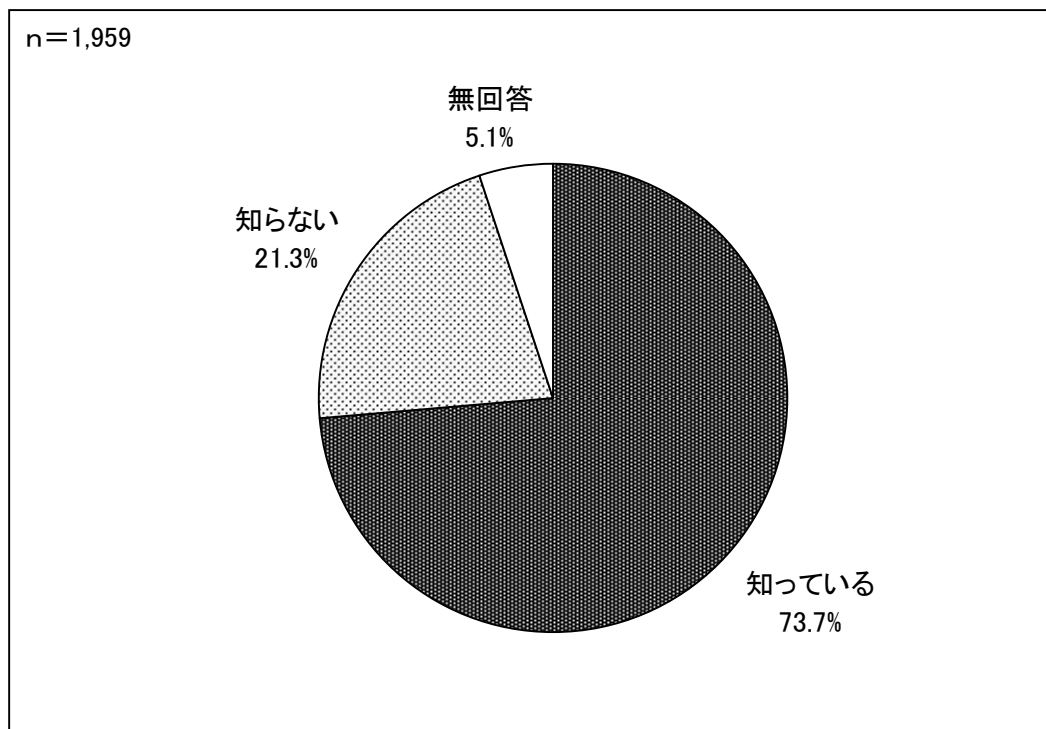
	(人)				(%)
	合計	受動喫煙という言葉については健康被害があるということを含めて知っている	受動喫煙という言葉のみを知っている	知らない	無回答
全体	1,959	91.9	2.5	3.8	1.8
中央地域	180	92.2	2.2	5.0	0.6
横曽根地域	211	93.8	1.4	2.8	1.9
青木地域	234	92.7	3.0	4.3	0.0
南平地域	214	92.1	1.9	4.2	1.9
新郷地域	106	▲ 84.9	4.7	5.7	4.7
神根地域	151	92.7	1.3	4.6	1.3
芝地域	242	90.9	3.3	4.5	1.2
安行地域	115	92.2	1.7	3.5	2.6
戸塚地域	225	91.6	3.6	2.7	2.2
鳩ヶ谷地域	197	96.4	1.0	2.0	0.5

2 8. 国の受動喫煙対策の認知度

1) 国の受動喫煙対策の認知度

- 国の受動喫煙対策の認知度について、「知っている」が73.7%、「知らない」が21.3%となっている。

【国の受動喫煙対策の認知度（全体）】



2) 国の受動喫煙対策の認知度（性別、性・年齢別）

- 性・年齢別にみると、「知っている」は、男性 65～74 歳が 84.1%と高くなっている。

【国の受動喫煙対策の認知度（性別、性・年齢別）】

		(人)				(%)
		合計	知っている		知らない	無回答
全体		1,959	73.7		21.3	5.1
男性		771	△ 79.4		16.9	3.8
女性		1,109	70.2		24.4	5.4
男 性	18～29歳	104	76.0		23.1	1.0
	30～39歳	86	△	81.4	▲ 15.1	3.5
	40～49歳	166	△	82.5	▲ 15.7	1.8
	50～59歳	129	△	81.4	17.1	1.6
	60～64歳	57	77.2		▲ 15.8	7.0
	65～74歳	126	○	84.1	▲ 11.9	4.0
	75歳以上	101	69.3		19.8	△ 10.9
女 性	18～29歳	151	▲	67.5	△ 29.1	3.3
	30～39歳	196	71.4		△ 27.0	1.5
	40～49歳	214	72.9		24.3	2.8
	50～59歳	198	75.3		19.7	5.1
	60～64歳	76	▲	65.8	△ 28.9	5.3
	65～74歳	162	▲	68.5	22.2	9.3
	75歳以上	110	●	62.7	21.8	○ 15.5

3) 国の受動喫煙対策の認知度（地域別）

- ・ 地域別にみると、「知っている」は、安行地域が79.1%と高くなっている。

【国の受動喫煙対策の認知度（地域別）】

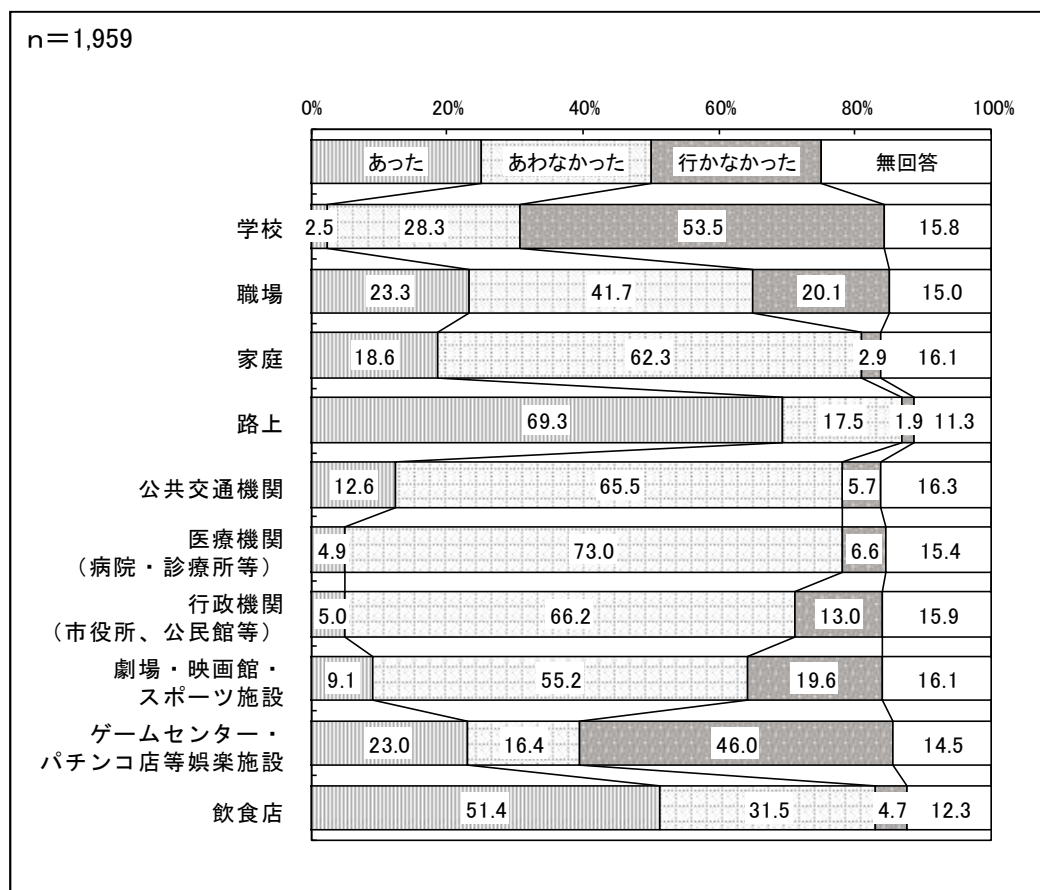
	(人)		(%)	
	合計	知っている	知らない	無回答
全体	1,959	73.7	21.3	5.1
中央地域	180	72.2	25.0	2.8
横曽根地域	211	73.9	22.7	3.3
青木地域	234	75.6	18.4	6.0
南平地域	214	73.4	18.7	7.9
新郷地域	106	68.9	25.5	5.7
神根地域	151	72.8	20.5	6.6
芝地域	242	72.7	22.3	5.0
安行地域	115	△ 79.1	17.4	3.5
戸塚地域	225	72.4	22.7	4.9
鳩ヶ谷地域	197	76.1	20.3	3.6

29. 1年間に受動喫煙にあった施設

1) 1年間に受動喫煙にあった施設

- 1年間に受動喫煙にあった施設について、「路上」が69.3%と最も高く、次いで、「飲食店」が51.4%、「職場」が23.3%、「ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設」が23.0%、「家庭」が18.6%などとなっている。

【1年間に受動喫煙にあった施設（全体）】



2) 1年間に受動喫煙にあった施設（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「路上」は、男性 30～39 歳が 87.2%、女性 18～29 歳が 84.8%、女性 30～39 歳が 84.2%、女性 40～49 歳が 82.2%と高くなっている。
- ・ 「飲食店」は、男性 30～39 歳が 72.1%、女性 18～29 歳が 69.5%、女性 30～39 歳が 67.9%、男性 40～49 歳、男性 50～59 歳が 62.0%と高くなっている。
- ・ 「職場」は、男性 30～39 歳が 47.7%、男性 40～49 歳が 44.6%、男性 18～29 歳が 33.7%と高くなっている。
- ・ 「ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設」は、男性 30～39 歳が 45.3%、男性 18～29 歳が 45.2%、女性 18～29 歳が 41.1%、男性 50～59 歳が 34.9%、男性 40～49 歳が 34.3%と高くなっている。
- ・ 「家庭」は、女性 18～29 歳が 32.5%と高くなっている。
- ・ 「公共交通機関」は、女性 30～39 歳が 17.9%と高くなっている。

【1年間に受動喫煙にあった施設（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
学校	2.5	5.8	3.5	2.4	2.3	5.3	1.6	0.0
職場	23.3	○ 33.7	☆ 47.7	☆ 44.6	△ 32.6	△ 31.6	22.2	★ 1.0
家庭	18.6	20.2	16.3	16.9	▲ 12.4	17.5	▲ 12.7	● 7.9
路上	69.3	△ 76.9	☆ 87.2	74.1	△ 75.2	71.9	▲ 61.1	★ 39.6
公共交通機関	12.6	13.5	15.1	13.9	14.0	17.5	9.5	7.9
医療機関（病院・診療所等）	4.9	4.8	3.5	9.0	4.7	△ 10.5	8.7	3.0
行政機関（市役所、公民館等）	5.0	3.8	3.5	7.2	7.0	△ 10.5	6.3	5.0
劇場・映画館・スポーツ施設	9.1	△ 14.4	△ 17.4	△ 15.7	9.3	12.3	7.9	5.9
ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設	23.0	☆ 45.2	☆ 45.3	○ 34.3	○ 34.9	26.3	▲ 16.7	● 9.9
飲食店	51.4	△ 57.7	☆ 72.1	○ 62.0	○ 62.0	52.6	● 41.3	★ 24.8

【1年間に受動喫煙にあった施設（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
学校	2.5	△ 8.6	1.0	2.8	1.0	1.3	0.6	1.8
職場	23.3	△ 33.1	21.4	22.9	▲ 16.7	▲ 15.8	★ 6.8	★ 4.5
家庭	18.6	○ 32.5	△ 24.0	22.9	22.7	22.4	▲ 13.0	▲ 11.8
路上	69.3	☆ 84.8	○ 84.2	○ 82.2	73.7	▲ 60.5	★ 48.1	★ 40.9
公共交通機関	12.6	17.2	△ 17.9	12.6	14.6	10.5	▲ 6.8	▲ 3.6
医療機関（病院・診療所等）	4.9	3.3	4.1	3.3	4.5	5.3	5.6	0.9
行政機関（市役所、公民館等）	5.0	1.3	6.6	6.5	5.6	6.6	3.1	0.9
劇場・映画館・スポーツ施設	9.1	9.9	11.7	7.9	9.1	5.3	▲ 3.7	▲ 0.9
ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設	23.0	☆ 41.1	27.6	21.0	▲ 13.6	★ 6.6	★ 6.2	★ 2.7
飲食店	51.4	☆ 69.5	☆ 67.9	△ 60.7	53.0	● 40.8	★ 30.9	★ 14.5

3) 1 年間に受動喫煙にあった施設（地域別）

- ・ 地域別にみると、「路上」は、中央地域が 85.0%と高くなっている。
- ・ 「飲食店」は、中央地域が 58.9%、横曽根地域が 57.3%と高くなっている。
- ・ 「職場」は、新郷地域が 30.2%と高くなっている。
- ・ 「家庭」は、安行地域が 26.1%と高くなっている。

【1 年間に受動喫煙にあった施設（地域別）】

		(%)									
	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
学校	2.5	2.2	2.8	1.3	3.7	0.9	2.6	2.1	2.6	2.7	3.6
職場	23.3	21.1	19.9	▲ 17.9	24.8	△ 30.2	25.8	26.9	24.3	25.3	23.4
家庭	18.6	14.4	20.4	20.5	17.8	19.8	19.2	17.4	△ 26.1	18.2	18.8
路上	69.3	☆ 85.0	△ 76.8	68.4	69.2	★ 52.8	● 57.0	69.8	72.2	67.1	71.6
公共交通機関	12.6	14.4	11.4	10.3	11.7	11.3	13.2	12.4	12.2	12.9	15.2
医療機関（病院・診療所等）	4.9	5.6	2.8	3.0	6.1	4.7	6.6	6.2	0.0	4.9	6.6
行政機関（市役所、公民館等）	5.0	6.7	4.7	4.7	6.5	2.8	1.3	5.8	1.7	4.4	6.6
劇場・映画館・スポーツ施設	9.1	11.1	10.0	9.4	8.4	5.7	6.0	11.6	5.2	6.7	11.7
ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設	23.0	27.2	26.5	20.9	26.6	▲ 16.0	23.2	18.6	23.5	19.6	27.4
飲食店	51.4	△ 58.9	△ 57.3	50.0	51.4	▲ 41.5	▲ 45.7	47.5	53.9	55.6	52.3

第3章 調査結果の分析

第3章 調査結果の分析

1) 川口市の特徴

- 本調査において、今後も本市に「住み続けたい」と回答した人は、今回調査を含め平成19年度以降8割を超える高い値で推移している。高い居住意向を維持し続けている理由には、本市の良いところ、好きなところで6割強の人が「都心に出やすい」をあげ、5割半ばの人が「買い物など日常生活が便利である」を、3割弱の人が「公共交通機関が充実している」をあげるなど、利便性の高さが大きな要因となっている。
- 本市の好きな場所、もの、行事については「グリーンセンター」をあげた人が4割半ばと最も多く、次いで「たたら祭り」が3割強、「中央図書館」が3割弱となっている。うるおいをもたらす緑地環境やお祭り、文化芸術など多種多様な魅力が市民の誇りとなっている。
- 「川口市自治基本条例」の周知状況は、「条例の内容を知っている」と「名称は聞いたことがある」を合わせた回答が約2割と、周知・啓発が課題となっている。
- 本市の状況や取り組みについての実感では、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた回答が「いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち」で6割半ばと最も多く、安心・安心な上下水道を利用できるまちのイメージは定着している。次いで、6割強の人が「大型店から商店街まで買い物がしやすいまち」をあげており、にぎわいのある商業活動を振興する取り組みが実を結んでいる。また、「豊かな水と緑に親しめる場所があるまち」、「植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち」がともに約5割、「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」が5割弱、「安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち」が4割半ばと、健康を育むまち、都市と自然が調和したまちづくりの効果があらわれている。
- 都市整備の施策の満足度については、満足とやや満足を合わせた回答が「下水道事業の推進」で7割強と最も多く、以下「良好な住環境の推進」で6割強、「総合的な交通基盤の充実」、「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」で5割半ばとなっている。
- 児童虐待防止について聞いたところ、児童虐待に「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた回答が9割となっている。どんな場合も児童虐待にあたる行動としては、「子どもをあざができてしまうくらいの力で叩く」が9割強と最も多く、「長時間、子どもを大きな声で怒鳴る」、「子どもがしてはいけない行動をとったので、外に長時間放置する」、「子どもの目の前で配偶者やパートナーとけんかし、相手に暴言・暴力を振るう」などが6割以上となっている。児童虐待について知っていることは、「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること」が約7割と最も多く、次いで、「通告は匿名でもできること」が4割半ばとなっている。

- 鳩ヶ谷市との合併から約9年がたち、それによる変化を聞いたところ、6割強の人は「変化はない」と回答している。なお、地域別にみると、「良くなった」と「悪くなった」のいずれもが、鳩ヶ谷地域で高くなっている。
- 防災について聞いたところ、災害時の備えは、「食料や飲料水の備蓄」が6割半ばと最も多く、次いで、「非常持出袋の用意」が約4割となっている。防災訓練への参加状況は「参加したことがある」が約3割、「参加したことはない」が4割半ばであったほか、2割強の人が「実施していることを知らない」と答えている。在宅避難の認知度は「知っており、在宅避難をしたいと考えている」と「知っているが、在宅避難はできない状態である」を合わせた回答が6割半ばである一方、「知らない」は3割強となっている。市から発信する防災・災害情報の入手手段は、「防災行政無線」が5割半ばと最も多く、次いで、「テレビのデータ放送」が3割強となっている。
- 食中毒予防における意識について聞いたところ、食中毒と疑われる経験は「ある」が約2割となっている。食中毒予防で気を付けていることは「見た目や臭いに変なもの食べない」が9割弱と最も多く、次いで、「調理前やトイレ後、食事前に手を洗う」が8割半ばとなっている。食中毒の予防3原則（つけない、増やさない、やっつける）の認知度は、「知っている」が3割弱となっている。今後の食品衛生を推進するために重要なことは「わかりやすい情報の提供」が約7割と最も多く、次いで、「飲食店や製造施設への立入検査や指導」が7割弱となっている。
- 川口市の公共施設について聞いたところ、月に1回以上利用する施設は「図書館」が1割強と最も多く、次いで、「スポーツ施設（スポーツセンター、ランニングコース等）」が1割弱となっている。川口市の公共施設を利用していない理由は、「利用する機会がない」が多くを占めた。今後の公共施設の整備等の取り組みとしては「代替施設があり、あまり利用されていない公共施設を削減していく」が4割半ばと最も多く、次いで、「現在ある施設の複合化による機能集約、または、統廃合を行っていく」が約4割となっている。
- 受動喫煙防止対策について聞いたところ、喫煙の有無は「吸わない」が8割弱、「毎日吸っている」が1割強、「以前は吸っていたが1か月以上吸っていない」と「時々吸う日がある」を合わせて1割未満となっている。受動喫煙の認知度は、「受動喫煙という言葉については健康被害があるということを含めて知っている」が9割以上であり、国が受動喫煙対策を強化している動きの認知度については、「知っている」が7割強となっている。また、1年間に受動喫煙にあった施設については、「路上」が約7割と最も多く、次いで、「飲食店」が約5割、「職場」、「ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設」が2割強となっている。

2) 川口市の課題

① 保健・医療体制の充実、子育て・高齢者世帯への支援

今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいものとして「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」をあげた人が約5割と、質問に掲げた全23の状況や取り組みの中で最も多くなっている。また、「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち」が3割強（3番目に多い）、「子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち」が3割弱（6番目に多い）との結果から、全ての人にやさしい“生涯安心なまち”の実現に寄せられる期待は特に大きくなっている。

② 安全・安心な市民生活の確保

今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいものとして「さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち」が4割強と、全23の状況や取り組みの中で2番目に多くなっている。近年の豪雨災害や感染症の流行など、有事に対応するための重要な分野となっている。

③ 交通環境の整備

今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいものとして「安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち」をあげた人が3割強と、全23の状況や取り組みの中で4番目に多くなっている。今後のまちづくりのあり方では、自転車道路の整備を求める意見が寄せられている。

まとめ

今年度の調査結果から、本市に「住み続けたい」との回答が14年連続して8割を超え、住み続けたいと思うまちづくりを維持し続けている。

この要因として、本市の良いところの上位を、「都心に出やすい」、「買い物など日常生活が便利である」、「公共交通機関が充実している」など、本市の立地条件に起因する理由が挙げられている。一方で、良くないところとして、「治安が悪い」、「医療サービスが不十分である」、「公共交通機関が充実していない」などの課題がここ数年上位を占めていることから、今後も「住み続けたいまち」として選ばれるため、諸種の行政課題をクリアしていくことが重要となっている。

参考資料（調査票・単純集計結果）

総合計画(まちづくり)のための

川口市民意識調査

～市民のみなさまの声をお聞かせください～

市民のみなさまには、日ごろから市政推進にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

川口市では、「川口市総合計画」に基づき、様々な施策を実施しておりますが、この計画を進行管理し、より良いものとしていくために、本市のまちづくりに対する市民のみなさまの評価やご意見を伺う「市民意識調査」を毎年実施しております。

この調査は、本市にお住まいの満18歳以上の方から、無作為に5,000人を抽出し、調査票を送らせていただいております。

この調査票に記入していただきました内容は、本市において厳重に管理し、統計的な処理を行うこと以外に使用することは一切ありません。

川口市を一層、住んで良かった、これからも住み続けたいと実感できるより良いまちとするために、ぜひともこの調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年6月 川口市長 奥ノ木 信夫

【回答の方法】

- ① 調査対象者本人（封筒のあて名の方）が、ご回答をお願いします。
- ② 回答済みの本調査票を三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて封をし、
6月22日（月）までに郵便ポストへ投函をお願いします。
（切手は必要ありません）

【回答にあたってのお願い】

- ① **回答は無記名です。**調査票、封筒ともに氏名・住所の記入は必要ありません。
- ② 回答は、問の番号順に進んでお答えください。回答内容によって、一部の方にお答えいただく設問がありますが、記載のとおり該当する設問に進んでください。

【お問合せ先】

川口市役所 企画財政部 企画経営課 企画係
電 話 048（259）7627
FAX 048（257）1008



川口市マスコット「きゅぽらん」

(表記のない項目は、n=1,959 を 100.0 として%を算出)

◆川口市での暮らしやまち全体の印象についておたずねいたします。

問1 今後とも、川口市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

84.3 住み続けたい 9.9 住み続けたくない 5.8 無回答

問2 あなたが思う川口市のことについておたずねいたします。あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 川口市の良いところ、好きなのところは何か。(○は3つまで)

28.6 公共交通機関が充実している	12.8 自然環境が豊かである
9.3 道路事情が良い	1.5 街並みが美しい
56.6 買い物など日常生活が便利である	6.2 治安が良い
12.7 勤務先が近くにある	1.3 娯楽施設が充実している
63.8 都心に出やすい	11.6 住まいの環境が良好である
6.7 医療サービスが充実している	3.0 近隣の人々とのきずなが強い
2.0 福祉サービスの水準が高い	25.2 災害が少ない
4.3 子育ての環境が充実している	4.0 公害が少ない
1.5 子どもの教育環境が充実している	8.5 物価が安い
12.1 公園などの憩いの場が豊富である	1.9 特になし
1.6 文化活動をする場が豊富である	2.8 その他
3.5 スポーツをする場が豊富である	1.9 無回答

自由記入

(2) 川口市の良くないところ、嫌いなのところは何か。(○は3つまで)

16.5 公共交通機関が充実していない	5.8 自然環境が悪い
14.1 道路事情が悪い	12.8 街並みがきたない
4.5 買い物など日常生活が不便である	30.0 治安が悪い
3.3 勤務先が遠くにある	10.0 娯楽施設が充実していない
1.8 都心に出にくい	3.9 住まいの環境が悪い
16.6 医療サービスが不十分である	9.9 近隣の人々とのきずなが弱い
10.9 福祉サービスの水準が低い	2.7 災害が多い
5.1 子育ての環境が整っていない	1.9 公害が多い
6.9 子どもの教育環境が悪い	5.3 物価が高い
11.0 公園などの憩いの場が乏しい	11.5 特になし
6.3 文化活動をする場が乏しい	15.1 その他
10.4 スポーツをする場が乏しい	4.6 無回答

自由記入

問3 川口市の好きな場所、もの、行事は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。
(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 10.7 川口市マスコット「きゅぼらん」 | 0.7 旧鋳物問屋鍋平邸 |
| 10.8 川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり | 11.9 川口神社 |
| 8.3 川口マラソン | 3.4 錫杖寺 |
| 9.6 S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭 | 5.3 峯ヶ岡八幡神社 |
| 33.8 たたら祭り | 3.7 地藏院 |
| 3.9 市産品フェア | 4.2 赤山城跡（赤山陣屋跡） |
| 4.2 彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム | 1.8 木曾呂の富士塚 |
| 8.9 科学館 | 5.3 赤山歴史自然公園（イイナパーク川口） |
| 25.6 川口総合文化センターリリア | 9.1 青木町平和公園 |
| 27.4 中央図書館 | 16.8 川口西公園（リリアパーク） |
| 0.9 かわぐち市民パートナーステーション | 8.5 荒川運動公園 |
| 3.4 アートギャラリー・アトリア | 7.5 川口自然公園 |
| 46.9 グリーンセンター | 4.6 ゴリラ公園 |
| 11.3 川口緑化センター樹里安 | 0.4 御成坂公園 |
| 7.9 川口オートレース場 | 10.3 その他 |
| 5.7 旧田中家住宅 | 6.9 無回答 |

自由記入

◆ 川口市が取り組む施策等に対する評価についておたずねいたします。

問4 あなたは、「川口市自治基本条例」を知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|------------------|-----------|
| 2.0 条例の内容を知っている | 19.7 名称は聞いたことがある | 77.3 知らない |
| | | 1.0 無回答 |

※川口市では、自治体の憲法と言われる「川口市自治基本条例」を平成21年4月1日に施行いたしました。この条例は、市民が市民として幸せに暮らせる地域社会を実現するための基本的なルールを定めたものです。

問5 川口市の状況や取り組みについておたずねいたします。

以下のそれぞれの質問に対してあてはまるものに○をつけてください。

(○は1つ)

質問 番号	質問項目	5 そう感 じる	4 ややそ う感じ る	3 どちら ともい えない	2 あまり そう感 じない	1 そう感 じない	無回答
1	川口市は保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまちだと感じますか。	10.6	36.4	32.8	14.9	3.8	1.4
2	川口市は子育てしやすい環境づくりに力を入れているまちだと感じますか。	7.5	30.8	43.7	12.3	2.3	3.3
3	川口市は高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまちだと感じますか。	4.6	23.1	49.6	17.6	3.8	1.4
4	川口市は、年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまちだと感じますか。	4.8	26.1	48.1	15.2	4.2	1.5
5	川口市は子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまちだと感じますか。	5.0	23.3	48.9	16.4	3.3	3.2
6	川口市は学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまちだと感じますか。	6.2	28.9	44.4	14.3	3.2	3.1
7	川口市は文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまちだと感じますか。	4.9	29.5	42.4	17.7	3.0	2.5
8	川口市は性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまちだと感じますか。	5.9	29.1	44.9	12.8	5.0	2.3
9	川口市は市内産業が元気なまちだと感じますか。	4.9	25.4	43.4	19.9	4.1	2.3
10	川口市はものづくり産業が活発なまちだと感じますか。	8.3	32.2	36.9	17.1	3.2	2.3
11	川口市は大型店から商店街まで買い物がしやすいまちだと感じますか。	19.2	44.6	22.5	9.2	2.7	1.7
12	川口市は植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまちだと感じますか。	12.5	37.4	31.2	14.1	2.9	1.9
13	川口市は自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまちだと感じますか。	6.6	28.4	40.9	16.7	5.6	1.8

質問 番号	質問項目	5 そう感 じる	4 ややそ う感じ る	3 どちら ともい えない	2 あまり そう感 じない	1 そう感 じない	無回答
14	川口市は豊かな水と緑に親しめる場所があるまちだと感じますか。	11.5	40.2	29.0	14.3	3.1	1.9
15	川口市はCO2削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまちだと感じますか。	2.5	13.3	51.2	24.9	5.7	2.5
16	川口市はごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまちだと感じますか。	9.2	32.4	38.9	14.2	3.8	1.6
17	川口市は、住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されていると感じますか。	3.9	23.6	52.8	14.1	3.2	2.4
18	川口市は安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまちだと感じますか。	8.6	36.8	32.0	16.2	4.4	2.0
19	川口市はいつでも安心して水道や下水道を利用できるまちだと感じますか。	19.8	46.9	24.3	5.0	2.3	1.6
20	川口市はさまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われていると感じますか。	5.0	27.0	43.3	17.5	5.4	1.8
21	川口市はボランティアや地域活動など(町会・自治会など)、市民が元気に活動できるまちだと感じますか。	6.5	27.4	47.0	14.2	2.9	2.0
22	川口市は、市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っていると感じますか。	2.3	15.9	53.7	20.1	5.7	2.3
23	川口市は効果的かつ効率的な行財政運営がなされていると感じますか。	2.3	14.2	57.0	17.9	5.8	2.7

問6 問5の23の質問項目のうち、あなたが、川口市に今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいと感じるものについて、問5の表の質問番号（1～23）から上位5つを選び、その番号を下の枠の中に記入してください。

- 49.3 保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち
- 43.0 さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち
- 33.0 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち
- 32.4 安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち
- 27.6 効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち

問7 川口市の都市整備に対する「満足度」について、おたずねいたします。

以下の質問に対してあてはまるものに○をつけてください。（○は1つ）

番号	施策	回答欄（満足度）				無回答
		満足	やや満足	やや不満	不満	
1	「良好な住環境の推進」はされていると感じますか。 （良好な住宅や住宅環境の整備）	7.0	56.0	27.7	5.1	4.3
2	「魅力と活力を育む土地利用の推進」はされていると感じますか。 （計画的な土地利用、市街地や駅周辺の整備等）	4.4	42.8	41.6	6.7	4.5
3	「総合的な交通基盤の充実」はされていると感じますか。 （道路・交通環境整備、バスなどの公共交通機能充実等）	11.8	45.0	30.6	9.4	3.1
4	「下水道事業の推進」はされていると感じますか。 （下水道の普及や機能の向上等）	16.6	56.5	17.7	5.3	4.0
5	「美しくうるおいのある景観形成の推進」はされていると感じますか。 （美しくうるおいのある景観形成の推進等）	4.7	43.0	40.6	7.3	4.4
6	「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」はされていると感じますか。 （緑地や河川環境の整備、治水対策等）	6.8	47.5	36.0	6.1	3.7

◆ 児童虐待防止についておたずねします。

全国で児童虐待に関する相談件数は増加しており、重大な事件も後を絶ちません。児童虐待防止は社会全体で取り組むべき重要な課題であることから、川口市では、虐待の発生予防、早期発見・早期対応に向け、様々な取り組みを実施しているところです。

今後、さらに社会全体で児童虐待防止に向けた取り組みを実施していくために、皆さまのご意見をお聞かせください。

問8 あなたは児童虐待についてどの程度関心をお持ちですか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

- 48.4 関心がある
- 41.6 どちらかといえば関心がある
- 6.3 どちらかといえば関心がない
- 2.1 関心がない
- 1.5 無回答

問 9 下記の行動は、「児童虐待」にあたると思いますか。

以下の質問に対してあてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

番号	質問項目	どんな場合も児童虐待にあたる	児童虐待の場合とそうでない場合がある	児童虐待にはあたらない	無回答
1	子どもがしてはいけない行動をとったので、外に長時間放置する	64.5	31.0	1.3	3.2
2	長時間、子どもを大きな声で怒鳴る	65.8	28.6	2.1	3.4
3	子どもに季節や身体にあった服を準備しない	50.4	41.1	4.7	3.7
4	子どもの目の前で配偶者やパートナーとけんかし、相手に暴言・暴力を振るう	62.4	28.5	5.6	3.5
5	子どもが見られるようなところに性的なメディアや雑誌などを置いておく	56.6	29.0	9.7	4.6
6	子どもをあざができてしまうくらいの力で叩く	91.2	5.4	0.7	2.8
7	子どもの言動に全く注意や関心を払わない	61.3	30.8	4.1	3.8
8	買い物に行くなどの短い時間だけ、仕方なく乳幼児を家に残し外出する	47.9	41.1	7.5	3.5

問 10 あなたが、児童虐待について知っていることはなんですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- 71.6 児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること
- 23.4 具体的な通告先
- 44.5 通告は匿名でもできること
- 36.4 虐待に関する相談窓口
- 36.0 児童虐待の通告をした人の秘密は守られること
- 11.0 「オレンジリボン」は、児童虐待防止のシンボルマークであること
- 3.7 毎年11月は児童虐待防止の推進月間であり、オレンジリボンキャンペーンを実施していること
- 1.8 その他 (自由記入)
- 11.5 いずれも知らない
- 2.8 無回答

問 1 5 市から発信する防災・災害情報をどのような手段で入手していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

54.9 防災行政無線

2.3 防災行政無線無料テレホンサービス (0800-800-4344)

17.8 川口市メールサービス (きらり川口情報メール等)

28.1 川口市ホームページ

33.1 テレビのデータ放送

10.3 その他

6.9 無回答

自由記入

◆ 食中毒予防における意識調査についておたずねします。

問 1 6 実際に食中毒になったことがある、または食中毒と疑われる経験はありますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

20.6 ある

76.6 ない

2.8 無回答

問 1 7 食中毒を予防するために気を付けていることはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

84.1 調理前やトイレ後、食事前に手を洗う

79.6 肉はよく加熱する

26.7 肉用、魚用、野菜用などまな板や包丁を使い分けている

69.9 長時間常温で調理済の食品を放置しない

68.4 未加熱(加熱不足)の肉は食べない

34.8 下痢やおう吐などの症状があるときは調理を控える

87.5 見た目や臭いに変なものは食べない

4.6 その他

1.0 無回答

自由記入

問 1 8 食中毒の予防3原則(つけない、増やさない、やっつける)を知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

28.5 知っている

69.6 知らない

1.9 無回答

問 1 9 今後の食品衛生を推進するために何が重要だと考えますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

67.8 飲食店や製造施設への立入検査や指導

54.0 食品の検査と結果の公表

69.2 わかりやすい情報の提供

55.2 事業者の自主的な衛生管理の推進

18.3 相談窓口の充実

11.5 相互理解を深めるために意見交換等の実施

1.9 その他

2.2 無回答

自由記入

◆ 川口市の公共施設についておたずねいたします。

問 2 0 川口市ではこれまで様々なニーズに応じて、数多くの公共施設を整備してきました。
あなたは、平成 31 年 1 月から令和元年 12 月までの 1 年間で、川口市の公共施設を
どのくらい利用しましたか。

施設ごとに、「①利用頻度」から 1 つ選んで、○をつけてください。①で「利用して
いない」を選択した場合は、その理由を「②利用していない理由」から選んで、あ
てはまる番号に○をつけてください。（主なものに○を 1 つ）

施設分類 (主な施設)	①利用頻度 (○は1つ)					②利用していない理由 (主なものに○を1つ)								
	週に1回以上	月に1回以上	年に数回程度	利用していない	無回答	利用する機会がない	施設の存在を知らない	サービス内容を知らない	利用時間に不満	利用料金に不満	設備に不満	民間・他市類似施設を利用	アクセスが不便	無回答
記入例) ○○施設	1	2	3	④		①	2	3	4	5	6	7	8	
1 庁舎・支所 (本庁舎、支所、川口駅前行政センター 等)	0.5	3.5	70.2	21.8	3.9	90.0	0.5	1.4	0.7	0.2	0.0	0.0	2.6	4.7
2 学校 (小学校、中学校、高等学校)	4.5	3.9	13.6	72.7	5.3	93.7	0.6	1.7	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	3.7
3 図書館	2.9	10.7	29.1	53.2	4.2	80.9	3.2	1.3	0.6	0.0	1.1	0.7	7.5	4.8
4 公民館	3.0	4.5	19.7	68.7	4.1	87.9	1.7	4.0	0.1	0.1	0.3	0.2	1.5	4.2
5 スポーツ施設 (スポーツセンター、ランニングコース 等)	4.1	4.7	17.1	69.7	4.3	78.7	4.2	3.1	0.9	0.4	1.1	1.8	5.3	4.5
6 博物館・美術館・科学館 (文化財センター、アトリア、科学館 等)	0.1	0.8	18.4	76.0	4.7	75.9	9.9	3.4	0.1	0.1	0.4	1.8	4.4	4.0
7 児童福祉施設 (保育所、児童センター 等)	3.2	1.1	4.8	85.9	5.1	92.5	1.2	1.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.8	4.3
8 高齢福祉施設 (サンテピア、れんげそう、たたら荘 等)	0.4	0.2	1.6	93.6	4.2	90.3	1.9	2.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.7	4.7
9 保健・医療施設 (医療センター、地域保健センター、保健所 等)	0.4	3.6	32.8	59.0	4.1	86.9	1.7	2.1	0.2	0.1	0.0	2.4	2.1	4.5
10 産業振興施設 (グリーンセンター、緑化センター 等)	0.4	2.2	36.5	56.9	4.0	83.8	2.0	2.2	0.2	0.3	0.3	0.8	6.2	4.2
11 ホール・集会所等 (芝市民ホール、コミュニティセンター 等)	0.2	1.0	12.6	81.7	4.5	88.6	2.6	2.4	0.1	0.0	0.0	0.2	1.2	4.9

問 2 1 大半の施設は老朽化が進み、仮に全て建替えて運営していくと、膨大な予算が必要となります。今後の公共施設の整備や維持管理・運営の方針や、費用の負担を減らすために積極的に実施すべき取り組みについて、あなたの考えに近い項目の番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- 12.0 財源の問題はあるが、公共施設はまだ不足していると思うので、今後も拡充（増やす）していく
 - 17.4 費用がかかっても公共施設を維持し、建物の寿命を迎えたらその都度建替えていく
 - 40.7 現在ある施設の複合化による機能集約、または、統廃合を行っていく
 - 23.0 国や県、近隣自治体と共同で施設を整備・管理運営する
 - 45.3 代替施設があり、あまり利用されていない公共施設を削減していく
 - 13.5 施設を減らす代わりに民間施設（スポーツ施設等）の利用者に対して助成する制度を作る
 - 13.6 施設を改修・補強し、しばらくの間は建替えないようにする
 - 4.2 地域に密着する施設の管理運営を地域住民に任せる
 - 17.4 施設の整備・管理運営に民間のノウハウや資金を活用する
 - 3.2 施設におけるサービスの水準を引き下げる
 - 37.4 利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る
 - 5.5 施設の使用料を引き上げるなど、市の歳入を増やし、施設を存続させる
 - 4.6 その他
 - 5.1 無回答
- [

自由記入

]

◆ 受動喫煙防止対策についておたずねいたします。

問 2 2 あなたはたばこを吸いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- 78.3 吸わない
- 5.7 以前は吸っていたが1か月以上吸っていない
- 1.7 時々吸う日がある
- 13.0 毎日吸っている
- 1.3 無回答

問 2 3 受動喫煙は「他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされること」を言います。あなたは受動喫煙という言葉を知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- 91.9 受動喫煙という言葉については健康被害があるということを含めて知っている
- 2.5 受動喫煙という言葉のみを知っている
- 3.8 知らない
- 1.8 無回答

問 2 4 国では、健康増進法を改正し、受動喫煙対策を強化しています。あなたはこのような国の動きを知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は 1 つ)

73.7 知っている

21.3 知らない

5.1 無回答

問 2 5 あなたはおおよそ 1 年の間に次のような施設（敷地内の屋外、屋内を含む）などで受動喫煙にあいましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○は 1 つ)

	施設	回答欄			
		あった	あわなかった	行かなかった	無回答
1	学校	2.5	28.3	53.5	15.8
2	職場	23.3	41.7	20.1	15.0
3	家庭	18.6	62.3	2.9	16.1
4	路上	69.3	17.5	1.9	11.3
5	公共交通機関	12.6	65.5	5.7	16.3
6	医療機関（病院・診療所等）	4.9	73.0	6.6	15.4
7	行政機関（市役所、公民館等）	5.0	66.2	13.0	15.9
8	劇場・映画館・スポーツ施設	9.1	55.2	19.6	16.1
9	ゲームセンター・パチンコ店等 娯楽施設	23.0	16.4	46.0	14.5
10	飲食店	51.4	31.5	4.7	12.3

自由記入欄

川口市の市政やまちづくりについて、ご意見やご要望等を自由にお書きください。

- ◆ 調査結果を統計的に分析するために必要です。ご協力をお願いいたします。
 あなたご自身のことについておたずねいたします。あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

F1 あなたの性別は。

39.4 男性 56.6 女性 4.0 無回答

F2 あなたの年齢は。(年齢は回答日現在)

2.0 20歳未満	8.6 40～44歳	6.9 65～69歳
5.1 20～24歳	10.8 45～49歳	7.8 70～74歳
6.0 25～29歳	9.5 50～54歳	10.8 75歳以上
6.4 30～34歳	7.2 55～59歳	4.1 無回答
8.0 35～39歳	6.8 60～64歳	

F3 あなたのお生まれは。

29.2 川口市内 (※旧鳩ヶ谷市も含みます)	52.6 埼玉県外	4.0 無回答
11.6 川口市以外の埼玉県内	2.6 国外	

F4 あなたの職業は、次の分類ではどれにあてはまりますか。

2.7 専門職 (医師、弁護士、大学教授、僧侶など)
 4.8 管理職 (官公庁や事業所の重役、部課長など)
 22.7 事務・技術職 (一般事務員、公務員、技師、保育士、看護師など)
 10.1 販売・生産・労務職 (店員、工員、職人、運転手、作業員など)
 0.2 農林水産業従事者
 8.7 自営業・サービス業従事者
 15.1 パート・アルバイト従事者
 3.3 学生
 12.7 家事に専念している
 14.5 無職
 1.0 その他 ()
 4.3 無回答

F5 F4 で 1 ～ 8 または 11 を選んだ方にお伺いします。あなたの現在の勤務先、通学先は、次のうちどれにあてはまりますか。(n=1, 343)

37.0	川口市内	37.5	東京都内	
17.9	埼玉県内（川口市以外）	3.9	埼玉県、東京都以外の県	3.6 無回答

F6 あなたの家族構成は、どれにあてはまりますか。

14.1	ひとり暮らし（単身世帯）	6.4	親と子と孫など（3世代以上）
24.1	夫婦のみ	1.3	その他（ ）
49.2	親と子（2世代）	4.8	無回答

F7 あなたのお住まいは、どれにあたりますか。

49.7	持家（一戸建）
20.8	持家（分譲マンションなど集合住宅）
21.8	民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）
1.5	UR都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート
0.7	社宅・公務員住宅など給与住宅
0.7	住み込み、寮、寄宿舍など
4.8	無回答

F8 あなたは、川口市（※旧鳩ヶ谷市も含みます）にお住まいになってどのくらいになりますか。

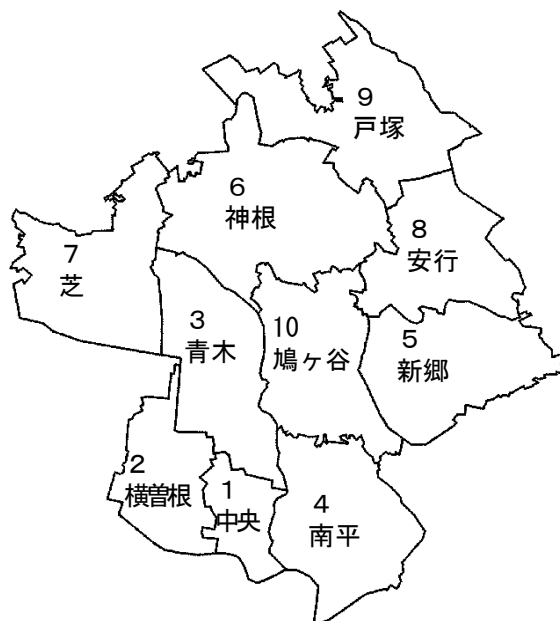
17.8	生まれてからずっと住んでいる	16.4	在住して 10 年以上～20 年未満
14.5	在住して 5 年未満	10.5	在住して 20 年以上～30 年未満
8.7	在住して 5 年以上 ～ 10 年未満	27.3	在住して 30 年以上
		4.8	無回答

F9 あなたが住んでいる地域は川口市内のどちらですか。あてはまる番号に○を付けてください。

- | | | |
|------------|----------|------------|
| 9.2 中央地域 | 5.4 新郷地域 | 11.5 戸塚地域 |
| 10.8 横曽根地域 | 7.7 神根地域 | 10.1 鳩ヶ谷地域 |
| 11.9 青木地域 | 12.4 芝地域 | 4.3 無回答 |
| 10.9 南平地域 | 5.9 安行地域 | |

※回答のための住所一覧と地図です。**回答は上の番号に○**をしてください。

1中央地域	本町、栄町、金山町、舟戸町、幸町、川口 1～3 丁目
2横曽根地域	川口 4～6 丁目、飯塚、西川口、仲町、飯原町、原町、宮町、南町、緑町、荒川町、並木元町、並木
3 青木地域	青木、中青木、西青木、上青木、上青木西、前上町、前川、南前川、前川町、本前川
4 南平地域	朝日、末広、新井町、元郷、弥平、領家、東領家、河原町
5 新郷地域	赤井、東本郷、蓮沼、前野宿、東貝塚、大竹、峯、新堀町、榛松、新堀、江戸、江戸袋、本蓮
6 神根地域	安行領根岸、安行領在家、道合、神戸、木曾呂、東内野、源左衛門新田、石神、赤芝新田、西新井宿、新井宿、赤山、在家町、北園町、柳根町
7 芝地域	芝、伊刈、芝宮根町、芝東町、芝高木、小谷場、芝中田、芝新町、芝下、芝樋ノ爪、芝富士、芝園町、芝塚原、芝西、柳崎
8 安行地域	安行、安行原、安行領家、安行慈林、安行吉岡、安行藤八、安行吉蔵、安行北谷、安行小山、安行西立野、安行出羽
9 戸塚地域	戸塚、西立野、長蔵新田、久左衛門新田、藤兵衛新田、行衛、東川口、差間、北原台、戸塚鉢町、戸塚境町、戸塚東、戸塚南、長蔵
10 鳩ヶ谷地域	坂下町、桜町、里、辻、鳩ヶ谷本町、前田、鳩ヶ谷緑町、南鳩ヶ谷、八幡木、三ツ和



※この地域分けは、今回のアンケートだけの区分です。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

本調査票は、返信用封筒に入れて **6月22日（月）まで**に郵便ポストへ投函をお願いいたします。

切手は不要です。調査票及び封筒に記名の必要はありません

**総合計画のための市民意識調査
結果報告書**

令和2年8月

発行：川口市役所

〒332-8601

埼玉県川口市青木2丁目1番1号

電話：048-258-1110（代表）